BLCJ 構造標準 改訂 4 版
仕様解説書

2022. 09. 30

BIM ライブラリ技術研究組合

建築部会 構造 WG

目次

I.　共通事項 1
1. 単位系 1
2. 方向 1
3. 回転角度 2
4. 分類体系の推奨値 2
II.　RC 柱 3
1. RC 柱_標準 3
1-1. パラメータ一覧 3
1-2. 分類体系の推奨値 5
1-3. パラメータ解説 5
2. RC 丸柱_標準 9
2-1. パラメータ一覧 9
2-2. 分類体系の推奨値 10
2-3. パラメータ解説 10

III. RC 梁 13
1. RC 梁 3 断面_標準 13
1-1. パラメータ一覧 13
1-2. 分類体系の推奨値 16
1-3. パラメータ解説 17
2. RC 梁 2 断面_標準 20
2-1. パラメータ一覧 20
2-2. 分類体系の推奨値 22
2-3. パラメータ解説 22
IV. 鉄骨柱 27
1. S 柱 H 形鋼_標準 27
1-1. パラメータ一覧 27
1-2. 分類体系の推奨値 28
1-3. パラメータ解説 28
2. S 柱角形鋼管_標準 31
2-1. パラメータ一覧 31
2-2. 分類体系の推奨値 32

2-3. パラメータ解説 32
3. S 柱鋼管_標準 34
3-1. パラメータ一覧 34
3-2. 分類体系の推奨値 35
3-3. パラメータ解説 35
V. 鉄骨梁 37
1. S 梁 H 形鋼 3 断面_標準 37
1-1. パラメータ一覧 37
1-2. 分類体系の推奨値 40
1-3. パラメータ解説 40
2. S 梁 H 形鋼 2 断面_標準 44
2-1. パラメータ一覧 44
2-2. 分類体系の推奨値 46
2-3. パラメータ解説 46
3. S 梁 H 形鋼 1 断面_標準 50
3-1. パラメータ一覧 50
3-2. 分類体系の推奨値 51

3-3. パラメータ解説 51
VI. 基礎 53
1. RC 矩形基礎_標準 53
1-1. パラメータ一覧 53
1-2. 分類体系の推奨値 54
1-3. パラメータ解説 55
2. RC 矩形テーパー基礎_標準 58
2-1. パラメータ一覧 58
2-2. 分類体系の推奨値 59
2-3. パラメータ解説 60
3. RC 直角三角形基礎_標準 63
3-1. パラメータ一覧 63
3-2. 分類体系の推奨値 64
3-3. パラメータ解説 65
4. RC 正三角形基礎_標準 68
4-1. パラメータ一覧 68
4-2. 分類体系の推奨値 69

4-3. パラメータ解説 70
5. RC 連続基礎_標準 73
5-1. パラメータ一覧 73
5-2. 分類体系の推奨値 74
5-3. パラメータ解説 74
VII. 床 76
1. RC スラブ_標準 76
1-1. パラメータ一覧 76
1-2. パラメータ解説 78
2. RC 片持ちスラブ_標準 81
2-1. パラメータ一覧 81
2-2. パラメータ解説 82
3. 基礎スラブ_標準 85
3-1. パラメータ一覧 85
3-2. パラメータ解説 86
4. 基礎片持ちスラブ_標準 89
4-1. パラメータ一覧 89

4-2. パラメータ解説 90
VIII. 壁 93
1. RC 壁 1 断面_標準 93
1-1. パラメータ一覧 93
1-2. パラメータ解説 94
2. RC 壁 3 断面_標準 96
2-1. パラメータ一覧 96
2-2. パラメータ解説 101
IX. 場所打ち杭 105
1. 場所打ち杭 105
1-1. パラメータ一覧 105
1-2. パラメータ解説 107
X. 修正履歴 110

I.　共通事項

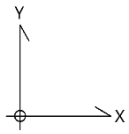
1. 単位系

位置を表す座標値、長さおよび角度に関する単位は、特記がない限り以下とする。

座標値	mm
長さ	mm
角度	度（degree）

2. 方向

各方向は下図に表すように定め、原点から右側プラス方向に X 方向を定義し、同原点から上側プラス方向に Y 方向を定義する。



3. 回転角度

角度は反時計回りを正で表す。

4. 分類体系の推奨値

分類体系の推奨値は BLCJ 構造標準改訂時の最新のものとする。

II. RC 柱

1. RC 柱_標準

柱頭・柱脚を同一断面寸法とし、断面形状は長方形とする。

1-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				種別	kind_column	String	○		以下による柱種別。COLUMN（柱）、POST（間柱）
3	配置情報			所属階	floor	String	○	○	
4	材料情報		コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
5	寸法情報		断面	X 方向幅	width_X	Double	○		X 方向の幅
6				Y 方向幅	width_Y	Double	○		Y 方向の幅
7	配筋情報	共通	主筋	径	D_main	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
8				X 方向_1 段目芯位置	position_X_main_1st	Double	○		X 方向加力に考慮された鉄筋のうち 1 段目の芯の位置

9				Y 方向_1 段目芯位置	position_Y_main_1st	Double	○		Y 方向加力に考慮された鉄筋のうち 1 段目の芯の位置
10			帯筋	径	D_hoop	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
11			幅止筋	径	D_spacing	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
12			芯鉄筋	径	D_axial	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
13		柱頭	主筋	X 方向_片側総本数	N_main_X_total_top	Integer	○		X 方向加力に考慮された鉄筋の総本数 （Y 方向加力に考慮されたコーナー鉄筋等も含む）
14				X 方向_1 段目本数	N_main_X_1st_top	Integer	○		X 方向加力に考慮された鉄筋のうち 1 段目の本数
15				Y 方向_片側総本数	N_main_Y_total_top	Integer	○		Y 方向加力に考慮された鉄筋の総本数 （X 方向加力に考慮されたコーナー鉄筋等も含む）
16				Y 方向_1 段目本数	N_main_Y_1st_top	Integer	○		Y 方向加力に考慮された鉄筋のうち 1 段目の本数
17			帯筋	X 方向本数	N_hoop_direction_X_top	Integer	○		X 方向加力に考慮された鉄筋の総本数
18				Y 方向本数	N_hoop_direction_Y_top	Integer	○		Y 方向加力に考慮された鉄筋の総本数
19				ピッチ	pitch_hoop_top	Double	○		
20			幅止筋	X 方向本数	N_bar_spacing_X_top	Integer	○		X 方向に配置された鉄筋の本数
21				Y 方向本数	N_bar_spacing_Y_top	Integer	○		Y 方向に配置された鉄筋の本数
22			芯鉄筋	本数	N_axial_top	Integer	○		
23		柱脚	主筋	X 方向_片側総本数	N_main_X_total_bottom	Integer	○		X 方向加力に考慮された鉄筋の総本数 （Y 方向加力に考慮されたコーナー鉄筋等も含む）
24				X 方向_1 段目本数	N_main_X_1st_bottom	Integer	○		X 方向加力に考慮された鉄筋のうち 1 段目の本数
25				Y 方向_片側総本数	N_main_Y_total_bottom	Integer	○		Y 方向加力に考慮された鉄筋の総本数 （X 方向加力に考慮されたコーナー鉄筋等も含む）
26				Y 方向_1 段目本数	N_main_Y_1st_bottom	Integer	○		Y 方向加力に考慮された鉄筋のうち 1 段目の本数
27			帯筋	X 方向本数	N_hoop_direction_X_bottom	Integer	○		X 方向加力に考慮された鉄筋の総本数
28				Y 方向本数	N_hoop_direction_Y_bottom	Integer	○		Y 方向加力に考慮された鉄筋の総本数
29				ピッチ	pitch_hoop_bottom	Double	○		
30			幅止筋	X 方向本数	N_bar_spacing_X_bottom	Integer	○		X 方向に配置された鉄筋の本数
31				Y 方向本数	N_bar_spacing_Y_bottom	Integer	○		Y 方向に配置された鉄筋の本数
32			芯鉄筋	本数	N_axial_bottom	Integer	○		
33		パネル	帯筋	径	D_hoop_panel	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 柱脚側パネルゾーンについては別オブジェクトとして定義する

34				X 方向本数	N_hoop_direction_X_panel	Integer	○		X 方向加力に考慮された鉄筋の総本数
35				Y 方向本数	N_hoop_direction_Y_panel	Integer	○		Y 方向加力に考慮された鉄筋の総本数
36				ピッチ	pitch_hoop_panel	Double	○		

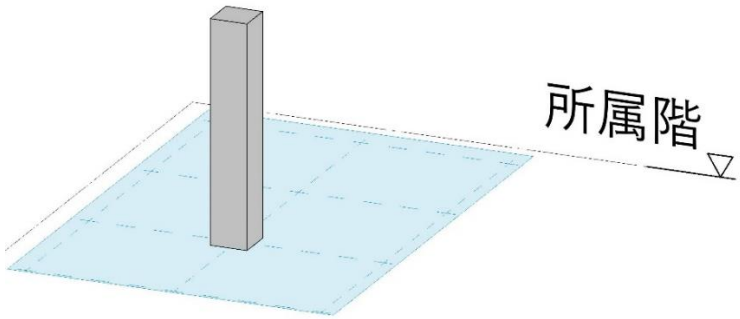
1-2. 分類体系の推奨値

BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	基礎柱の場合 EF_20_05_30 Foundations を推奨する
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_30_75_15	Concrete column system	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_16_15	Concrete columns	

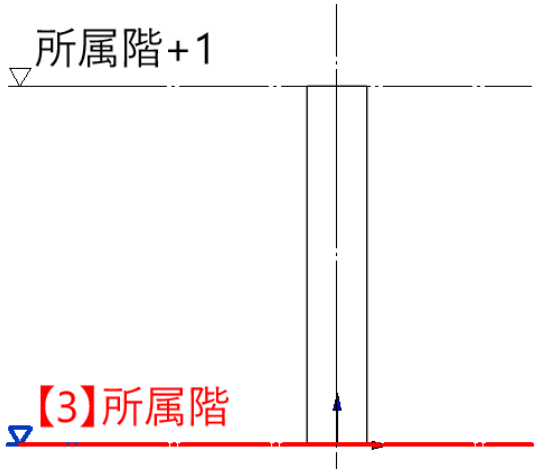
1-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

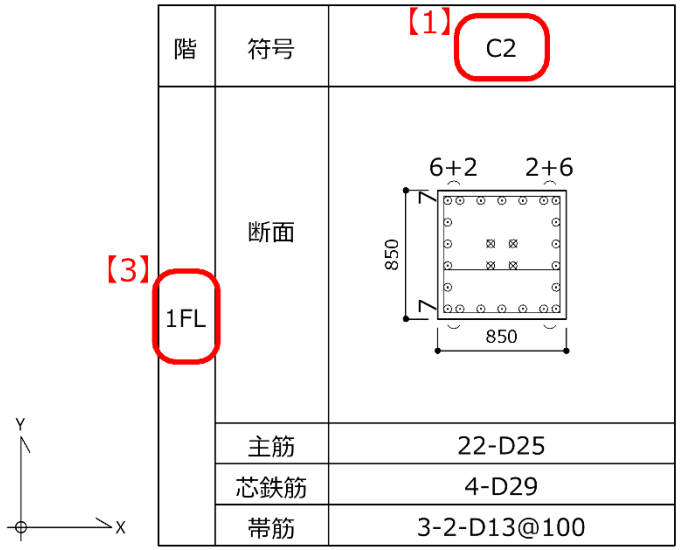
イメージ



配置情報

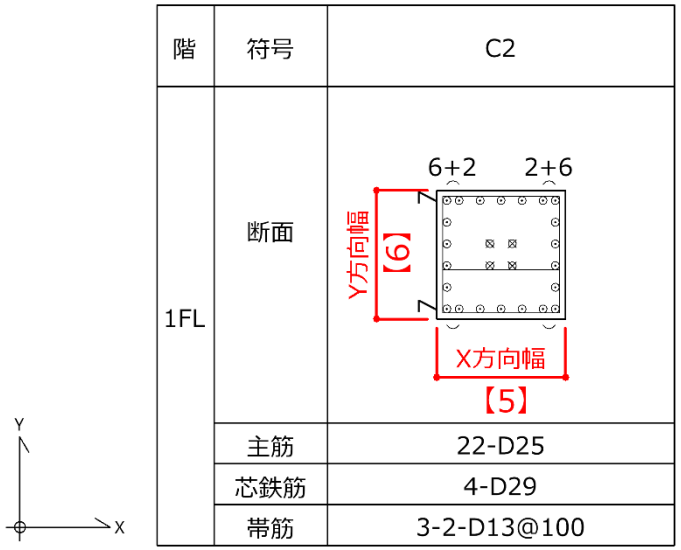


識別情報・配置情報



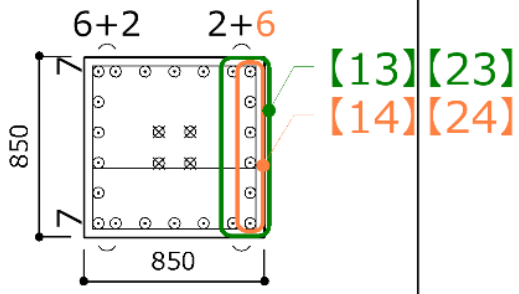
階	符号	C2
1FL	断面	
	主筋	22-D25
	芯鉄筋	4-D29
	帯筋	3-2-D13@100

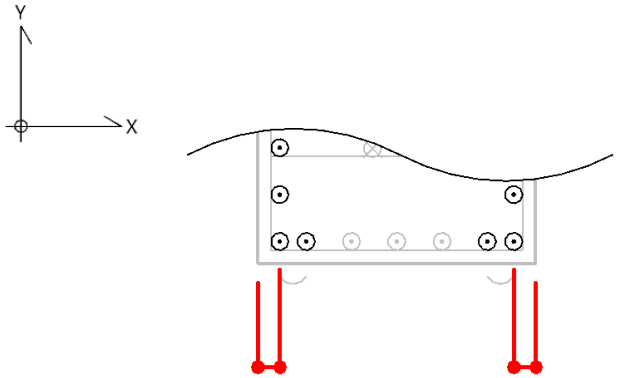
断面



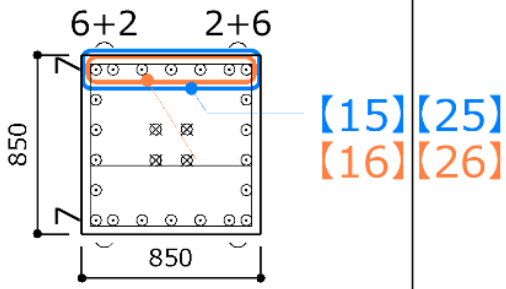
階	符号	C2
1FL	断面	
	主筋	22-D25
	芯鉄筋	4-D29
	帯筋	3-2-D13@100

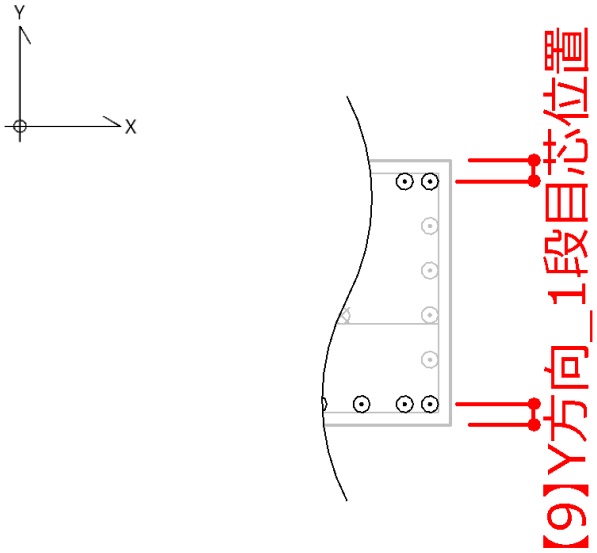
主筋X方向

1FL	断面	
	主筋	22 - D25【7】
	芯鉄筋	4-D29
	帯筋	3-2-D13@100

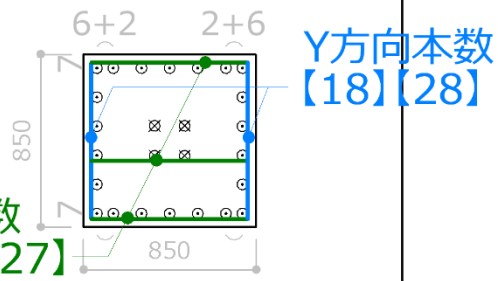


主筋Y方向

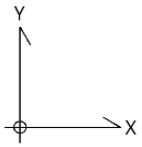
1FL	断面	
	主筋	22 - D25【7】
	芯鉄筋	4-D29
	帯筋	3-2-D13@100



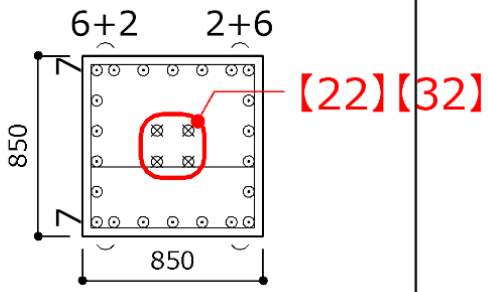
帯筋

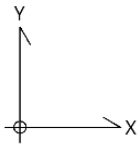
階	符号	C2
1FL	断面	
	主筋	22-D25
	芯鉄筋	4-D29
	帯筋	3-2-D13@100

【17】【18】【10】【19】
【27】【28】　　【29】



芯鉄筋

階	符号	C2
1FL	断面	
	主筋	22-D25
	芯鉄筋	【22】【32】4-D29【12】
	帯筋	3-2-D13@100



2. RC 丸柱_標準

柱頭・柱脚を同一断面寸法とし、断面形状は円形とする。

2-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	小分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				種別	kind_column	String	○		以下による柱種別。COLUMN（柱）、POST（間柱）
3	配置情報			所属階	floor	String	○	○	
4	材料情報		コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
5	寸法情報		断面	径	D	Double	○		
6	配筋情報	共通	主筋	径	D_main	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
7				1 段目芯位置	position_main_1st	Double	○		鉄筋のうち 1 段目の芯の位置
8			帯筋	径	D_hoop	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
9			幅止筋	径	D_spacing	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
10			芯鉄筋	径	D_axial	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
11		柱頭	主筋	本数	N_main_top	Integer	○		
12			帯筋	ピッチ	pitch_hoop_top	Double	○		
13			幅止筋	X 方向本数	N_bar_spacing_X_top	Integer	○		X 方向に配置された鉄筋の本数
14				Y 方向本数	N_bar_spacing_Y_top	Integer	○		Y 方向に配置された鉄筋の本数
15			芯鉄筋	本数	N_axial_top	Integer	○		
16		柱脚	主筋	本数	N_main_bottom	Integer	○		

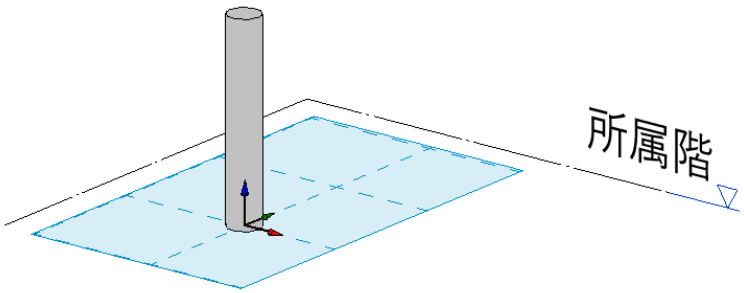
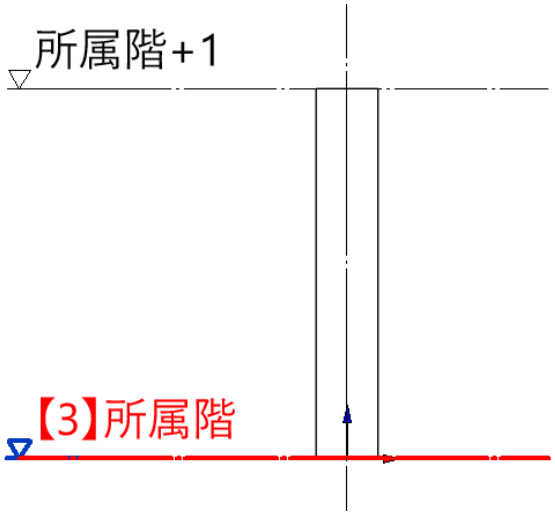
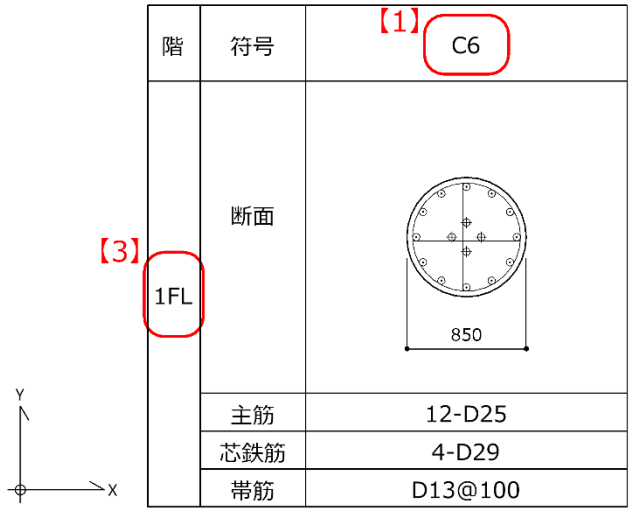
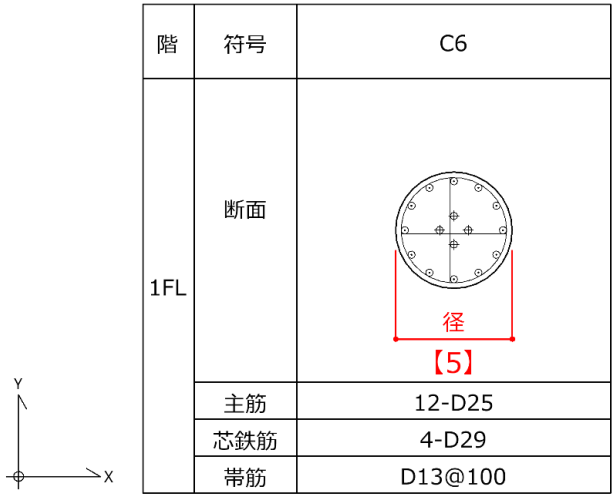
17			帯筋	ピッチ	pitch_hoop_bottom	Double	○		
18			幅止筋	X 方向本数	N_bar_spacing_X_bottom	Integer	○		X 方向に配置された鉄筋の本数
19				Y 方向本数	N_bar_spacing_Y_bottom	Integer	○		Y 方向に配置された鉄筋の本数
20			芯鉄筋	本数	N_axial_bottom	Integer	○		
21		パネル	帯筋	径	D_hoop_panel	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 柱脚側パネルゾーンについては別オブジェクトとして定義する
22				ピッチ	pitch_hoop_panel	Double	○		

2-2. 分類体系の推奨値

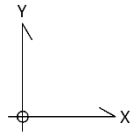
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	基礎柱の場合 EF_20_05_30 Foundations を推奨する
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_30_75_15	Concrete column system	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_16_15	Concrete columns	

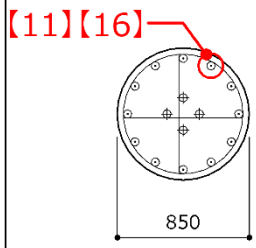
2-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

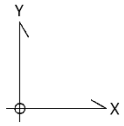
イメージ		所属階	
所属階・符号		断面	

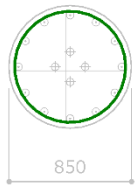
主筋



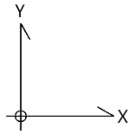
階	符号	C6
1FL	断面	
	主筋	12-D25【6】
	芯鉄筋	4-D29
	帯筋	D13@100

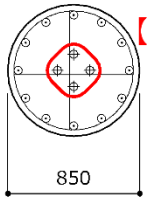
帯筋



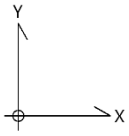
階	符号	C6
1FL	断面	
	主筋	12-D25
	芯鉄筋	4-D29
	帯筋	D13 @100

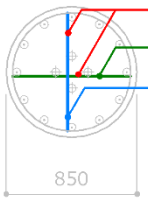
芯鉄筋



階	符号	C6
1FL	断面	
	主筋	12-D25
	芯鉄筋	【15】【20】4-D29【10】
	帯筋	D13@100

幅止筋



階	符号	C6
1FL	断面	
	主筋	12-D25
	芯鉄筋	4-D29
	帯筋	D13@100

III. RC 梁

1. RC 梁 3 断面_標準

始端・中央・終端を別々の断面寸法とでき、各断面形状は長方形とする。

1-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				種別	kind_beam	String	○		基礎・片持ちを含む梁種別で以下による。 GIRDER（大梁）、BEAM（小梁）、FOUNDATION GIRDER（基礎大梁）、FOUNDATION BEAM（基礎小梁）
3	配置情報			所属階	floor	String	○	○	部材の配置情報を検索しなくても部材リストが作成できるようにするための属性であり、部材リストに用いる階を記述する。
4	材料情報	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
5	断面情報	始端	断面	幅	width_start	Double	○		全段面にする場合でも中央・終端の幅・せいの入力は必須とする（省略不可）

6				せい	depth_start	Double	○		
7			ハンチ	形状	kind_haunch_start	String	○		ハンチ形状で以下による。 SLOPE（スロープ）、DROP（ドロップ）
8				長さ	haunch_start	Double		○	
9				水平方向寄りの種類	kind_haunch_position_H_start	String		○	水平方向の寄りの種類で以下による。 CENTER（中央合わせ）、LEFT（左面合わせ）、RIGHT（右面合わせ）、VALUE（数値入力）
10				水平方向寄りの数値	haunch_position_H_start	Double		○	水平方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 梁中央断面中心と端部断面中心のオフセットを表し、始端から終端を見て左側を＋、右側を－とする。
11				鉛直方向寄りの種類	type_haunch_V_start	String		○	鉛直方向の寄りの種類で以下による TOP（鉛直上ハンチ）、BOTTOM（鉛直下ハンチ）、VALUE（数値入力）
12				鉛直方向寄りの数値	haunch_position_V_start	Double		○	鉛直方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 鉛直下ハンチとした場合の端部断面の鉛直中心線に対し、ハンチ後の鉛直中心線のオフセットを表し、オフセットが鉛直上方向なら＋、下方向なら－とする。
13		中央	断面	幅	width	Double	○		
14				せい	depth	Double	○		
15		終端	断面	幅	width_end	Double	○		
16				せい	depth_end	Double	○		
17			ハンチ	形状	kind_haunch_end	String	○		ハンチ形状で以下による。 SLOPE（スロープ）、DROP（ドロップ）
18				長さ	haunch_end	Double		○	
19				水平方向寄りの種類	kind_haunch_position_H_end	String		○	水平方向の寄りの種類で以下による。 CENTER（中央合わせ）、LEFT（左面合わせ）、RIGHT（右面合わせ）、VALUE（数値入力）
20				水平方向寄りの数値	haunch_position_H_end	Double		○	水平方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 梁中央断面の心と端部断面の心のオフセットを表し、始端から終端を見て左側を＋、右側を－とする。

21				鉛直方向寄りの種類	type_haunch_V_end	String		○	鉛直方向の寄りの種類で以下による TOP（鉛直上ハンチ）、BOTTOM（鉛直下ハンチ）、VALUE（数値入力）
22				鉛直方向寄りの数値	haunch_position_V_end	Double		○	鉛直方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 鉛直下ハンチとした場合の端部断面の鉛直中心線に対し、ハンチ後の鉛直中心線のオフセットを表し、オフセットが鉛直上方向なら＋、下方向なら－とする。
23	配筋情報	共通	上端筋	1 段目芯鉛直位置	position_V_main_top_1st	Double	○		
24			下端筋	1 段目芯鉛直位置	position_V_main_bottom_1st	Double	○		
25			肋筋	径	D_stirrup	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
26			腹筋	径	D_web	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
27			幅止筋	径	D_bar_spacing	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
28				ピッチ	pitch_bar_spacing	Double	○		
29		始端	主筋	径	D_main_start	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
30			上端筋	総本数	N_main_Top_total_start	Integer	○		
31				1 段目本数	N_main_top_1st_start	Integer	○		
32			下端筋	総本数	N_main_bottom_total_start	Integer	○		
33				1 段目本数	N_main_bottom_1st_start	Integer	○		
34			肋筋	本数	N_stirrup_start	Integer	○		
35				ピッチ	pitch_stirrup_start	Double	○		
36			腹筋	本数	N_web_start	Integer	○		
37			幅止筋	本数	N_bar_spacing_start	Integer	○		
38		中央	主筋	径	D_main	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
39			上端筋	総本数	N_main_Top_total	Integer	○		
40				1 段目本数	N_main_top_1st	Integer	○		
41			下端筋	総本数	N_main_bottom_total	Integer	○		
42				1 段目本数	N_main_bottom_1st	Integer	○		
43			肋筋	本数	N_stirrup	Integer	○		
44				ピッチ	pitch_stirrup	Double	○		
45			腹筋	本数	N_web	Integer	○		

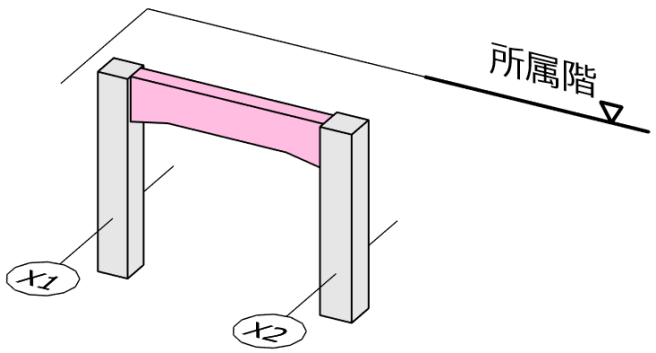
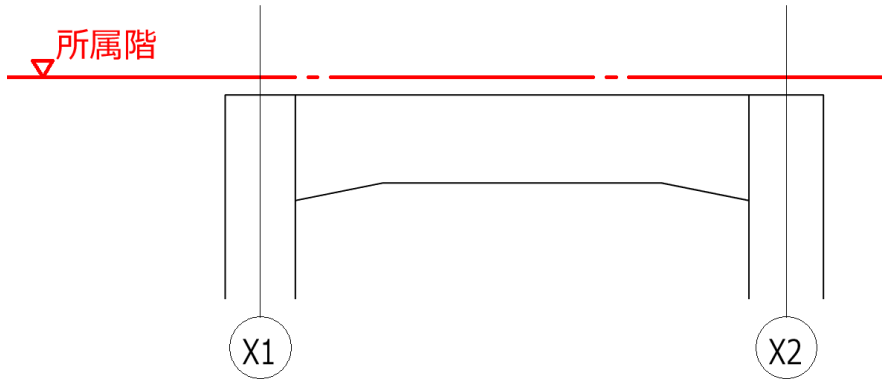
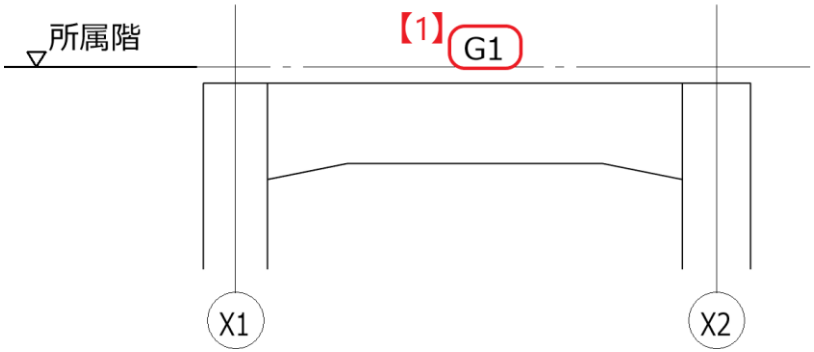
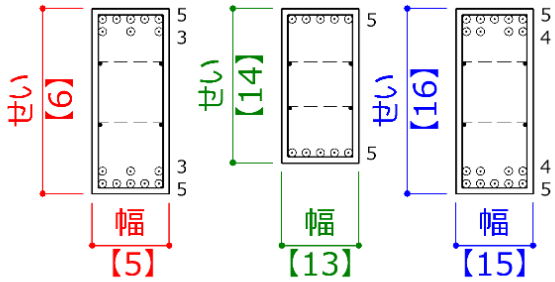
46			幅止筋	本数	N_bar_spacing	Integer	○		
47		終端	主筋	径	D_main_end	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
48			上端筋	総本数	N_main_Top_total_end	Integer	○		
49				1 段目本数	N_main_top_1st_end	Integer	○		
50			下端筋	総本数	N_main_bottom_total_end	Integer	○		
51				1 段目本数	N_main_bottom_1st_end	Integer	○		
52			肋筋	本数	N_stirrup_end	Integer	○		
53				ピッチ	pitch_stirrup_end	Double	○		
54			腹筋	本数	N_web_end	Integer	○		
55			幅止筋	本数	N_bar_spacing_end	Integer	○		

1-2. 分類体系の推奨値

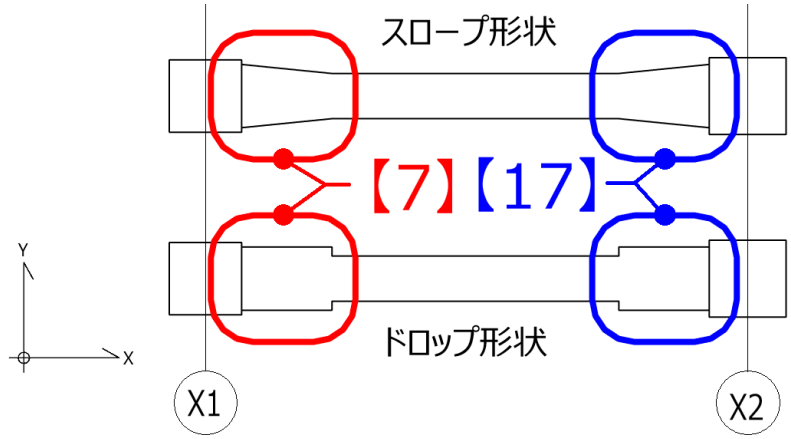
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	基礎梁の場合 EF_20_05_30 Foundations を推奨する
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_20_75_15	Concrete beam systems	基礎梁の場合 Ss_20_05_15_71 Reinforced concrete pilecap and ground beam foundation systems を推奨する
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_08_15	Concrete beams	

1-3. パラメータ解説

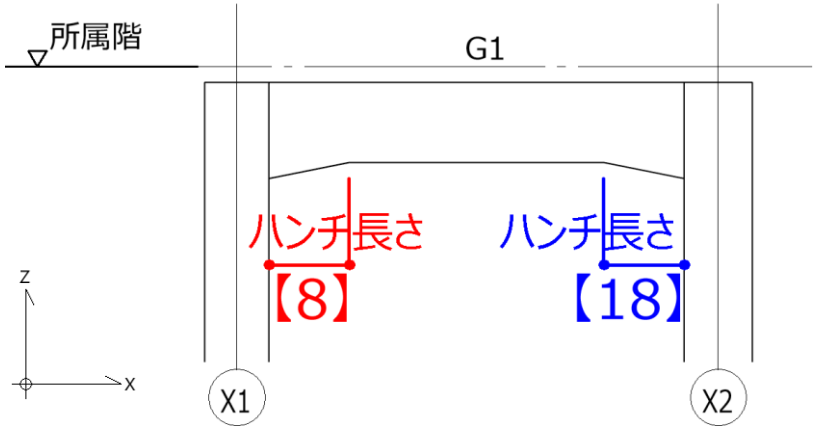
図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

<table>
<tr>
<td>イメージ</td>
<td> 
</td>
<td>所属階</td>
<td> 
</td>
</tr>
<tr>
<td>符号</td>
<td> 
</td>
<td>断面</td>
<td>
<table>
<tr><td>符号
階</td><td colspan="3">G1</td></tr>
<tr><td>位置</td><td>始端</td><td>中央</td><td>終端</td></tr>
<tr><td>2FL</td><td colspan="3"> 
</td></tr>
<tr><td>上端筋</td><td>8-D25</td><td>5-D25</td><td>9-D25</td></tr>
<tr><td>下端筋</td><td>8-D25</td><td>5-D25</td><td>9-D25</td></tr>
<tr><td>肋筋</td><td colspan="3">2-D10@100</td></tr>
<tr><td>腹筋</td><td colspan="3">4-D10</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

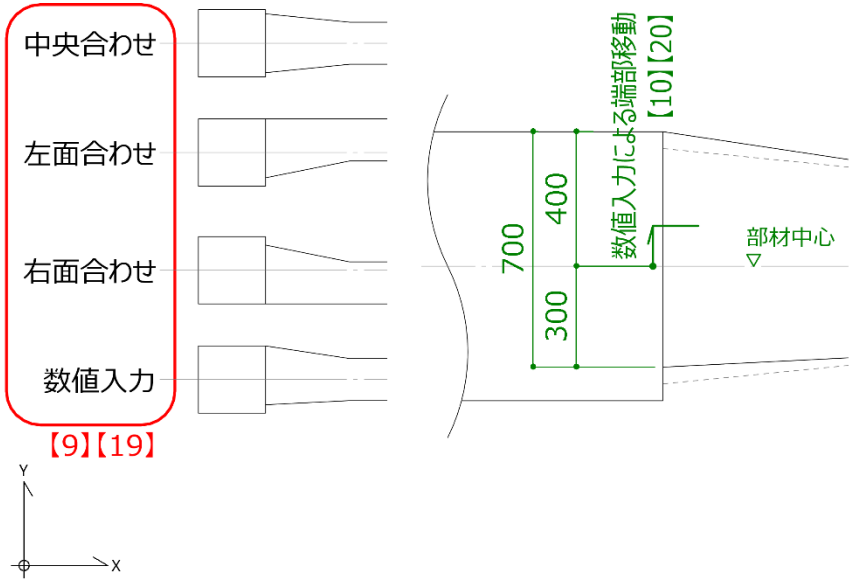
水平ハンチ形状



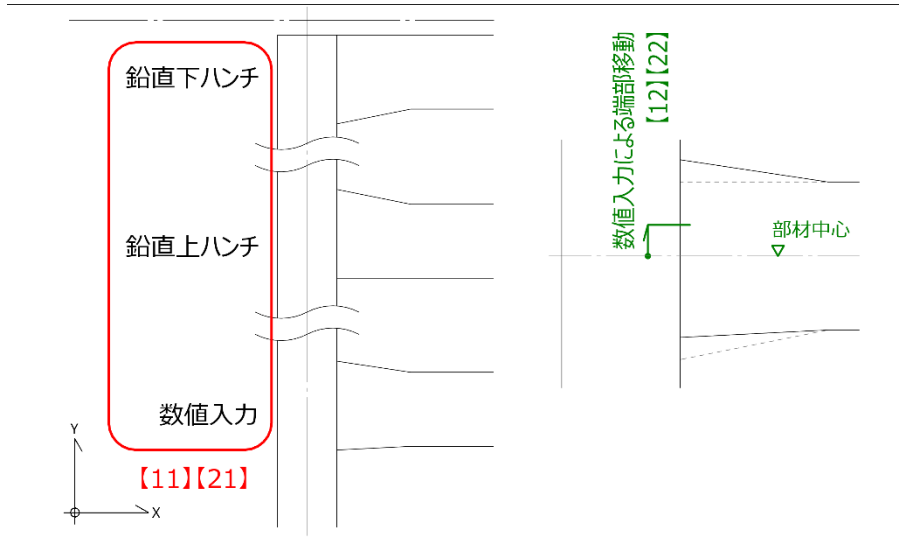
ハンチ長さ



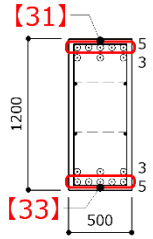
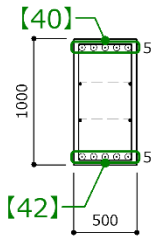
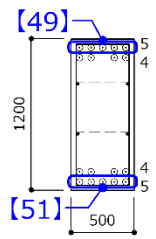
水平方向ハンチ寄り



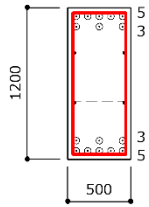
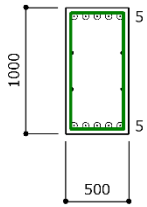
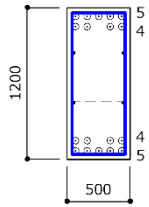
鉛直方向ハンチ寄り



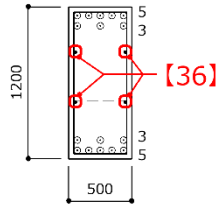
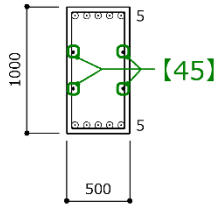
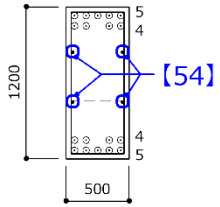
主筋

符号 / 階	G1		
位置	始端	中央	終端
2FL			
上端筋	【30】8-D25【29】	【39】5-D25【38】	【48】9-D25【47】
下端筋	【32】8-D25【29】	【41】5-D25【38】	【50】9-D25【47】
肋筋	2 -D10 @100	2 -D10 @100	2 -D10 @100
腹筋	4 -D10	4 -D10	4 -D10

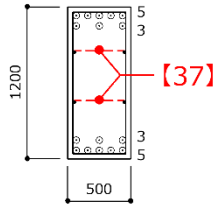
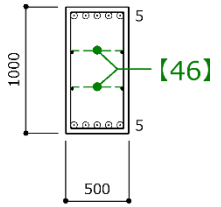
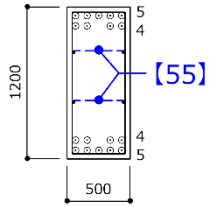
肋筋

符号 / 階	G1		
位置	始端	中央	終端
2FL			
上端筋	8 -D25	5 -D25	9 -D25
下端筋	8 -D25	5 -D25	9 -D25
肋筋	【34】2-D10@100【35】【25】	【43】2-D10@100【44】【25】	【52】2-D10@100【53】【25】
腹筋	4 -D10	4 -D10	4 -D10

腹筋

符号 / 階	G1		
位置	始端	中央	終端
2FL			
上端筋	8 -D25	5 -D25	9 -D25
下端筋	8 -D25	5 -D25	9 -D25
肋筋	2 -D10 @100	2 -D10 @100	2 -D10 @100
腹筋	【36】4-D10【26】	【45】4-D10【26】	【54】4-D10【26】

幅止筋

符号 / 階	G1		
位置	始端	中央	終端
2FL			
上端筋	8 -D25	5 -D25	9 -D25
下端筋	8 -D25	5 -D25	9 -D25
肋筋	2 -D10 @100	2 -D10 @100	2 -D10 @100
腹筋	4 -D10	4 -D10	4 -D10

2. RC 梁 2 断面_標準

始端・終端を別々の断面寸法とでき、各断面形状は長方形とする。

2-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				種別	kind_beam	String	○		基礎・片持ちを含む梁種別で以下による。 GIRDER（大梁）、BEAM（小梁）、CANTI GIRDER（片持ち梁）、CANTI BEAM（片持ち小梁）、FOUNDATION GIRDER（基礎大梁）、FOUNDATION BEAM（基礎小梁）、FOUNDATION CANTI GIRDER（基礎片持ち大梁）、FOUNDATION CANTI BEAM（基礎片持ち小梁）
3	配置情報			所属階	floor	String	○	○	部材の配置情報を検索しなくても部材リストが作成できるようにするための属性であり、部材リストに用いる階を記述する。
4	材料情報	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	種別も含む
5	寸法情報	始端	断面	幅	width	Double	○		
6				せい	depth	Double	○		
7			ハンチ	形状	kind_haunch_start	String	○		ハンチ形状で以下による。 SLOPE（スロープ）、DROP（ドロップ）
8				長さ	haunch_start	Double		○	

9				水平方向寄りの種類	kind_haunch_position_H_start	String		○	水平方向の寄りの種類で以下による。 CENTER（中央合わせ）、LEFT（左面合わせ）、RIGHT（右面合わせ）、VALUE（数値入力）
10				水平方向寄りの数値	haunch_position_H_start	Double		○	水平方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 梁中央断面中心と端部断面中心のオフセットを表し、始端から終端を見て左側を＋、右側を－とする。
11				鉛直方向寄りの種類	type_haunch_V_start	String		○	鉛直方向の寄りの種類で以下による TOP（鉛直上ハンチ）、BOTTOM（鉛直下ハンチ）、VALUE（数値入力）
12				鉛直方向寄りの数値	haunch_position_V_start	Double		○	鉛直方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 鉛直下ハンチとした場合の端部断面の鉛直中心線に対し、ハンチ後の鉛直中心線のオフセットを表し、オフセットが鉛直上方向なら＋、下方向なら－とする。
13		終端	断面	幅	width_end	Double	○		
14				せい	depth_end	Double	○		
15	配筋情報	共通	上端筋	1 段目芯鉛直位置	position_V_main_top_1st	Double	○		
16			下端筋	1 段目芯鉛直位置	position_V_main_bottom_1st	Double	○		
17			肋筋	径	D_stirrup	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
18			腹筋	径	D_web	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
19			幅止筋	径	D_bar_spacing	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
20				ピッチ	pitch_bar_spacing	Double	○		
21		始端	主筋	径	D_main	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
22			上端筋	総本数	N_main_Top_total	Integer	○		
23				1 段目本数	N_main_top_1st	Integer	○		
24			下端筋	総本数	N_main_bottom_total	Integer	○		
25				1 段目本数	N_main_bottom_1st	Integer	○		
26			肋筋	本数	N_stirrup	Integer	○		
27				ピッチ	pitch_stirrup	Double	○		
28			腹筋	本数	N_web	Integer	○		
29			幅止筋	本数	N_bar_spacing	Integer	○		

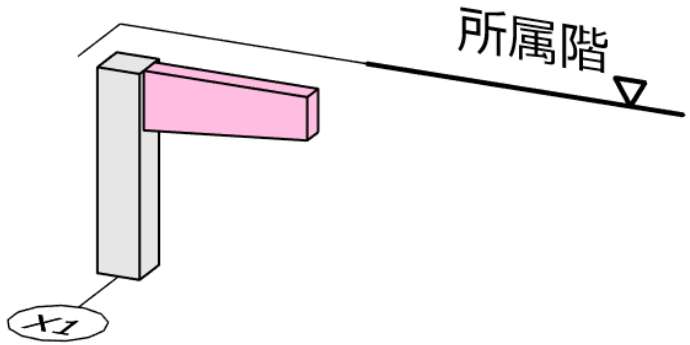
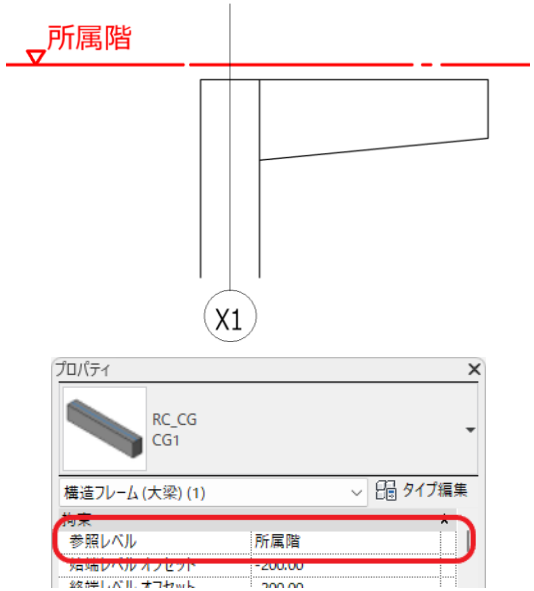
30		終端	主筋	径	D_main_end	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D25
31			上端筋	総本数	N_main_Top_total_end	Integer	○		
32				1 段目本数	N_main_top_1st_end	Integer	○		
33			下端筋	総本数	N_main_bottom_total_end	Integer	○		
34				1 段目本数	N_main_bottom_1st_end	Integer	○		
35			肋筋	本数	N_stirrup_end	Integer	○		
36				ピッチ	pitch_stirrup_end	Double	○		
37			腹筋	本数	N_web_end	Integer	○		
38			幅止筋	本数	N_bar_spacing_end	Integer	○		

2-2. 分類体系の推奨値

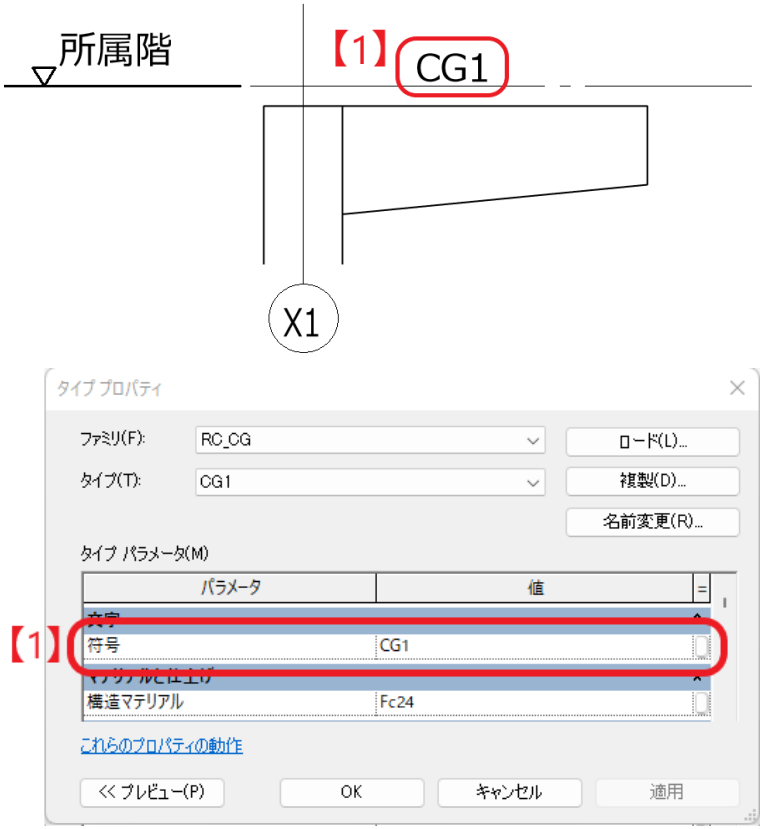
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	基礎梁の場合 EF_20_05_30 Foundations を推奨する
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_20_75_15	Concrete beam systems	基礎梁の場合 Ss_20_05_15_71 Reinforced concrete pilecap and ground beam foundation systems を推奨する
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_08_15	Concrete beams	

2-3. パラメータ解説

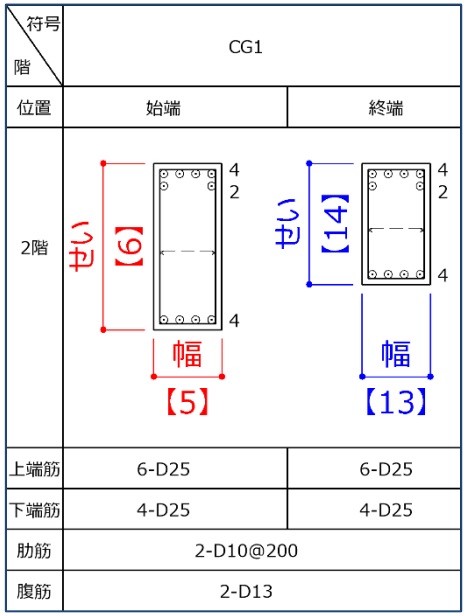
図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

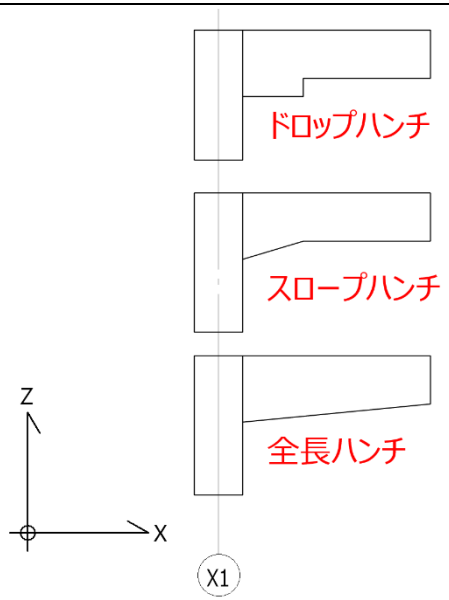
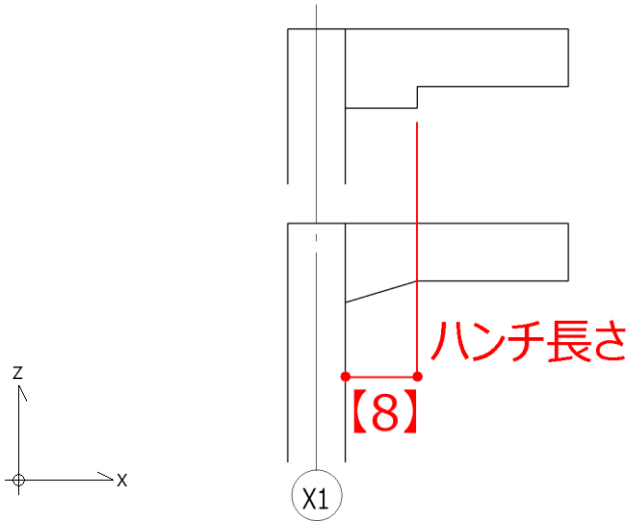
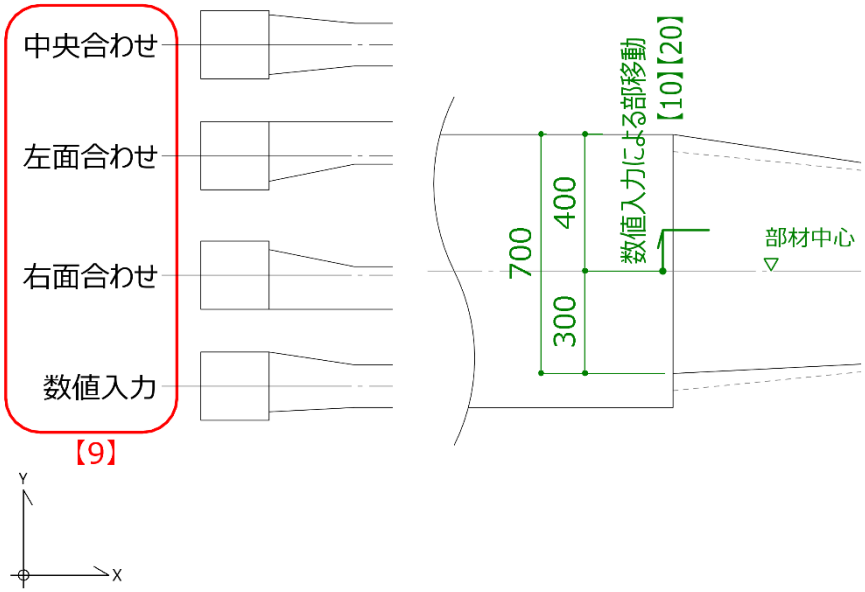
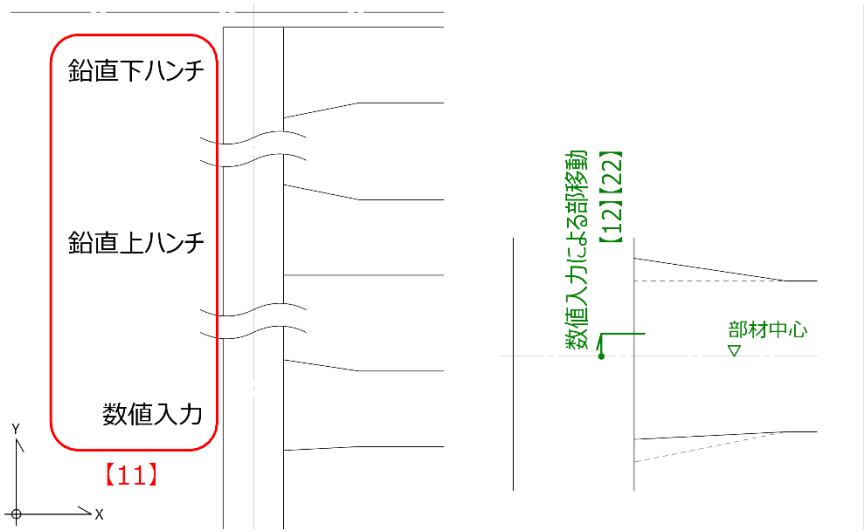
イメージ	 所属階 X1	所属階	 所属階 X1 プロパティ RC_CG CG1 構造フレーム (大梁) (1) タイプ編集 拘束 参照レベル 所属階

符号

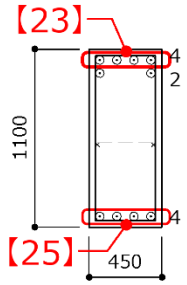
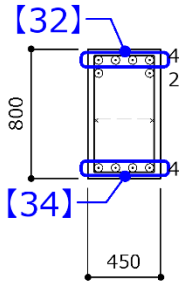

所属階
【1】
CG1
X1
タイプ プロパティ
ファミリ(F):
RC_CG
ロード(L)...
タイプ(T):
CG1
複製(D)...
名前変更(R)...
タイプ パラメータ(M)
パラメータ
値
【1】
符号
CG1
構造マテリアル
Fc24
これらのプロパティの動作
<< プレビュー(P)
OK
キャンセル
適用

断面

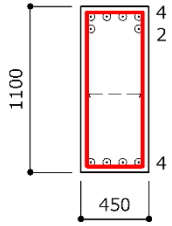
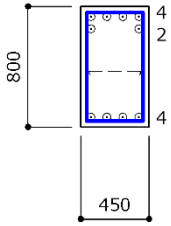

符号
階
CG1
位置
始端
終端
2階
せい
【9】
4
2
4
幅
【5】
せい
【14】
4
2
4
幅
【13】
上端筋
6-D25
6-D25
下端筋
4-D25
4-D25
肋筋
2-D10@200
腹筋
2-D13

鉛直ハンチ形状		ハンチ長さ	
水平方向ハンチ寄り		鉛直方向ハンチ寄り	

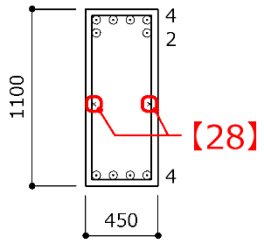
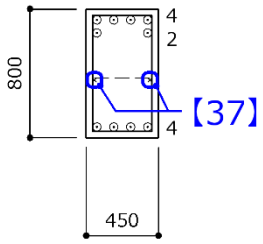
主筋

符号 / 階	CG1	
位置	始端	終端
2階		
上端筋	【22】6-D25【21】	【31】6-D25【30】
下端筋	【24】4-D25【21】	【33】4-D25【30】
肋筋	2-D10@200	2-D10@200
腹筋	2-D13	2-D13

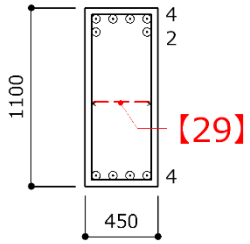
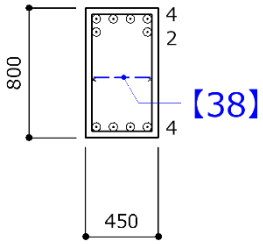
肋筋

符号 / 階	CG1	
位置	始端	終端
2階		
上端筋	6 -D25	6 -D25
下端筋	4 -D25	4 -D25
肋筋	【26】2-D10@200【27】 【17】	【35】2-D10@200【36】 【17】
腹筋	2-D13	2-D13

腹筋

符号 / 階	CG1	
位置	始端	終端
2階		
上端筋	6 -D25	6 -D25
下端筋	4 -D25	4 -D25
肋筋	2-D10@200	2-D10@200
腹筋	【28】2-D13【18】	【37】2-D13【18】

幅止筋

符号 / 階	CG1	
位置	始端	終端
2階		
上端筋	6 -D25	6 -D25
下端筋	4 -D25	4 -D25
肋筋	2-D10@200	2-D10@200
腹筋	2 -D13	2 -D13

IV. 鉄骨柱

1. S 柱 H 形鋼_標準

柱頭・柱脚を同一断面寸法とし、断面形状は H 形とする。

1-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報	符号	name	String	○		
2		種別	kind_column	String	○		以下による柱種別。COLUMN（柱）、POST（間柱）
3	配置情報	所属階	floor	String	○	○	
4		鉄骨の向き	isReferenceDirection	Boolean	○		Y 軸方向強軸を True、X 方向強軸を False とする
5	材料情報	フランジ材質	strength_main	String	○		
6		ウェブ材質	strength_web	String	○		
7	寸法情報	形状タイプ	type	String	○		JIS H 形鋼、外法一定 H 形鋼、BH 形鋼の別（JISH/RH/BH）
8		高さ	H	Double	○		
9		幅	B	Double	○		

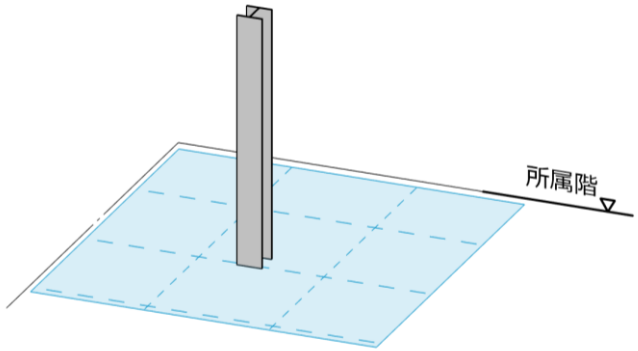
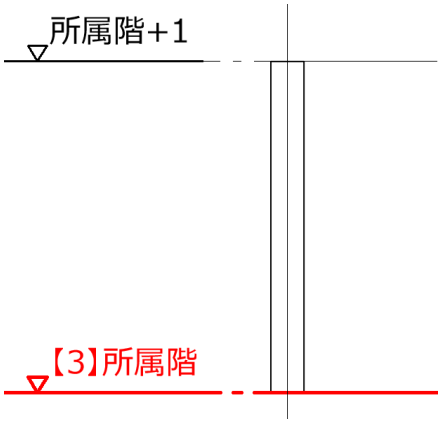
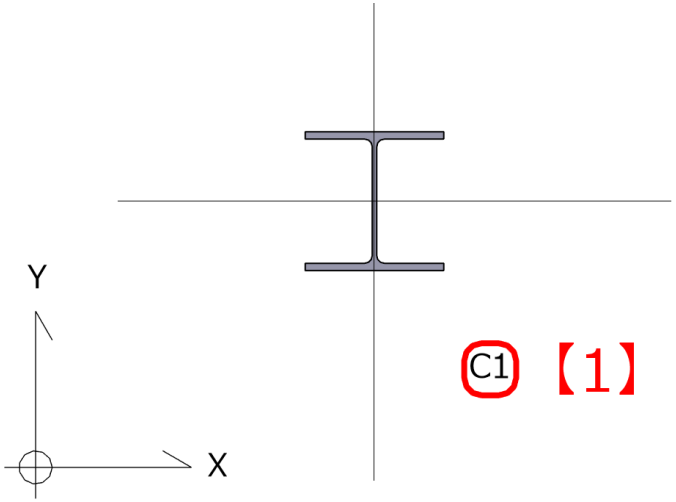
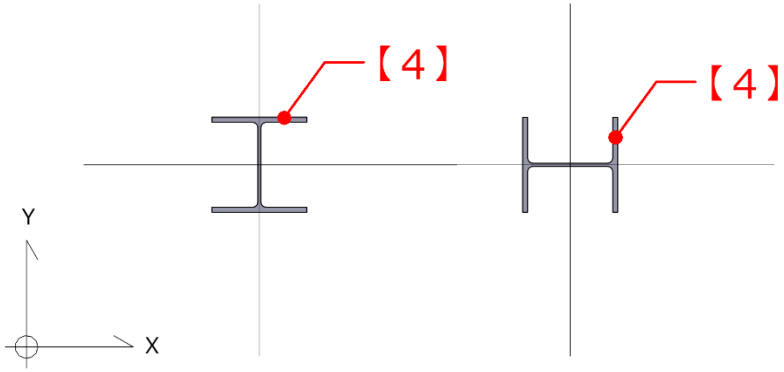
10				ウェブ厚さ	tw	Double	○		
11				フランジ厚さ	tf	Double	○		
12				ウェブ フィレット	r	Double	○		
13	接合情報	共通	継手	符号	name_joint	String		○	
14				距離	joint	Double		○	基点（オフセット後のジオメトリ端点）からの距離
15		柱頭	仕口	条件	condition_top	String	○		以下による。FIX（固定）、PIN（ピン）
16		柱脚	仕口	条件	condition_bottom	String	○		以下による。FIX（固定）、PIN（ピン）
17				形式	base_type	String	○		以下による。NONE（鉄骨柱脚なし）、EXPOSE（露出）、EMBEDDED（埋込）、WRAP（根巻）

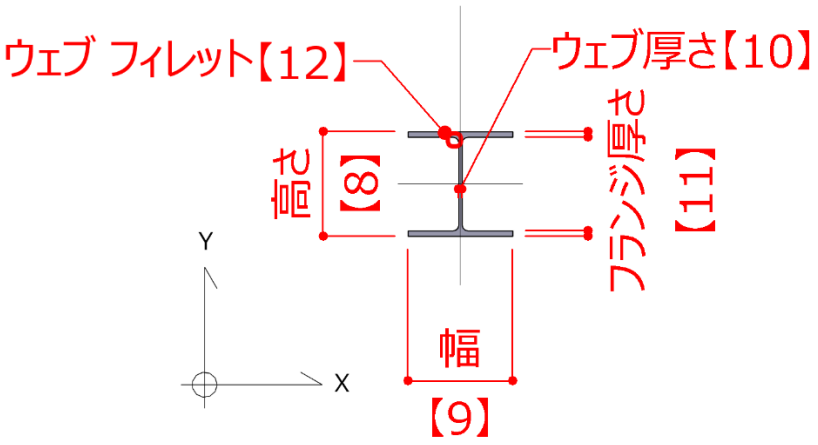
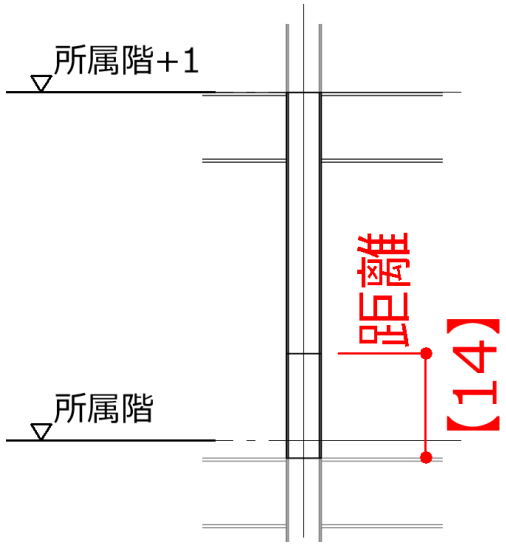
1-2. 分類体系の推奨値

BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_05_12_23	Structural Steel for Buildings	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_30_75_80	Steel column systems	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_16_11	Carbon steel columns	

1-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	
符号		鉄骨の向き	 左：True、右：False

断面	 ウェブ フィレット【12】 ウェブ厚さ【10】 高さ【8】 フランジ厚さ【11】 幅【9】 Y X	継手	 所属階+1 所属階 階高【14】

2. S 柱角形鋼管_標準

柱頭・柱脚を同一断面寸法とし、断面形状は長方形管形とする。

2-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

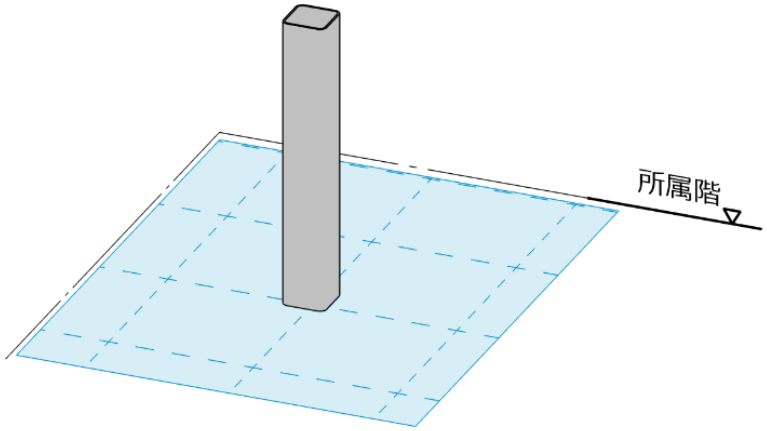
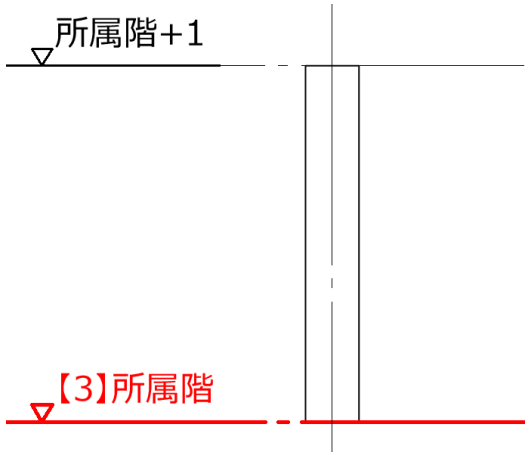
	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				種別	kind_column	String	○		以下による柱種別。COLUMN（柱）、POST（間柱）
3	配置情報			所属階	floor	String	○	○	
4	材料情報			材質	strength_main	String	○		
5	寸法情報			形状タイプ	type	String	○		BCP/BCR/STKR/BBOX の別
6				高さ	H	Double	○		
7				幅	B	Double	○		
8				板厚	t1	Double	○		
9				板厚 2	t2	Double	○		
10				外側フィレット	r	Double	○		
11	接合情報	共通	継手	符号	name_joint	String		○	
12				距離	joint	Double		○	基点（オフセット後のジオメトリ端点）からの距離
13		柱頭	仕口	条件	condition_top	String	○		以下による。FIX（固定）、PIN（ピン）
14		柱脚	仕口	条件	condition_bottom	String	○		以下による。FIX（固定）、PIN（ピン）
15				形式	base_type	String	○		以下による。NONE（鉄骨柱脚なし）、EXPOSE（露出）、EMBEDDED（埋込）、WRAP（根巻）

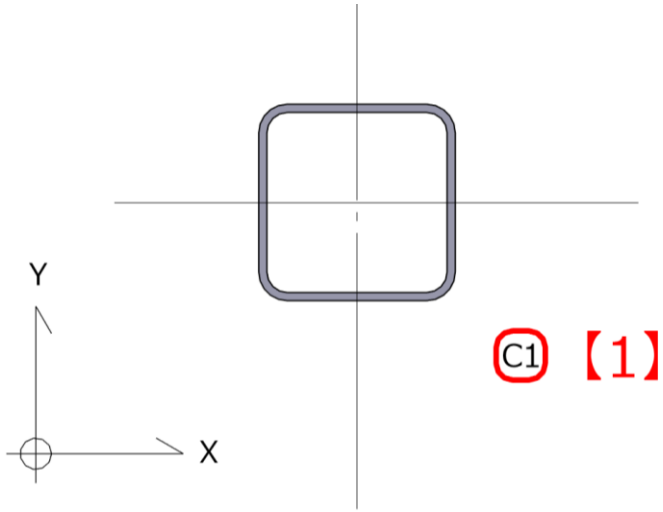
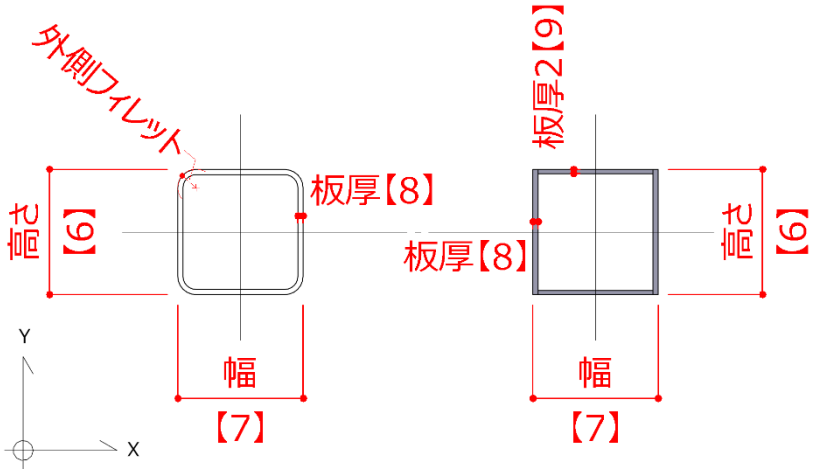
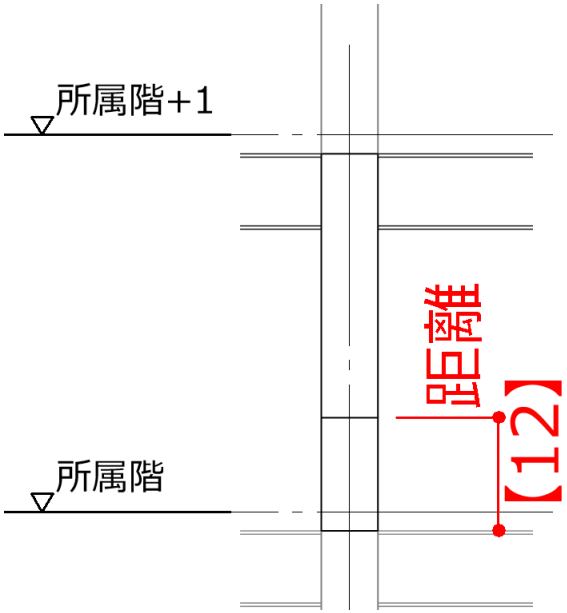
2-2. 分類体系の推奨値

BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_05_12_23	Structural Steel for Buildings	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_30_75_80	Steel column systems	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_16_11	Carbon steel columns	

2-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	

符号	 Y X C1 【1】	断面	 外側フィレット 板厚【8】 高さ【9】 幅【7】 Y X 板厚2【6】 板厚【8】 高さ【9】 幅【7】
継手	 所属階+1 所属階 距離【12】		

3. S 柱鋼管_標準

柱頭・柱脚を同一断面寸法とし、断面形状は管形とする。

3-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

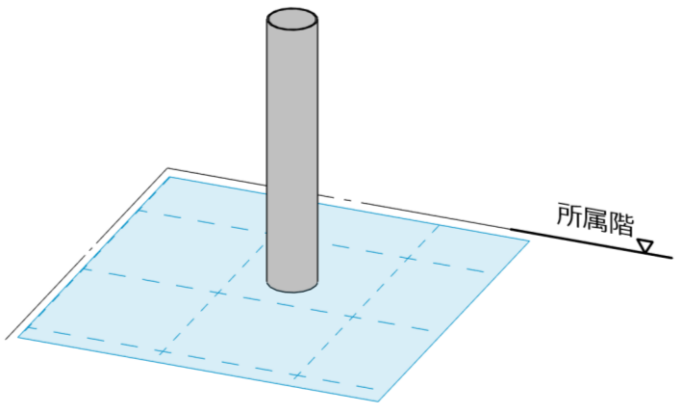
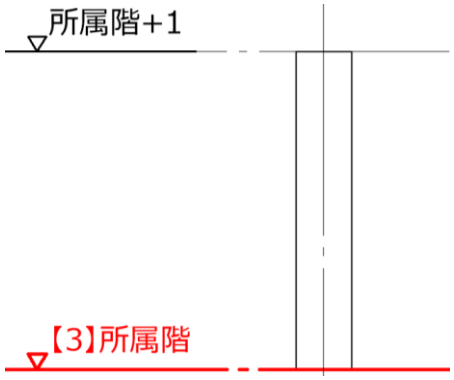
	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				種別	kind_column	String	○		以下による柱種別。COLUMN（柱）、POST（間柱）
3	配置情報			所属階	floor	String	○	○	
4	材料情報			材質	strength_main	String	○		
5	寸法情報			直径	D	Double	○		
6				板厚	t	Double	○		
7	接合情報	共通	継手	符号	name_joint	String		○	
8				距離	joint	Double		○	基点（オフセット後のジオメトリ端点）からの距離
9		柱頭	仕口	条件	condition_top	String	○		以下による。FIX（固定）、PIN（ピン）
10		柱脚	仕口	条件	condition_bottom	String	○		以下による。FIX（固定）、PIN（ピン）
11				形式	base_type	String	○		以下による。NONE（鉄骨柱脚なし）、EXPOSE（露出）、EMBEDDED（埋込）、WRAP（根巻）

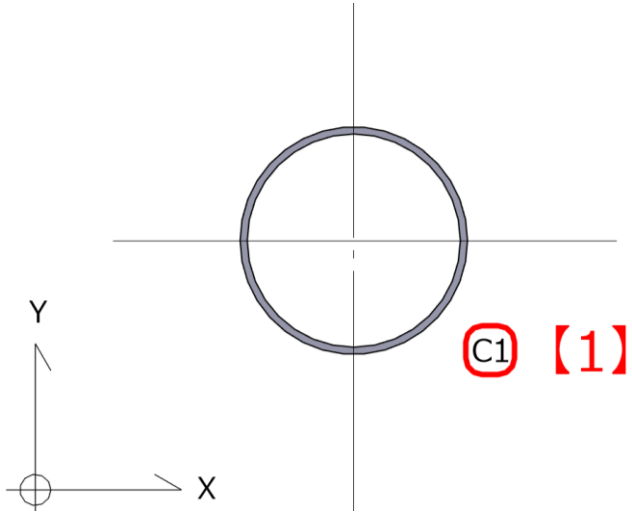
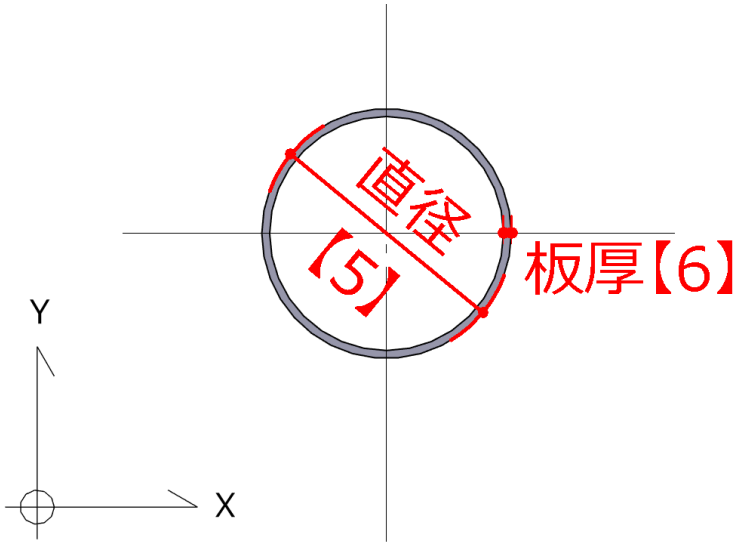
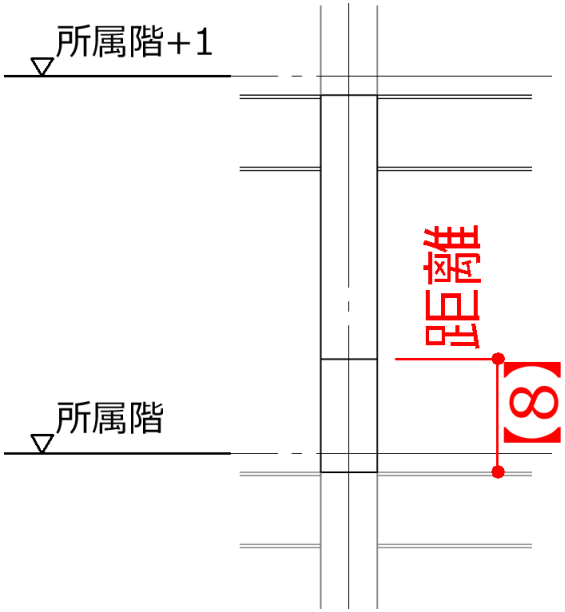
3-2. 分類体系の推奨値

BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_05_12_23	Structural Steel for Buildings	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_30_75_80	Steel column systems	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_16_11	Carbon steel columns	

3-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	

符号		断面	
継手			

V. 鉄骨梁

1. S 梁 H 形鋼 3 断面_標準

始端・中央・終端を別々の断面寸法とでき、各断面形状は H 形とする。

1-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類		項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報		符号	name	String	○		
2			種別	kind_beam	String	○		片持ちを含む梁種別で以下による。 GIRDER（大梁）、BEAM（小梁）、CANTI GIRDER（片持ち梁）、CANTI BEAM（片持ち小梁）
3	配置情報		所属階	floor	String	○	○	部材の配置情報を検索しなくても部材リストが作成できるようにするための属性であり、部材リストに用いる階を記述する。
4	材料情報	始端	フランジ材質	strength_main_start	String	○		
5			ウェブ材質	strength_web_start	String	○		
6		中央	フランジ材質	strength_main	String	○		

7				ウェブ材質	strength_web	String	○		
8		終端		フランジ材質	strength_main_end	String	○		
9				ウェブ材質	strength_web_end	String	○		
10	寸法情報	共通	位置合わせ	梁天端合わせ	alignment_top	String	○		
11			ハンチ	水平方向寄りの種類	type_haunch_H	String		○	水平方向の寄りの種類で以下による。 CENTER（中央合わせ）、LEFT（左面合わせ）、RIGHT（右面合わせ）、VALUE（数値入力）
12				水平方向寄りの数値	haunch_position_H	Double		○	水平方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 梁中央断面の中心と端部断面の中心のオフセットを表し、始端から終端を見て左側を＋、右側を－とする
13				鉛直方向寄りの種類	type_haunch_V	String		○	鉛直方向の寄りの種類で以下による TOP（鉛直上ハンチ）、BOTTOM（鉛直下ハンチ）、VALUE（数値入力）
14				鉛直方向寄りの数値	haunch_position_V	Double		○	鉛直方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 鉛直下ハンチとした場合の端部断面の鉛直中心線に対し、ハンチ後の鉛直中心線のオフセットを表し、オフセットが鉛直上方向なら＋、下方向なら－とする
15		始端	断面	形状タイプ	type_start	String	○		JIS H 形鋼、外法一定 H 形鋼、BH 形鋼の別（JISH/RH/BH）
16				高さ	H_start	Double	○		
17				幅	B_start	Double	○		
18				ウェブ厚さ	tw_start	Double	○		
19				フランジ厚さ	tf_start	Double	○		
20				ウェブ フィレット	r_start	Double	○		
21			ハンチ	形状	kind_haunch_start	String	○		ハンチ形状で以下による。 SLOPE（スロープ）、DROP（ドロップ）
22				サイドプレートか否か	isSideplate_start	Boolean	○		水平ハンチにサイドプレートを使うか否か
23				長さ	haunch_start	Double	○		
24				水平部長さ	horizontal_haunch_start	Double	○		ハンチ元端から水平に出るプレートの長さ

25				サイド PL 長さ	side_plate_start	Double	○		サイドプレートの場合に入力し、ハンチ長さ（haunch_start）と同値とする
26				サイド PL 水平長さ	horizontal_side_plate_start	Double	○		サイドプレートの場合に入力
27				サイド PL 先端立上り長さ	tip_side_plate_start	Double	○		サイドプレートの場合に入力
28		中央		形状タイプ	type	String	○		JIS H 形鋼、外法一定 H 形鋼、BH 形鋼の別（JISH/RH/BH）
29				高さ	H	Double	○		
30				幅	B	Double	○		
31				ウェブ厚さ	tw	Double	○		
32				フランジ厚さ	tf	Double	○		
33				ウェブ フィレット	r	Double	○		
34		終端	断面	形状タイプ	type_end	String	○		JIS H 形鋼、外法一定 H 形鋼、BH 形鋼の別（JISH/RH/BH）
35				高さ	H_end	Double	○		
36				幅	B_end	Double	○		
37				ウェブ厚さ	tw_end	Double	○		
38				フランジ厚さ	tf_end	Double	○		
39				ウェブ フィレット	r_end	Double	○		
40			ハンチ	形状	kind_haunch_end	String	○		ハンチ形状で以下による。 SLOPE（スロープ）、DROP（ドロップ）
41				サイドプレートか否か	isSideplate_end	Boolean	○		水平ハンチにサイドプレートを使うか否か
42				長さ	haunch_end	Double	○		
43				水平部長さ	horizontal_haunch_end	Double	○		ハンチ元端から水平に出るプレートの長さ
44				サイド PL 長さ	side_plate_end	Double	○		サイドプレートの場合に入力
45				サイド PL 水平長さ	horizontal_side_plate_end	Double	○		サイドプレートの場合に入力
46				サイド PL 先端立上り長さ	tip_side_plate_end	Double	○		サイドプレートの場合に入力
47	接合情報	始端	仕口	条件	condition_start	String		○	端部接合条件を表し以下による。 FIX、PIN

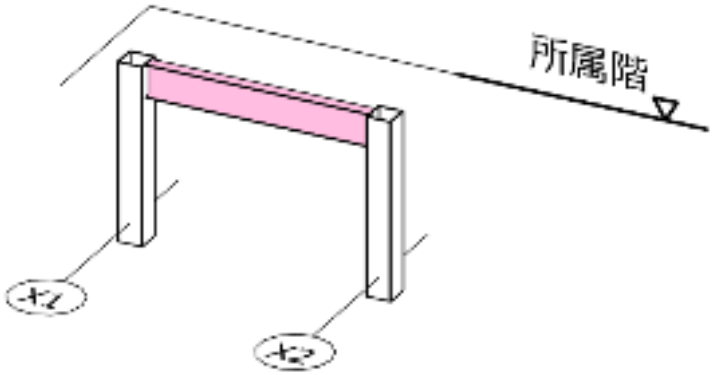
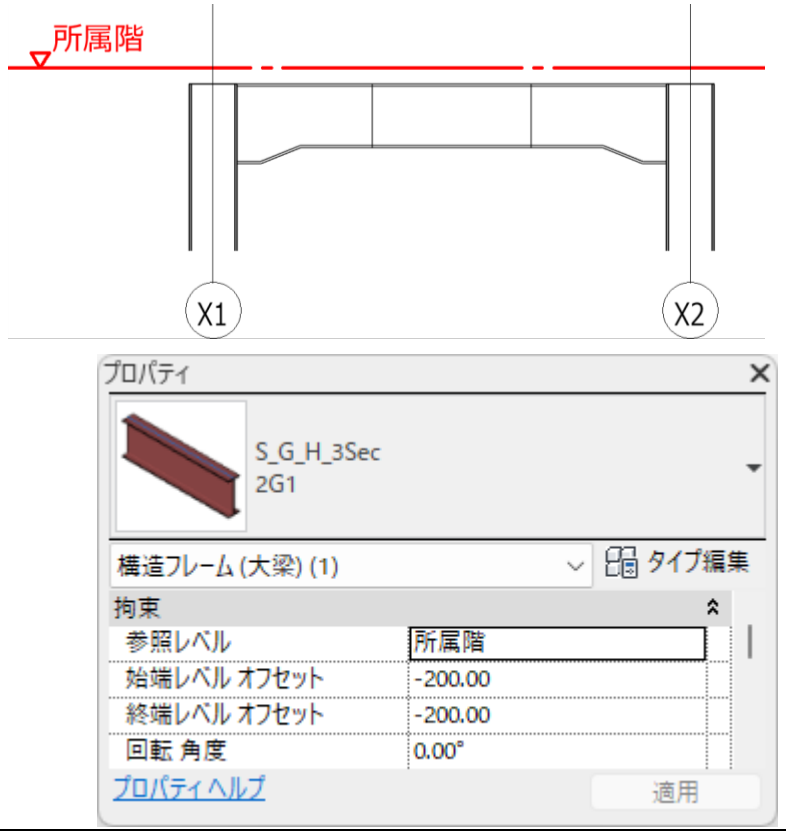
48			継手	符号	name_joint_start	String		○	
49				距離	joint_start	Double		○	基点（下柱柱頭の基準点）からの距離
50		終端	仕口	条件	condition_end	String		○	端部接合条件を表し以下による。 FIX、PIN
51			継手	符号	name_joint_end	String		○	
52				距離	joint_end	Double		○	基点（下柱柱頭の基準点）からの距離

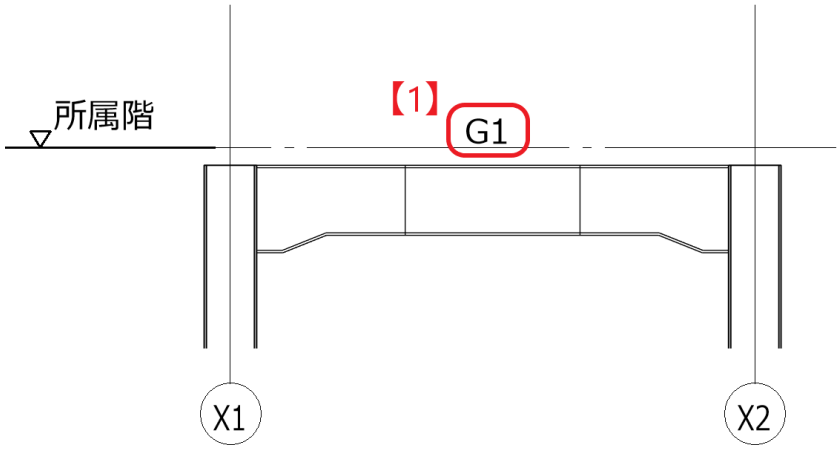
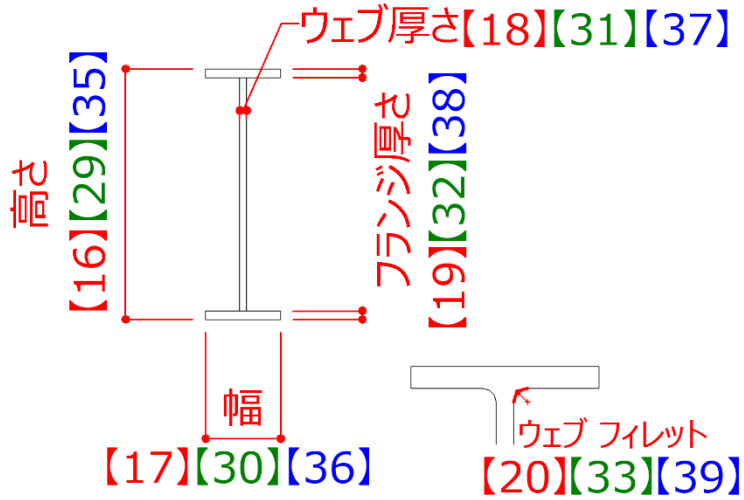
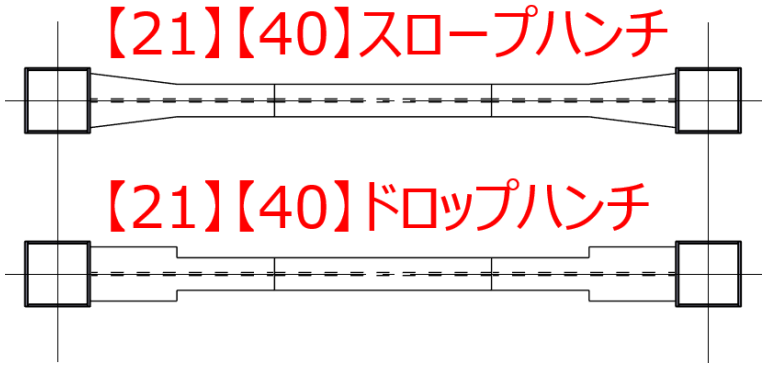
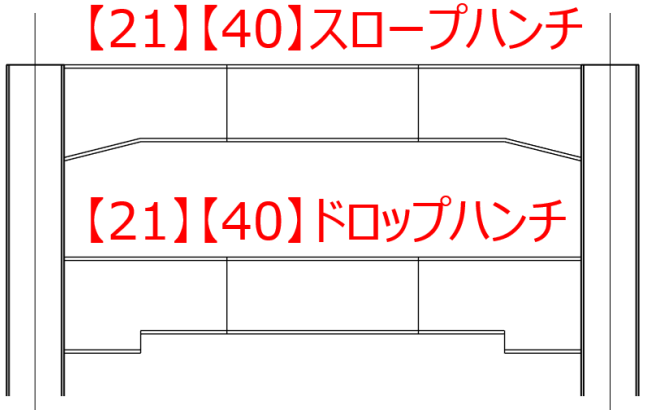
1-2. 分類体系の推奨値

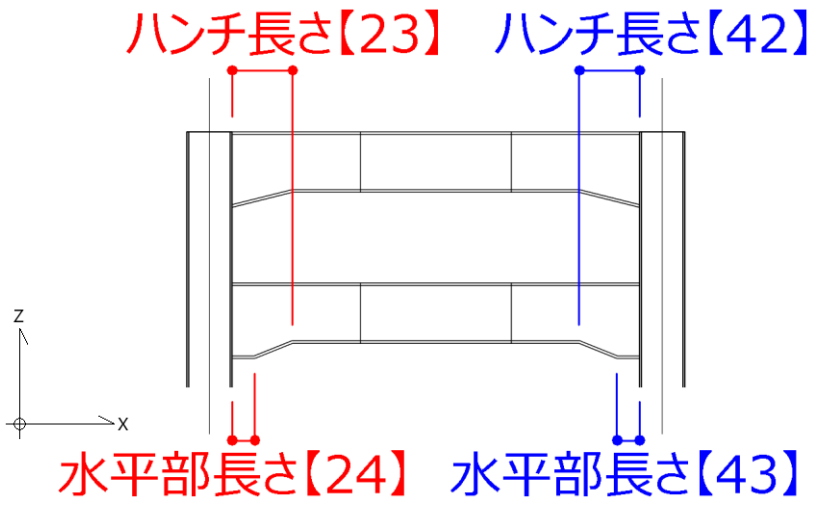
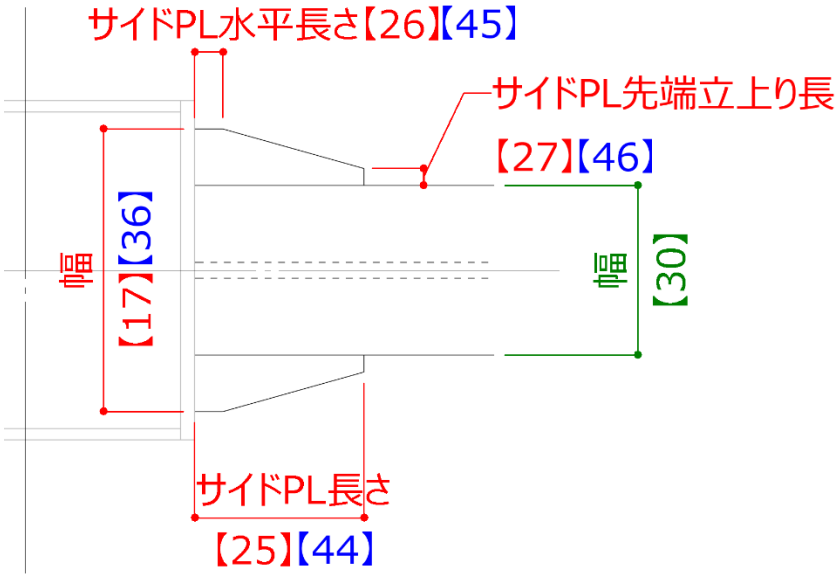
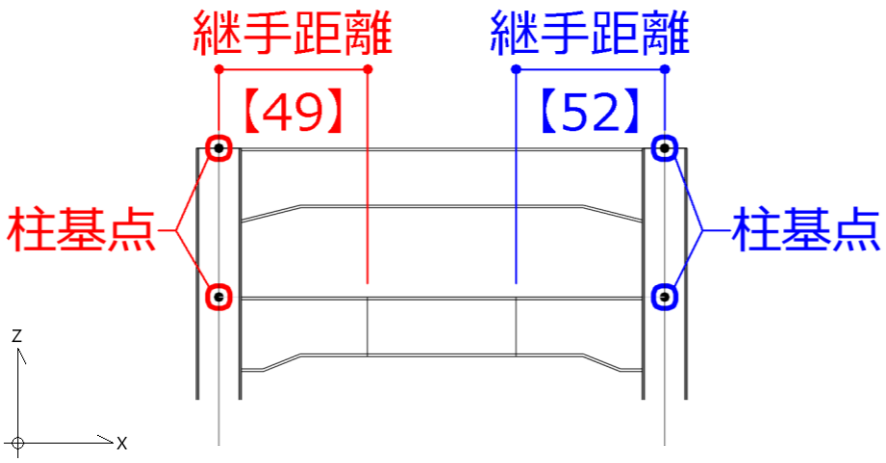
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_05_12_23	Structural Steel for Buildings	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	SS_20_20_75_80	Steel beam system	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_08_11	Carbon steel beams	

1-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ	 所属階	所属階	 所属階 X1 X2 プロパティ S_G_H_3Sec 2G1 構造フレーム (大梁) (1) タイプ編集 拘束 参照レベル 所属階 始端レベル オフセット -200.00 終端レベル オフセット -200.00 回転 角度 0.00° プロパティ ヘルプ 適用

符号		断面	
水平ハンチ形状		鉛直ハンチ形状	

ハンチ長さ		サイドプレート	
継手距離			

2. S 梁 H 形鋼 2 断面_標準

始端・終端を別々の断面寸法とでき、各断面形状は H 形とする。

2-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				種別	kind_beam	String	○		片持ちを含む梁種別で以下による。 GIRDER（大梁）、BEAM（小梁）、CANTI GIRDER（片持ち梁）、CANTI BEAM（片持ち小梁）
3	配置情報			所属階	floor	String	○	○	部材の配置情報を検索しなくても部材リストが作成できるようにするための属性であり、部材リストに用いる階を記述する。
4	材料情報	始端		フランジ材質	strength_main	String	○		
5				ウェブ材質	strength_web	String	○		
6		終端		フランジ材質	strength_main_end	String	○		
7				ウェブ材質	strength_web_end	String	○		
8	寸法情報	始端	断面	形状タイプ	type	String	○		JIS H 形鋼、外法一定 H 形鋼、BH 形鋼の別（JISH/RH/BH）
9				高さ	H	Double	○		
10				幅	B	Double	○		
11				ウェブ厚さ	tw	Double	○		
12				フランジ厚さ	tf	Double	○		

13				ウェブ フィレット	r	Double	○		
14			ハンチ	形状	kind_haunch	String	○		ハンチ形状で以下による。 ALL（全長）、SLOPE（スロープ）、DROP（ドロップ）
15				サイドプレートか否か	isSideplate_start	Boolean	○		水平ハンチにサイドプレートを使うか否か
16				長さ	haunch	Double	○		
17				水平部長さ	horizontal_haunch	Double	○		ハンチ元端から水平に出るプレートの長さ
18				サイド PL 長さ	side_plate	Double	○		サイドプレートの場合に入力し、ハンチ長さ（haunch_start）と同値とする
19				サイド PL 水平長さ	horizontal_side_plate	Double	○		サイドプレートの場合に入力
20				サイド PL 立上り長さ	tip_side_plate	Double	○		サイドプレートの場合に入力
21				水平方向寄りの種類	type_haunch_H	String		○	水平方向の寄りの種類で以下による。 CENTER（中央合わせ）、LEFT（左面合わせ）、RIGHT（右面合わせ）、VALUE（数値入力）
22				水平方向寄りの数値	haunch_position_H	Double		○	水平方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 梁中央断面中心と端部断面中心のオフセットを表し、始端から終端を見て左側を＋、右側を－とする。
23				鉛直方向寄りの種類	type_haunch_V	String		○	鉛直方向の寄りの種類で以下による TOP（鉛直上ハンチ）、BOTTOM（鉛直下ハンチ）、VALUE（数値入力）
24				鉛直方向寄りの数値	haunch_position_V	Double		○	鉛直方向寄りの種類が数値入力だった場合に記述する。 鉛直下ハンチとした場合の端部断面の鉛直中心線に対し、ハンチ後の鉛直中心線のオフセットを表し、オフセットが鉛直上方向なら＋、下方向なら－とする。
25		終端	断面	形状タイプ	type_end	String	○		JIS H 形鋼、外法一定 H 形鋼、BH 形鋼の別（JISH/RH/BH）
26				高さ	H_end	Double	○		
27				幅	B_end	Double	○		
28				ウェブ厚さ	tw_end	Double	○		
29				フランジ厚さ	tf_end	Double	○		

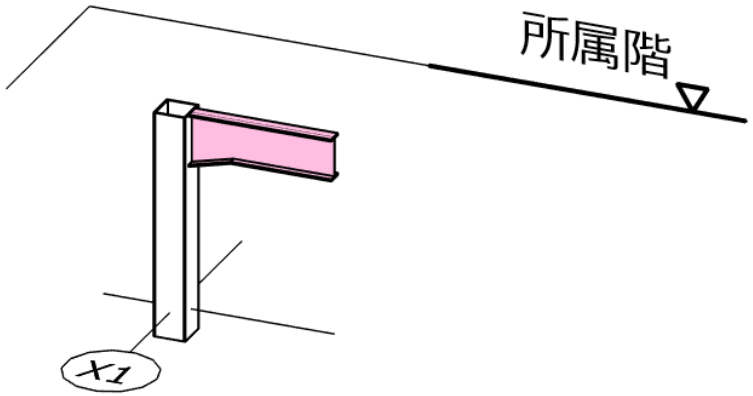
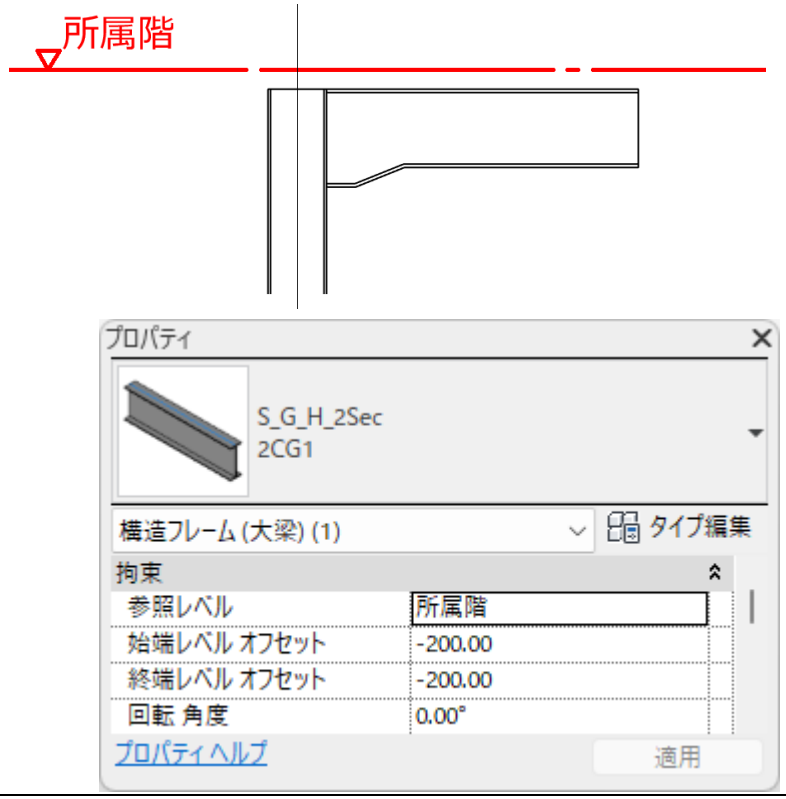
30				ウェブ フィレット	r_end	Double	○		
31	接合情報	始端	仕口	条件	condition_start	String		○	端部接合条件を表し以下による。 FIX、PIN
32			継手	符号	name_joint_start	String		○	
33				距離	joint	Double		○	基点（下柱柱頭の基準点）からの距離
34		終端	仕口	条件	condition_end	String		○	端部接合条件を表し以下による。 FIX、PIN
35			継手	符号	name_joint_end	String		○	片持ち梁先端に鼻先小梁が取りつく場合の継手符号を想定

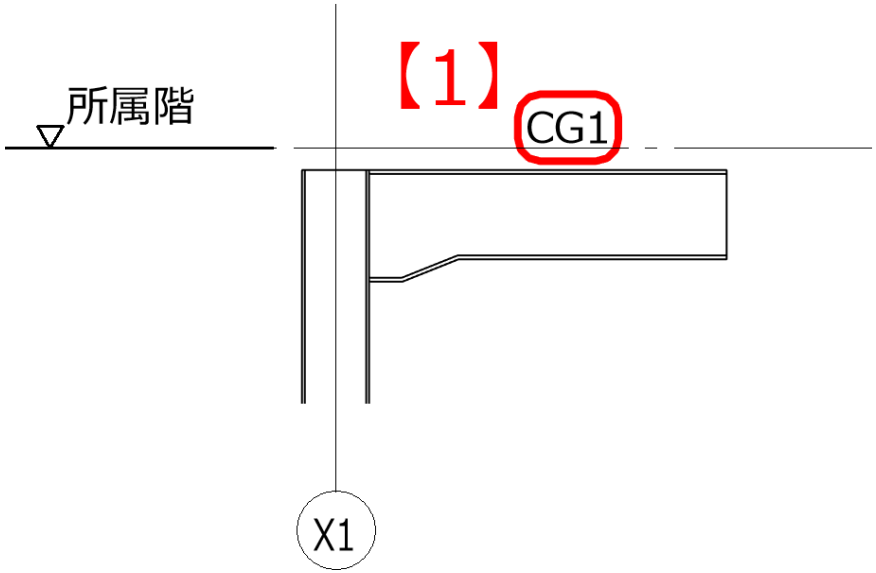
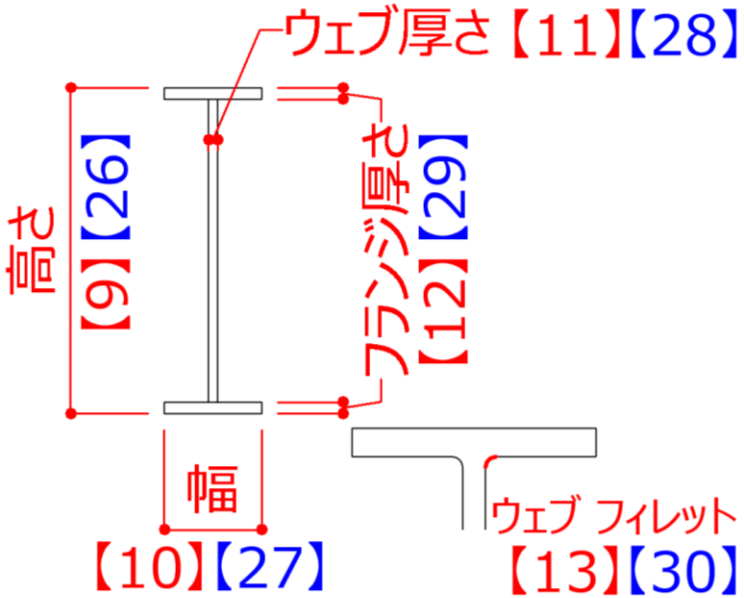
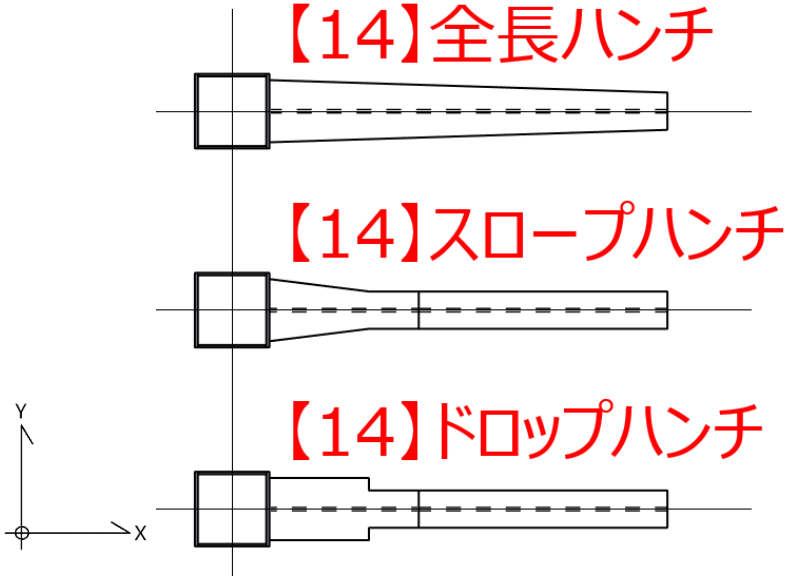
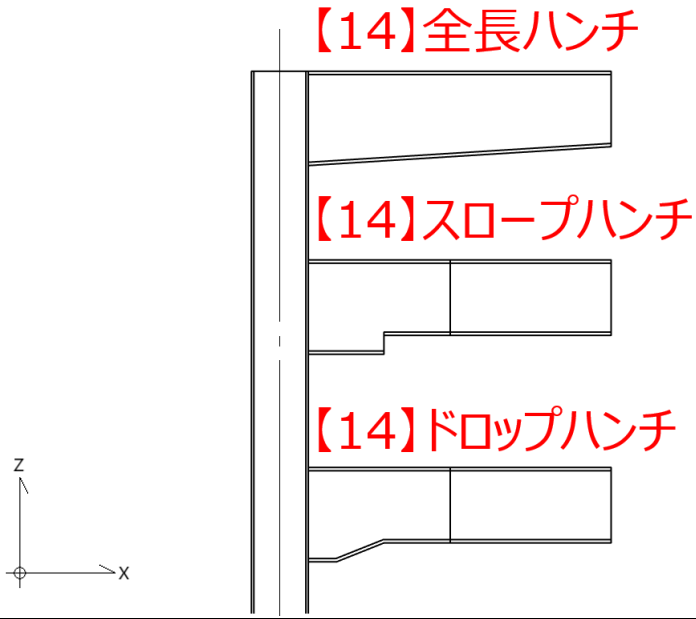
2-2. 分類体系の推奨値

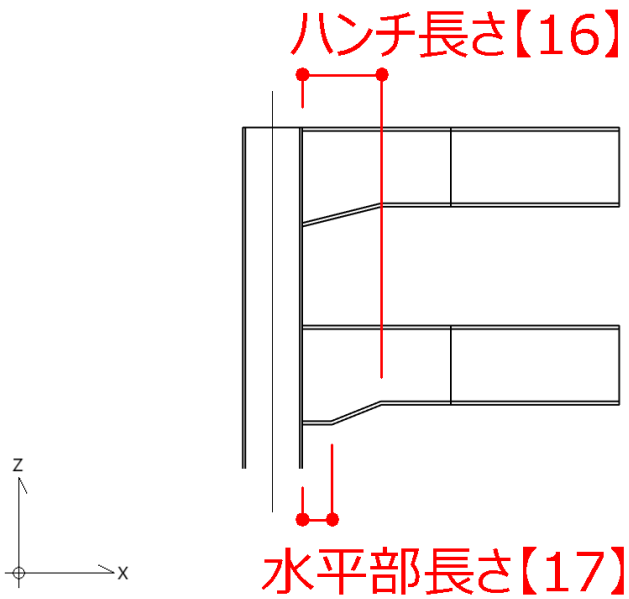
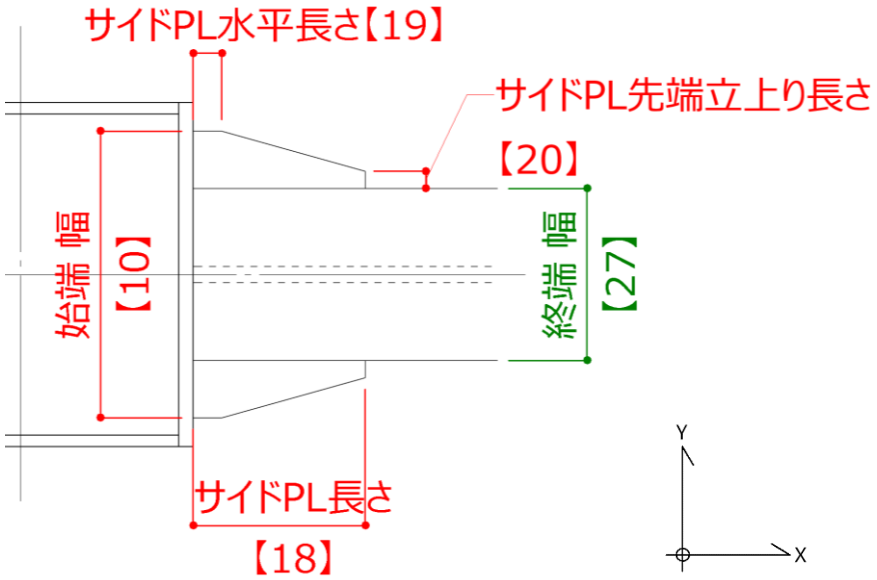
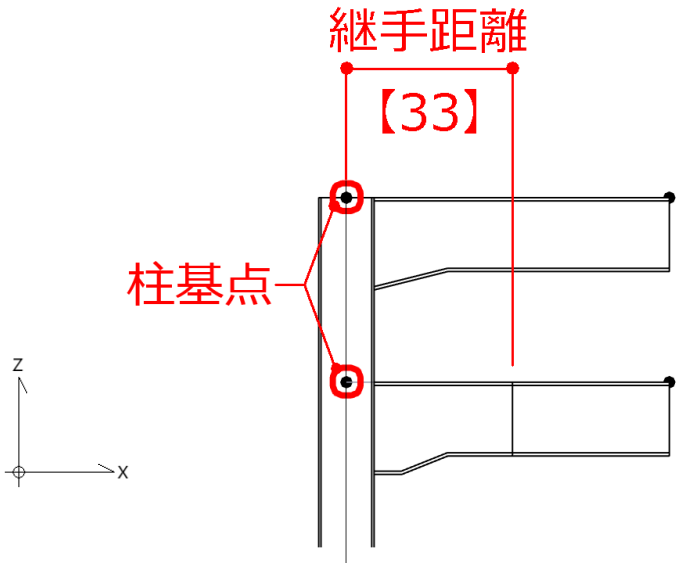
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_05_12_23	Structural Steel for Buildings	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	SS_20_20_75_80	Steel beam system	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_08_11	Carbon steel beams	

2-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ	 所属階 X1	所属階	 所属階 プロパティ S_G_H_2Sec 2CG1 構造フレーム (大梁) (1) タイプ編集 拘束 参照レベル 所属階 始端レベル オフセット -200.00 終端レベル オフセット -200.00 回転 角度 0.00° プロパティヘルプ 適用

符号		断面	
水平ハンチ形状		鉛直ハンチ形状	

ハンチ長さ		サイドプレート	
継手距離			

3. S 梁 H 形鋼 1 断面_標準

始端・中央・終端を同断面寸法とし、各断面形状は H 形とする。

3-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				種別	kind_beam	String	○		片持ちを含む梁種別で以下による。 GIRDER（大梁）、BEAM（小梁）、CANTI GIRDER（片持ち梁）、CANTI BEAM（片持ち小梁）
3	配置情報			所属階	floor	String	○	○	部材の配置情報を検索しなくても部材リストが作成できるようにするための属性であり、部材リストに用いる階を記述する。
4	材料情報			フランジ材質	strength_main	String	○		
5				ウェブ材質	strength_web	String	○		
6	寸法情報			形状タイプ	type	String	○		JIS H 形鋼、外法一定 H 形鋼、BH 形鋼の別（JISH/RH/BH）
7				高さ	H	Double	○		
8				幅	B	Double	○		
9				ウェブ厚さ	tw	Double	○		
10				フランジ厚さ	tf	Double	○		
11				ウェブ フィレット	r	Double	○		
12	接合情報	始端	仕口	条件	condition_start	String		○	端部接合条件を表し以下による。 FIX、PIN

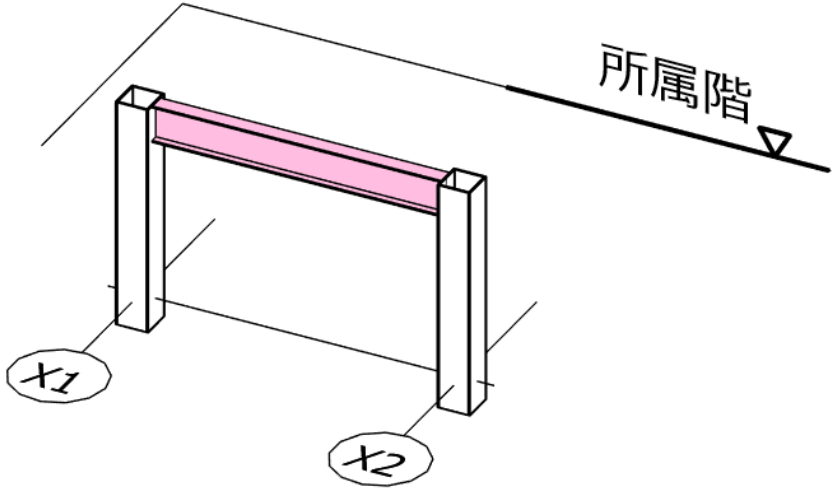
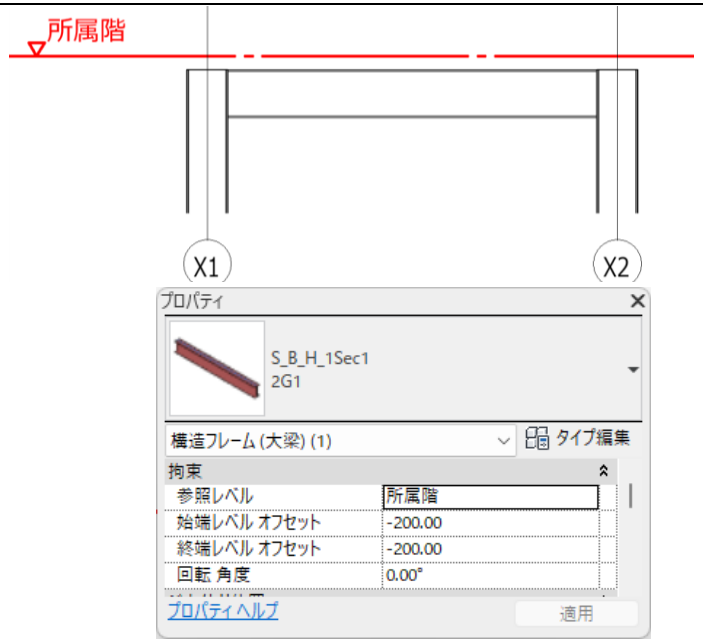
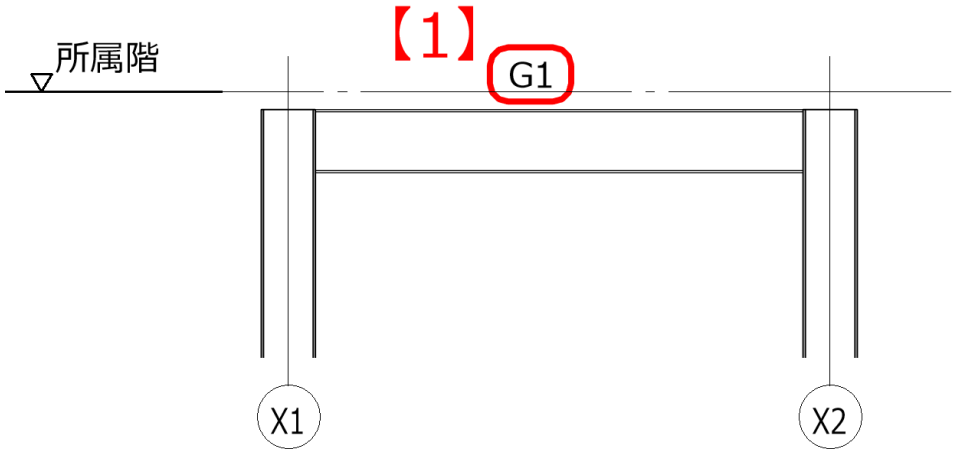
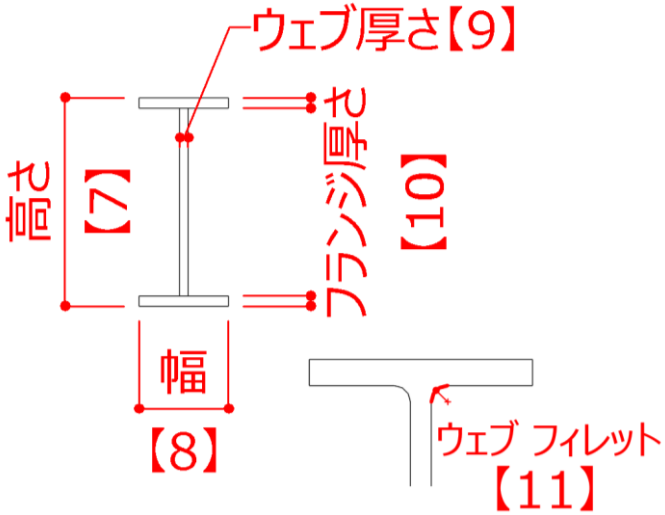
13		終端	仕口	条件	condition_end	String		○	端部接合条件を表し以下による。 FIX、PIN

3-2. 分類体系の推奨値

BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_02_10_10_10	Floor Structural Frame	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_05_12_23	Structural Steel for Buildings	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_35_11_11	Beam Column Frames	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_10_30	Framed structures	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	SS_20_20_75_80	Steel beam system	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_08_11	Carbon steel beams	

3-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	
符号		断面	

VI. 基礎

1. RC 矩形基礎_標準

天端・根本を同一断面寸法とし、断面形状は長方形とする。

1-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報	符号	name	String	○		
2	配置情報	節点から荷重点のオフセット（X 方向）	X_load_point_offset	Double		○	節点と荷重点の関係で、荷重点は基礎に取りつく柱などから荷重が作用する点を表す。 柱のオフセットパラメータを優先する
3		節点から荷重点のオフセット（Y 方向）	Y_load_point_offset	Double		○	節点と荷重点の関係で、荷重点は基礎に取りつく柱などから荷重が作用する位置を表す。 柱のオフセットパラメータを優先する
4		節点から作用点のオフセット（X 方向）	X_work_point_offset	Double		○	節点と作用点の関係で、作用点は杭が取りつく場合に杭に荷重点からの荷重が作用する位置を表す（単杭の場合その杭芯、群杭の場合それらの中心とする）

5				節点から作用点のオフセット（Y 方向）	Y_work_point_offset	Double		○	節点と作用点の関係で、作用点は杭が取りつく場合に杭に荷重点からの荷重が作用する位置を表す（単杭の場合その杭芯、群杭の場合それらの中心とする）
6				回転角度	rotate	Double	○		
7	材料情報	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
8	寸法情報	断面		X 幅	Lx	Double	○		
9				Y 幅	Ly	Double	○		
10				厚さ	D	Double	○		
11	配筋情報	X 方向	上端筋	径	D_X_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
12				本数	N_X_top	Integer	○		
13			下端筋	径	D_X_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
14				本数	N_X_bottom	Integer	○		
15		Y 方向	上端筋	径	D_Y_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
16				本数	N_Y_top	Integer	○		
17			下端筋	径	D_Y_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
18				本数	N_Y_bottom	Integer	○		
19		横筋		径	D_horizontal	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
20				本数	N_horizontal	Integer	○		
21	杭情報	配置		下端筋かぶり厚さ	bottom_cover	Double	○		基礎下端筋の被りを判断するためのパラメータで、基礎下端から杭天端の飲み込み長さを表す。 杭の天端レベルと不一致の場合、杭の天端レベルを優先する

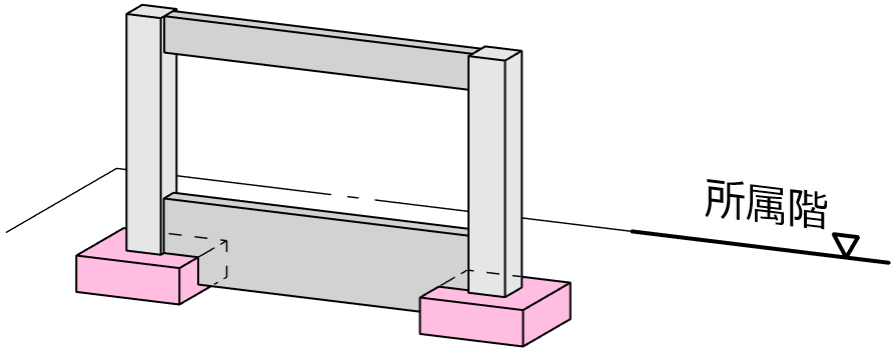
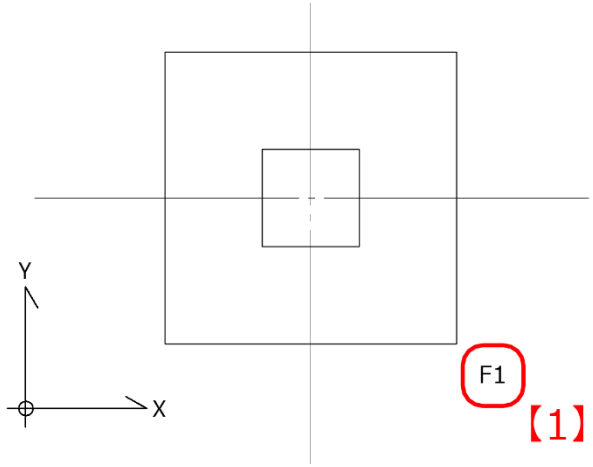
1-2. 分類体系の推奨値

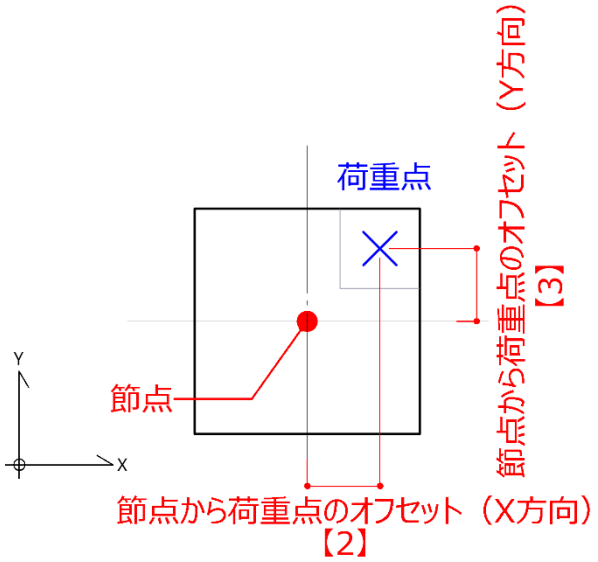
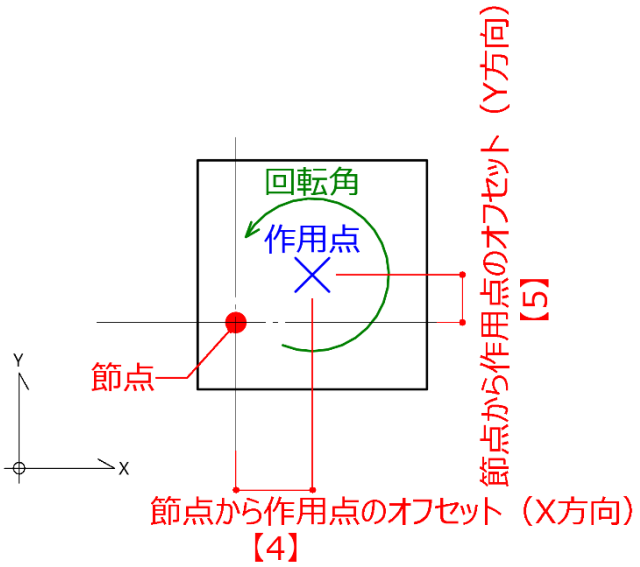
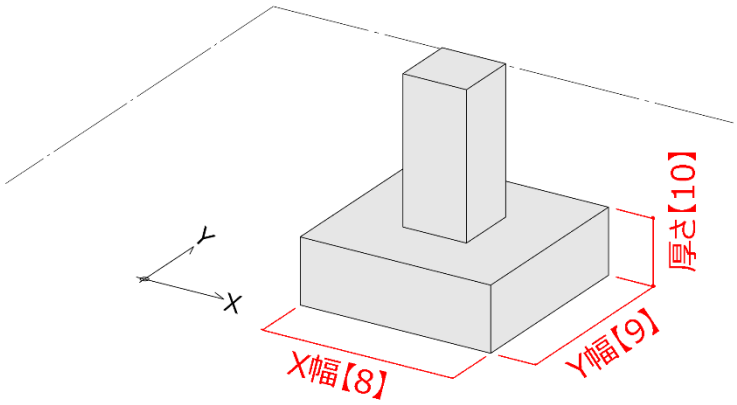
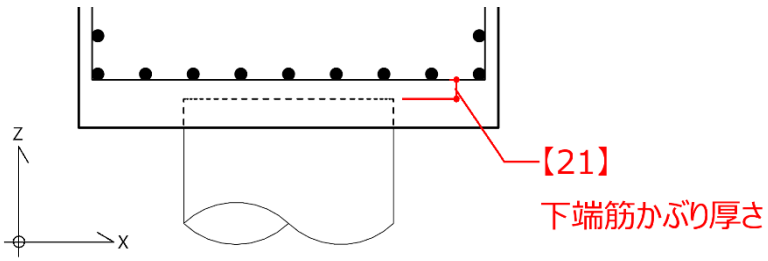
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_01_10_10_30	Column Foundations	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	

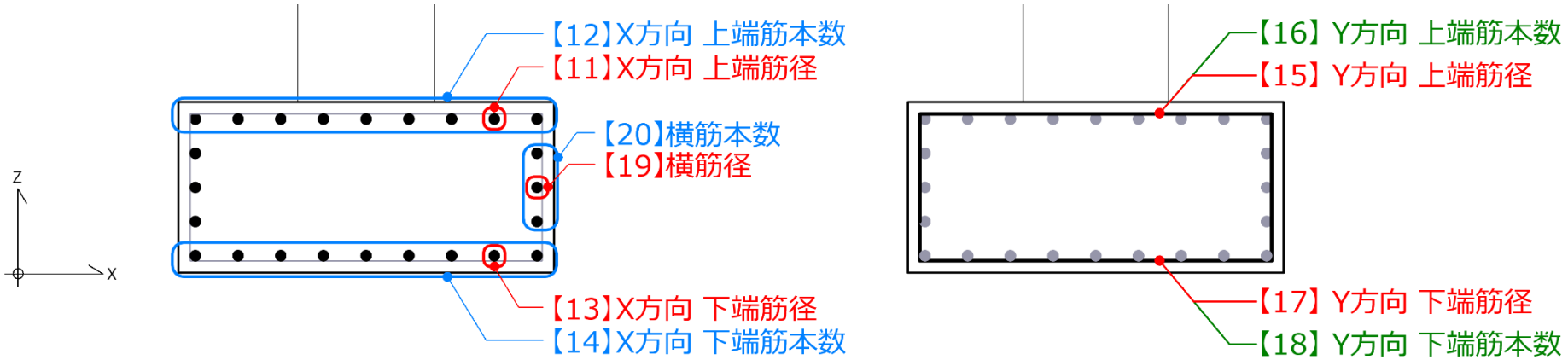
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_29_00	Foundatinons	杭基礎の場合 23_13_29_11_11_21 Pile Caps、独立基礎の場合 23_13_29_15_11 Column Bases を推奨する
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_05_30	Foundatinons	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_05_15	Concrete foundation systems	杭基礎の場合 Ss_20_05_15_71 Reinforced concrete pilecap and ground beam foundation systems、独立基礎の場合 Ss_20_05_15_70 Reinforced concrete pad and strip goundation systems を推奨する
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85	Support and restraint products	杭基礎の場合 Pr_20_85_62_19 Concrete pile caps、独立基礎の場合 Pr_20_85_13_32 Concrete foundation pads を推奨する

1-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		符号	

配置情報　節点から荷重点のオフセット		配置情報　節点から作用点のオフセット	
断面		杭情報	

配筋情報	

【12】X方向 上端筋本数
【11】X方向 上端筋径
【20】横筋本数
【19】横筋径
【13】X方向 下端筋径
【14】X方向 下端筋本数
Z
X
【16】Y方向 上端筋本数
【15】Y方向 上端筋径
【17】Y方向 下端筋径
【18】Y方向 下端筋本数

2. RC 矩形テーパー基礎_標準

天端・根本を別々の断面寸法とでき、断面形状は長方形とする。

2-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類		項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報		符号	name	String	○		
2	配置情報		節点からのオフセット（X 方向）	X_load_point_offset	Double		○	節点と荷重点の関係で、荷重点は基礎に取りつく柱などから荷重が作用する点を表す。 柱のオフセットパラメータを優先する
3			節点からのオフセット（Y 方向）	Y_load_point_offset	Double		○	節点と荷重点の関係で、荷重点は基礎に取りつく柱などから荷重が作用する位置を表す。 柱のオフセットパラメータを優先する
4			荷重点からのオフセット（X 方向）	X_work_point_offset	Double		○	節点と作用点の関係で、作用点は杭が取りつく場合に杭に荷重点からの荷重が作用する位置を表す（単杭の場合その杭芯、群杭の場合それらの中心とする）。
5			荷重点からのオフセット（Y 方向）	Y_work_point_offset	Double		○	節点と作用点の関係で、作用点は杭が取りつく場合に杭に荷重点からの荷重が作用する位置を表す（単杭の場合その杭芯、群杭の場合それらの中心とする）。
6			回転角度	rotate	Double	○		
7	材料情報	コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
8	寸法情報	断面	X 幅	Lx	Double	○		
9			Y 幅	Ly	Double	○		

10				天端 X 幅	Bx	Double	○		
11				天端 Y 幅	By	Double	○		
12				根本厚さ	D	Double	○		
13				先端厚さ	De	Double	○		
14	配筋情報	X 方向	上端筋	径	D_X_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
15				本数	N_X_top	Integer	○		
16			下端筋	径	D_X_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
17				本数	N_X_bottom	Integer	○		
18		Y 方向	上端筋	径	D_Y_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
19				本数	N_Y_top	Integer	○		
20			下端筋	径	D_Y_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
21				本数	N_Y_bottom	Integer	○		
22		横筋		径	D_horizontal	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
23				本数	N_horizontal	Integer	○		
24	杭情報	配置		下端筋かぶり厚さ	bottom_cover	Double	○		基礎下端筋の被りを判断するためのパラメータで、基礎下端とから杭天端の飲み込み長さを表す。 杭の天端レベルと不一致の場合、杭の天端レベルを優先する

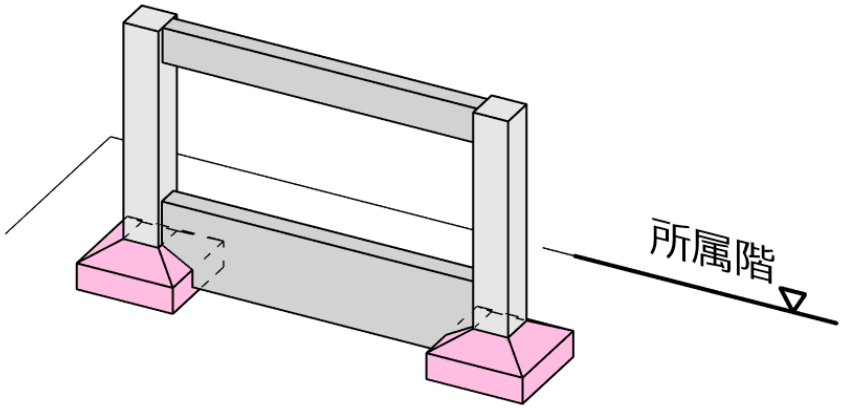
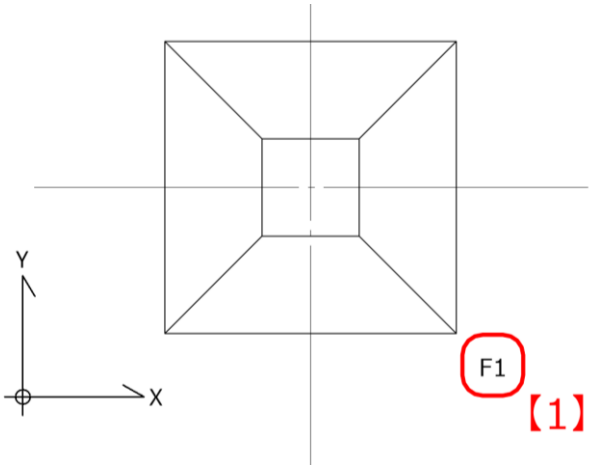
2-2. 分類体系の推奨値

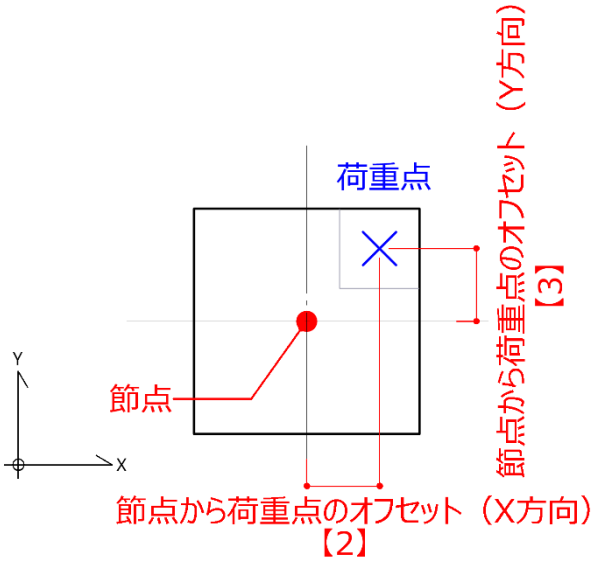
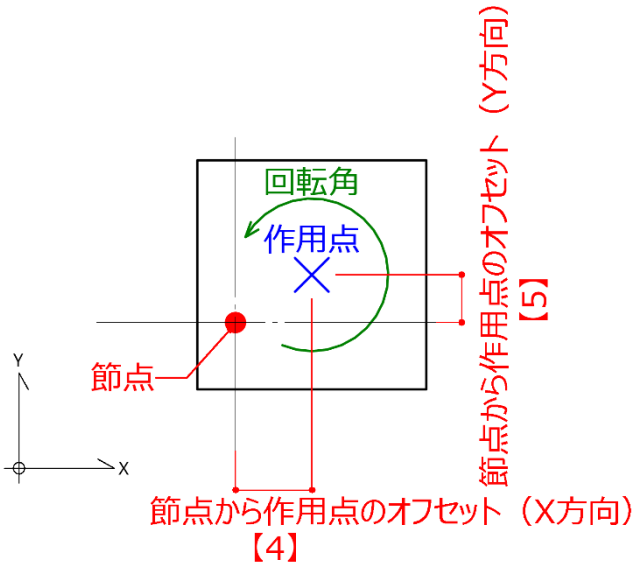
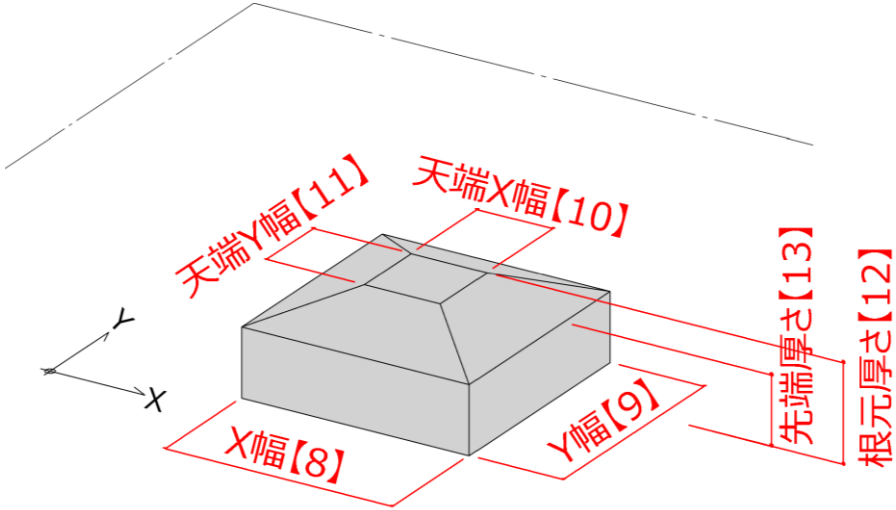
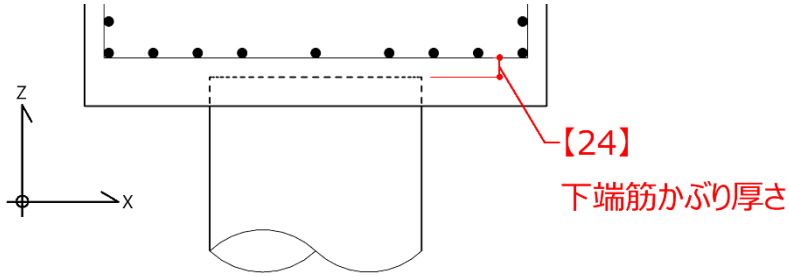
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_01_10_10_30	Column Foundations	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_29_00	Foundatinons	杭基礎の場合 23_13_29_11_11_21 Pile Caps、独立基礎の場合 23_13_29_15_11 Column Bases を推奨する
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_05_30	Foundatinons	

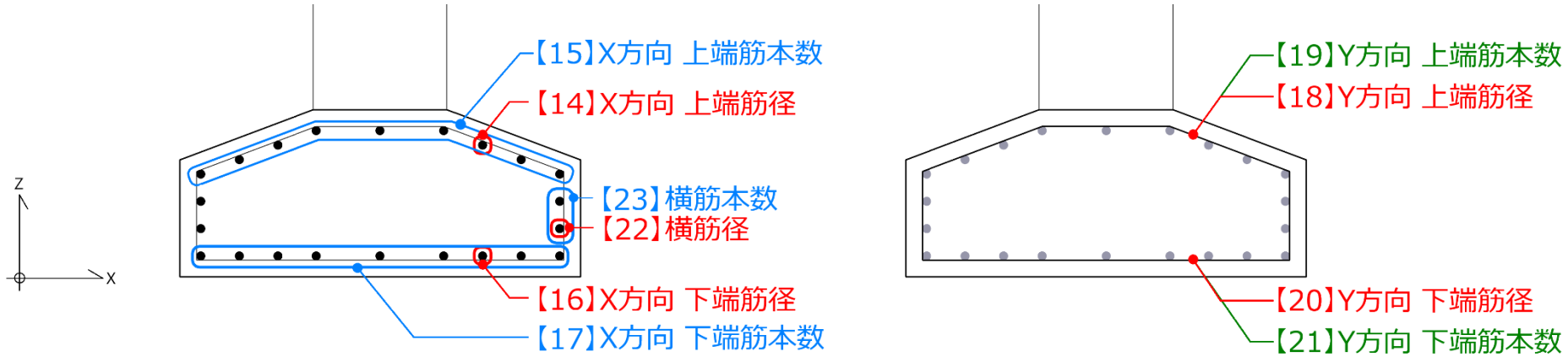
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_05_15	Concrete foundation systems	杭基礎の場合 Ss_20_05_15_71 Reinforced concrete pilecap and ground beam foundation systems、独立基礎の場合 Ss_20_05_15_70 Reinforced concrete pad and strip goundation systems を推奨する
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85	Support and restraint products	杭基礎の場合 Pr_20_85_62_19 Concrete pile caps、独立基礎の場合 Pr_20_85_13_32 Concrete foundation pads を推奨する

2-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		符号	

配置情報 節点から荷重点のオフセット		配置情報 節点から作用点のオフセット	
断面		杭情報	

配筋情報	 【15】X方向 上端筋本数 【14】X方向 上端筋径 【23】横筋本数 【22】横筋径 【16】X方向 下端筋径 【17】X方向 下端筋本数 Z X 【19】Y方向 上端筋本数 【18】Y方向 上端筋径 【20】Y方向 下端筋径 【21】Y方向 下端筋本数

3. RC 直角三角形基礎_標準

天端・根本を同一断面寸法とし、断面形状は三角形とする。

3-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類		項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報		符号	name	String	○		
2	配置情報		節点からのオフセット（X 方向）	X_load_point_offset	Double		○	節点と荷重点の関係で、荷重点は基礎に取りつく柱などから荷重が作用する点を表す。 柱のオフセットパラメータを優先する
3			節点からのオフセット（Y 方向）	Y_load_point_offset	Double		○	節点と荷重点の関係で、荷重点は基礎に取りつく柱などから荷重が作用する位置を表す。 柱のオフセットパラメータを優先する
4			荷重点からのオフセット（X 方向）	X_work_point_offset	Double		○	節点と作用点の関係で、作用点は杭が取りつく場合に杭に荷重点からの荷重が作用する位置を表す（単杭の場合その杭芯、群杭の場合それらの中心とする）
5			荷重点からのオフセット（Y 方向）	Y_work_point_offset	Double		○	節点と作用点の関係で、作用点は杭が取りつく場合に杭に荷重点からの荷重が作用する位置を表す（単杭の場合その杭芯、群杭の場合それらの中心とする）
6			回転角度	rotate	Double	○		
7	材料情報	コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
8	寸法情報	断面	X 幅	Lx	Double	○		
9			Y 幅	Ly	Double	○		

10				厚さ	D	Double	○		
11	配筋情報	主筋方向	上端筋	径	D_main_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
12				本数	N_main_top	Integer	○		
13			下端筋	径	D_main_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
14				本数	N_main_bottom	Integer	○		
15		配力筋方向	上端筋	径	D_transverse_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
16				本数	N_transverse_top	Integer	○		
17			下端筋	径	D_transverse_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
18				本数	N_transverse_bottom	Integer	○		
19		横筋		径	D_horizontal	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
20				本数	N_horizontal	Integer	○		
21	杭情報	配置		下端筋かぶり厚さ	bottom_cover	Double	○		基礎下端筋の被りを判断するためのパラメータで、基礎下端とから杭天端の飲み込み長さを表す。 杭の天端レベルと不一致の場合、杭の天端レベルを優先する

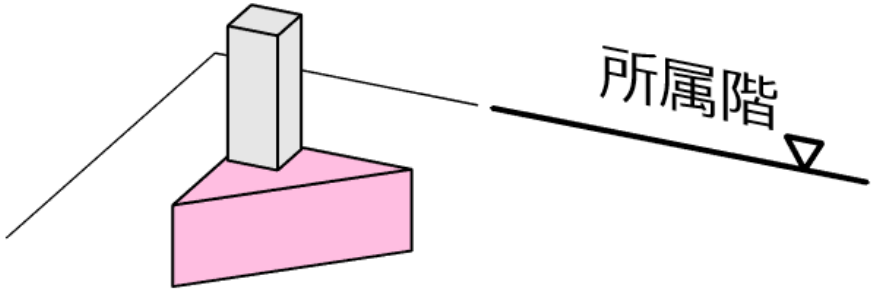
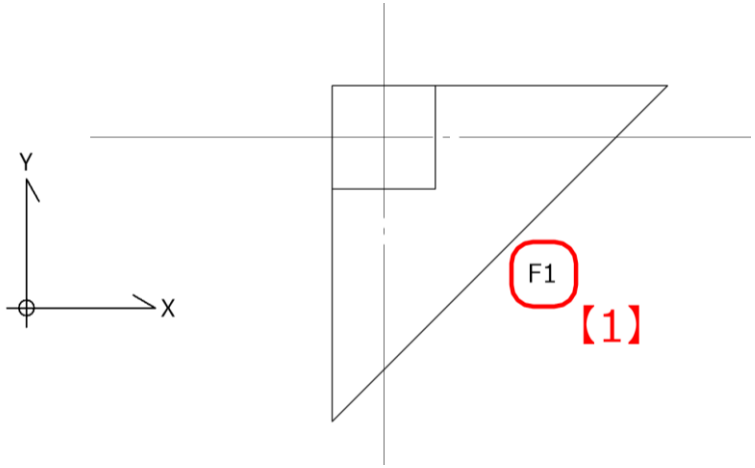
3-2. 分類体系の推奨値

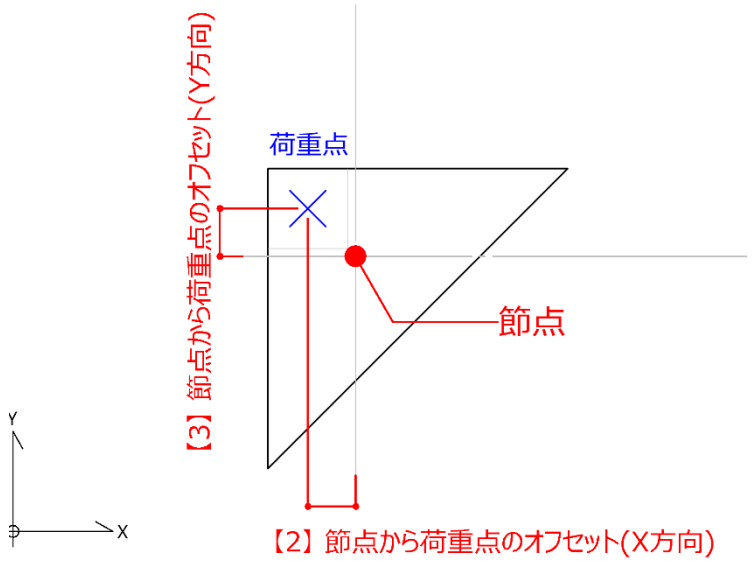
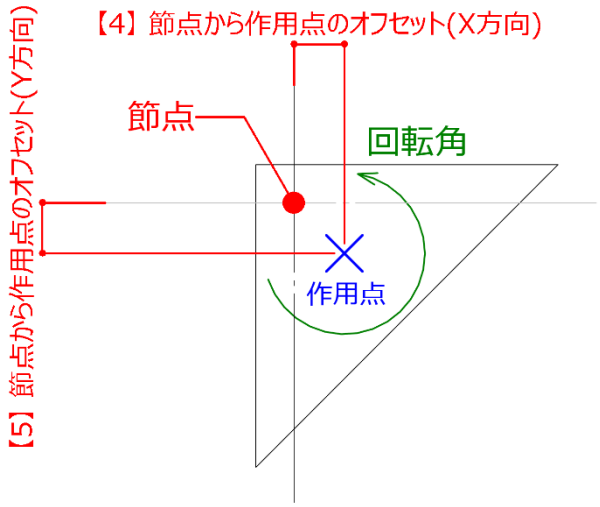
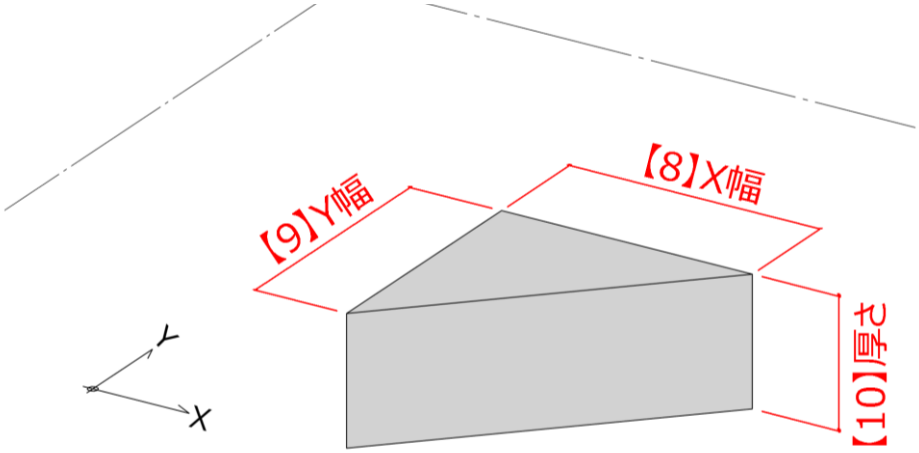
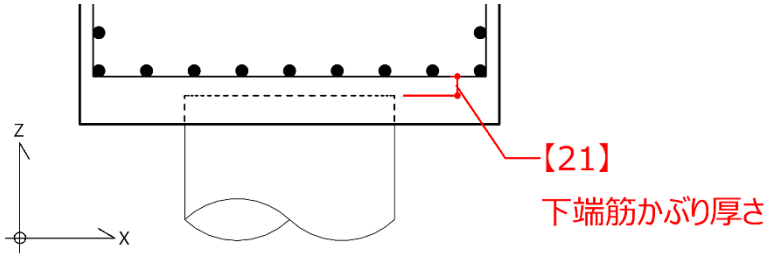
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_01_10_10_30	Column Foundations	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_29_00	Foundatinons	杭基礎の場合 23_13_29_11_11_21 Pile Caps、独立基礎の場合 23_13_29_15_11 Column Bases を推奨する
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_05_30	Foundatinons	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_05_15	Concrete foundation systems	杭基礎の場合 Ss_20_05_15_71 Reinforced concrete pilecap and ground beam foundation systems、独立基礎の場合 Ss_20_05_15_70 Reinforced concrete pad and strip goundation systems を推奨する

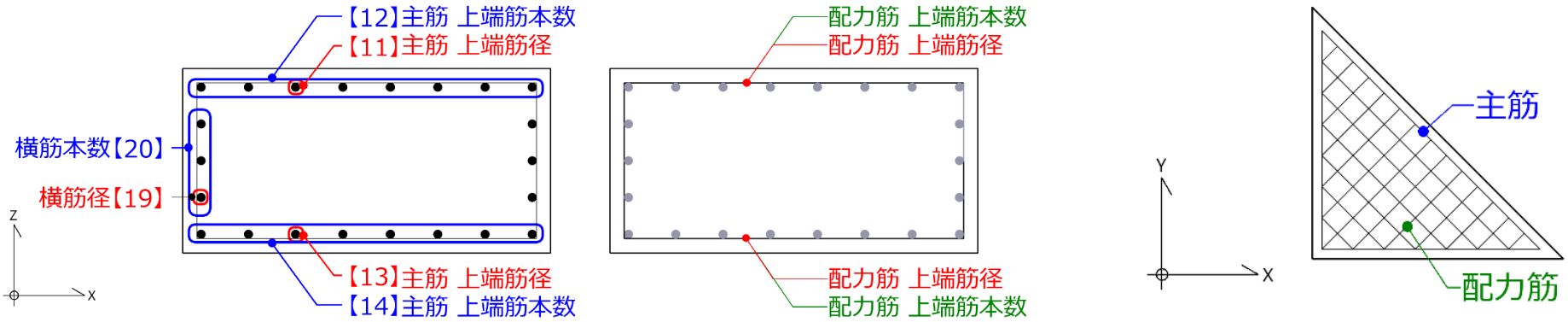
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85	Support and restraint products	杭基礎の場合 Pr_20_85_62_19 Concrete pile caps、独立基礎の場合 Pr_20_85_13_32 Concrete foundation pads を推奨する

3-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		符号	

配置情報 節点から荷重点のオフセット		配置情報 節点から作用点のオフセット	
断面		杭情報	

配筋情報	 【12】主筋 上端筋本数 【11】主筋 上端筋径 横筋本数【20】 横筋径【19】 Z X 【13】主筋 上端筋径 【14】主筋 上端筋本数 配力筋 上端筋本数 配力筋 上端筋径 配力筋 上端筋径 配力筋 上端筋本数 Y X 主筋 配力筋

4. RC 正三角形基礎_標準

天端・根本を同一断面寸法とし、断面形状は六角形とする。

4-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類		項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報		符号	name	String	○		
2	配置情報		節点からのオフセット（X 方向）	X_load_point_offset	Double		○	節点と荷重点の関係で、荷重点は基礎に取りつく柱などから荷重が作用する点を表す。 柱のオフセットパラメータを優先する
3			節点からのオフセット（Y 方向）	Y_load_point_offset	Double		○	節点と荷重点の関係で、荷重点は基礎に取りつく柱などから荷重が作用する位置を表す。 柱のオフセットパラメータを優先する
4			荷重点からのオフセット（X 方向）	X_work_point_offset	Double		○	節点と作用点の関係で、作用点は杭が取りつく場合に杭に荷重点からの荷重が作用する位置を表す（単杭の場合その杭芯、群杭の場合それらの中心とする）
5			荷重点からのオフセット（Y 方向）	Y_work_point_offset	Double		○	節点と作用点の関係で、作用点は杭が取りつく場合に杭に荷重点からの荷重が作用する位置を表す（単杭の場合その杭芯、群杭の場合それらの中心とする）
6			回転角度	rotate	Double	○		
7	材料情報	コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
8	寸法情報	断面	底辺幅	Lx	Double	○		
9			面取り幅	Ly	Double	○		

10				厚さ	D	Double	○		
11	配筋情報	主筋方向	上端筋	径	D_main_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
12				本数	N_main_top	Integer	○		
13			下端筋	径	D_main_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
14				本数	N_main_bottom	Integer	○		
15		外周	上端筋	径	D_outside_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
16				本数	N_outside_top	Integer	○		
17			下端筋	径	D_outside_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
18				本数	N_outside_bottom	Integer	○		
19		横筋		径	D_horizontal	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
20				本数	N_horizontal	Integer	○		
21	杭情報	配置		下端筋かぶり厚さ	bottom_cover	Double	○		基礎下端筋の被りを判断するためのパラメータで、基礎下端とから杭天端の飲み込み長さを表す。 杭の天端レベルと不一致の場合、杭の天端レベルを優先する

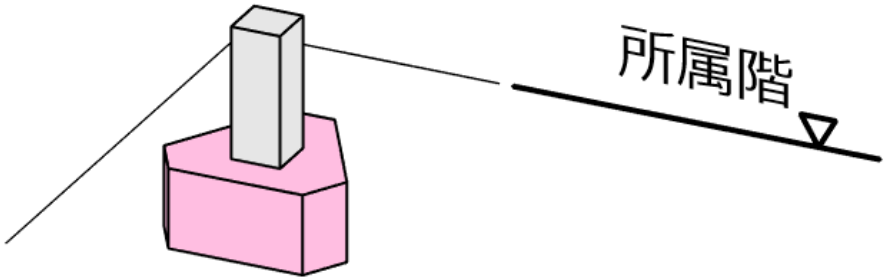
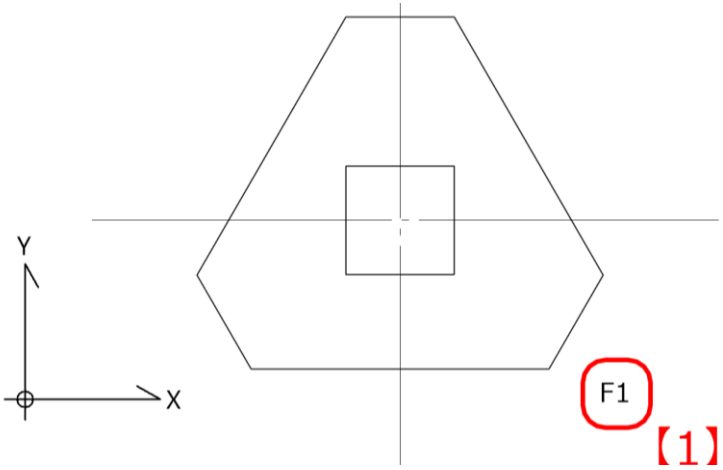
4-2. 分類体系の推奨値

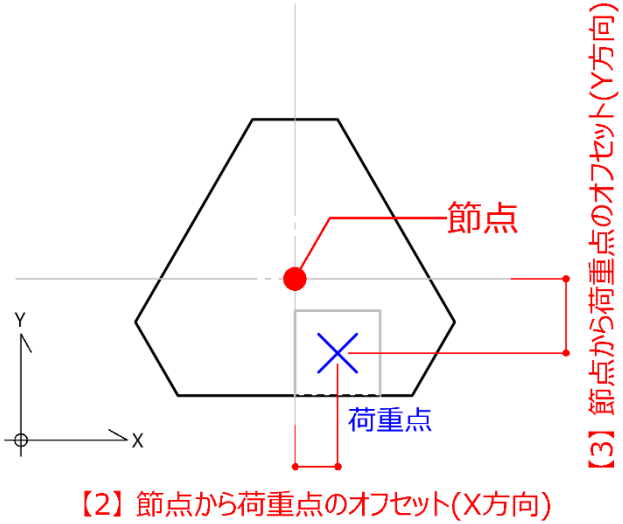
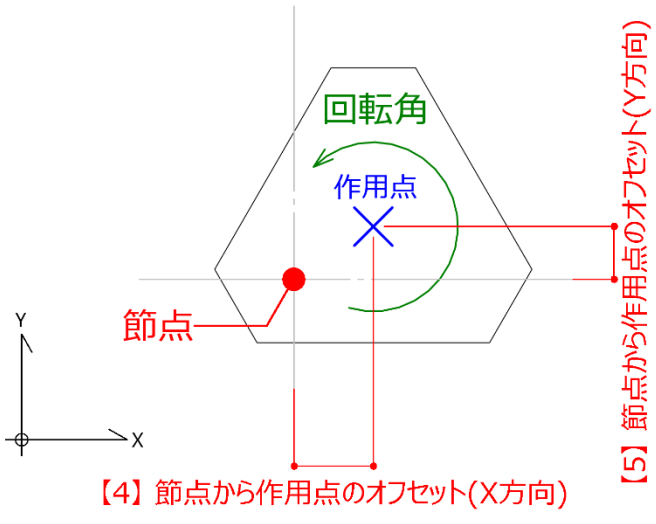
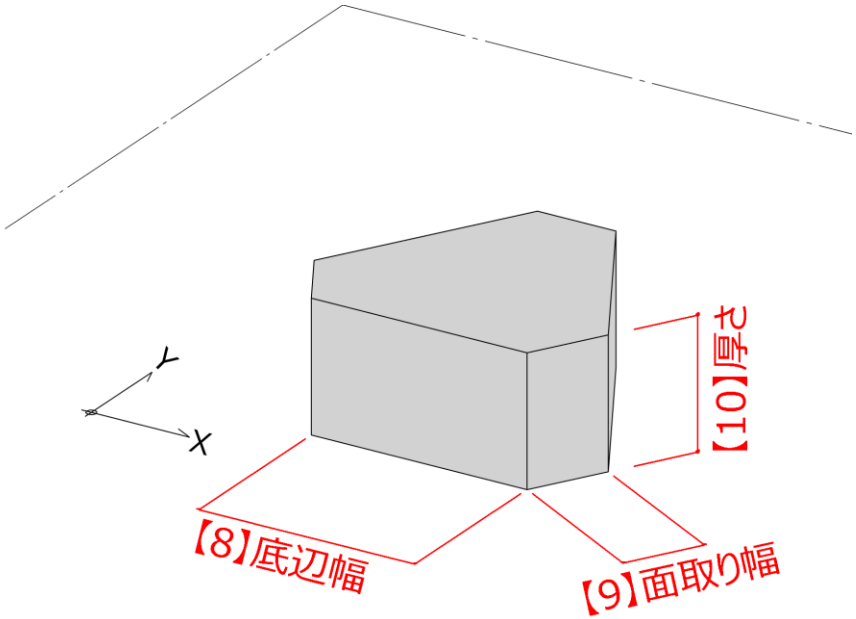
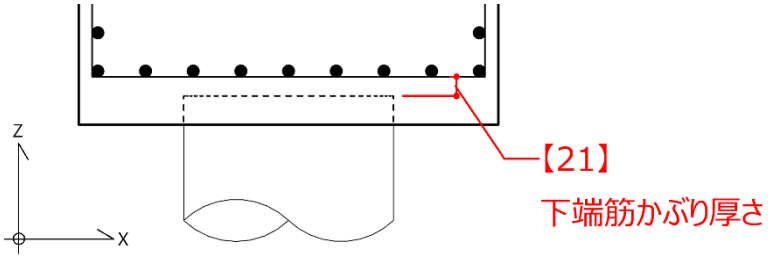
BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_01_10_10_30	Column Foundations	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_29_00	Foundatinons	杭基礎の場合 23_13_29_11_11_21 Pile Caps、独立基礎の場合 23_13_29_15_11 Column Bases を推奨する
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_05_30	Foundatinons	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_05_15	Concrete foundation systems	杭基礎の場合 Ss_20_05_15_71 Reinforced concrete pilecap and ground beam foundation systems、独立基礎の場合 Ss_20_05_15_70 Reinforced concrete pad and strip goundation systems を推奨する

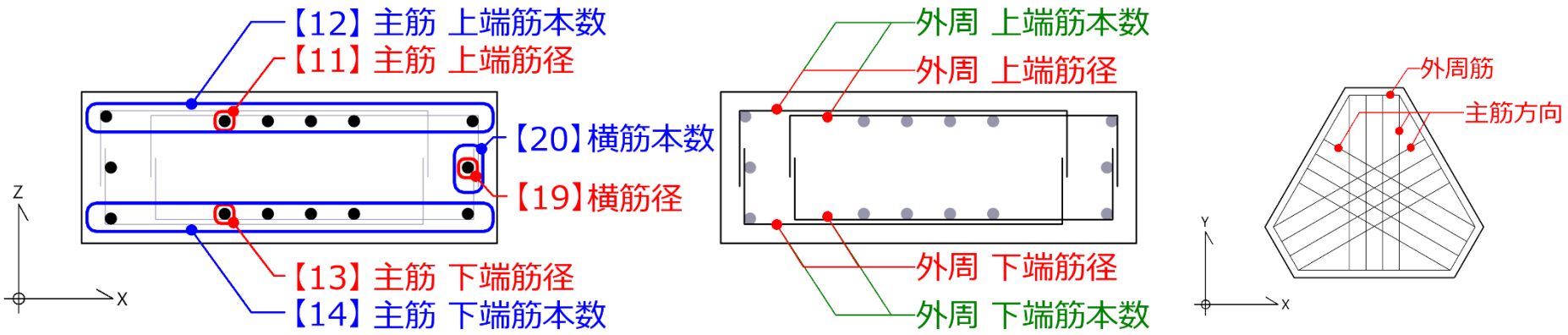
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85	Support and restraint products	杭基礎の場合 Pr_20_85_62_19 Concrete pile caps、独立基礎の場合 Pr_20_85_13_32 Concrete foundation pads を推奨する

4-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		符号	

配置情報 節点から荷重点のオフセット		配置情報 節点から作用点のオフセット	
断面		杭情報	

配筋情報	

【12】主筋 上端筋本数
【11】主筋 上端筋径
【20】横筋本数
【19】横筋径
【13】主筋 下端筋径
【14】主筋 下端筋本数
Z
X
外周 上端筋本数
外周 上端筋径
外周 下端筋径
外周 下端筋本数
外周筋
主筋方向
Y
X

5. RC 連続基礎_標準

天端・根本を幅の異なる断面寸法とでき、断面形状は長方形・六角形とする。

5-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

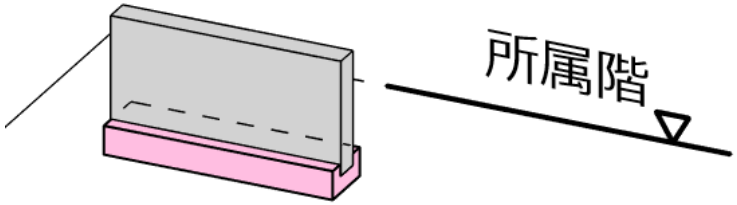
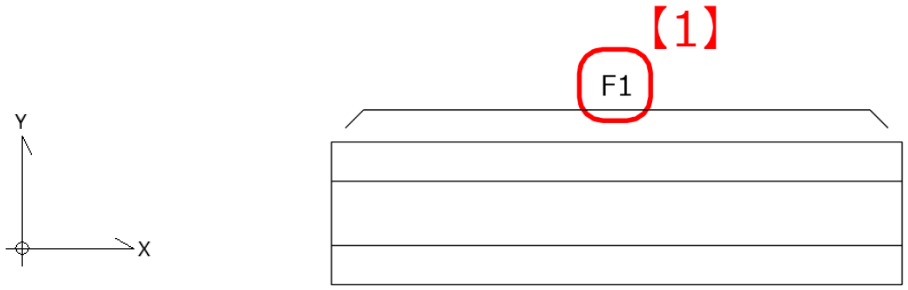
	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2	配置情報			オフセット	offset	Double	○		
3	材料情報	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
4	寸法情報	断面		幅	W	Double	○		
5				根元厚さ	D	Double	○		
6				先端厚さ	De	Double	○		
7	配筋情報	主筋方向	上端筋	径	D_main_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
8				ピッチ	N_main_top	Double	○		
9			下端筋	径	D_main_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
10				ピッチ	N_main_bottom	Double	○		
11		配力筋方向	上端筋	径	D_transverse_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D16
12				本数	N_transverse_top	Integer	○		
13			下端筋	径	D_transverse_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D19
14				本数	N_transverse_bottom	Integer	○		
15		横筋		径	D_horizontal	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
16				本数	N_horizontal	Integer	○		

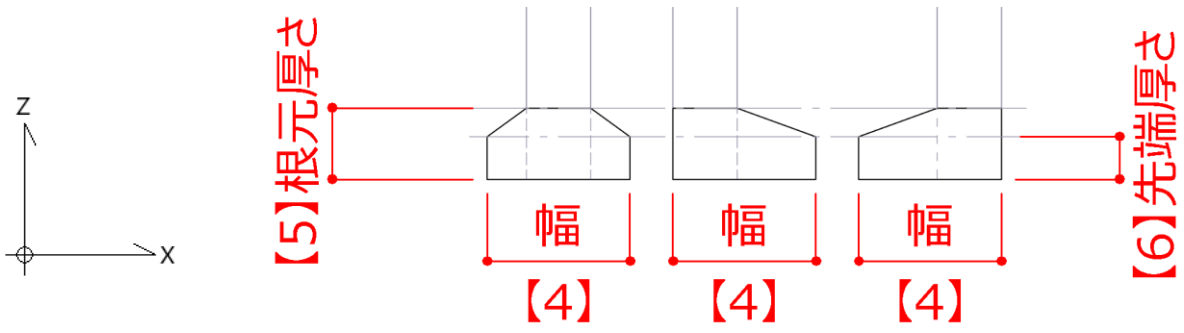
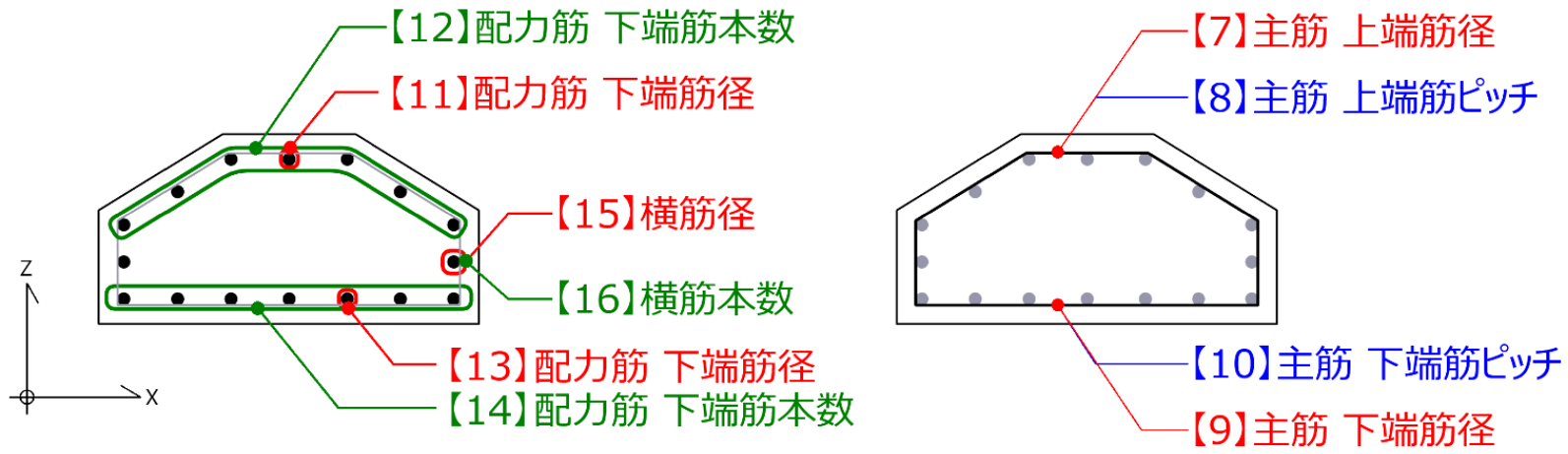
5-2. 分類体系の推奨値

BLCJ 標準				
項目	名称	標準値	分類	備考
OmniClass Table21	OmniClass_Table21	21_01_10_10	Standard Foundations	
OmniClass Table22	OmniClass_Table22	22_03_30_00	Cast-in-Place Concrete	
OmniClass Table23	OmniClass_Table23	23_13_29_15	Shallow Foundations	
Uniclass2015 EF	Uniclass2015_EF	EF_20_05_30	Foundatinons	
Uniclass2015 Ss	Uniclass2015_Ss	Ss_20_05_15_70	Reinforced concrete pad and strip goundation systems	
Uniclass2015 Pr	Uniclass2015_Pr	Pr_20_85_13_32	Concrete foundation pads	

5-3. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		符号	

断面	 Z X 【5】根元厚さ 幅 幅 幅 【4】 【4】 【4】 【6】先端厚さ
配筋情報	 【12】配力筋 下端筋本数 【11】配力筋 下端筋径 【15】横筋径 【16】横筋本数 【13】配力筋 下端筋径 【14】配力筋 下端筋本数 Z X 【7】主筋 上端筋径 【8】主筋 上端筋ピッチ 【10】主筋 下端筋ピッチ 【9】主筋 下端筋径

VII. 床

1. RC スラブ_標準

1-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

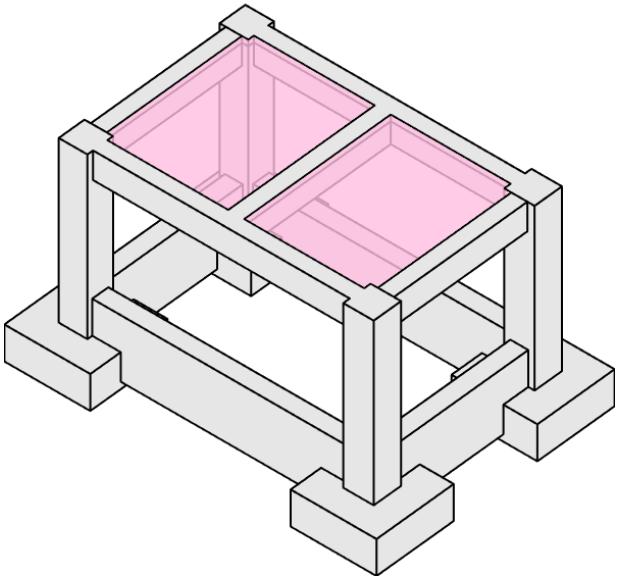
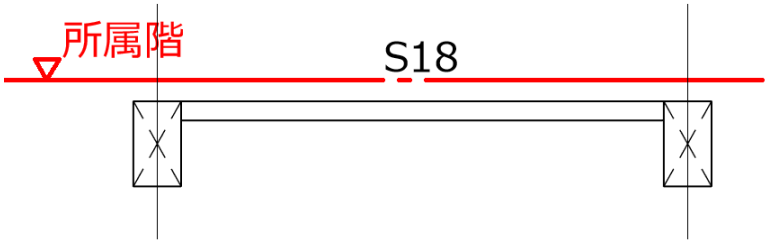
	分類		項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報		符号	name	String	○		
2	荷重情報		室用途	use	String		○	
3			仕上げ重量	weight	Double		○	N/m2
4			積載荷重（床用）	liveload_slab	Double		○	N/m2
5			積載荷重（小梁用）	liveload_beam	Double		○	N/m2
6			積載荷重（架構用）	liveload_frame	Double		○	N/m2
7			積載荷重（地震用）	liveload_seismic	Double		○	N/m2
8	材料情報	コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
9		型枠	製品種別	kind_form	String	○		型枠種別を表し、以下のいずれか ORDINARY（在来）、FLAT（フラットデッキ）、COMPOSIT（合成デッキ）

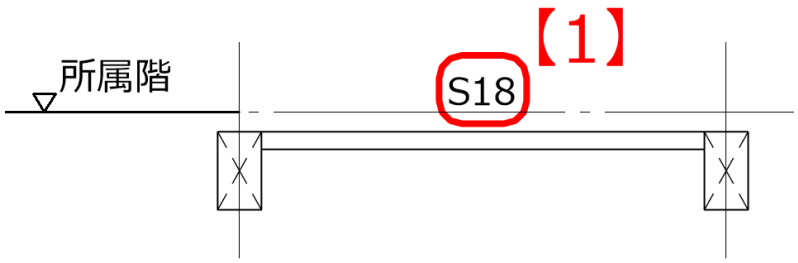
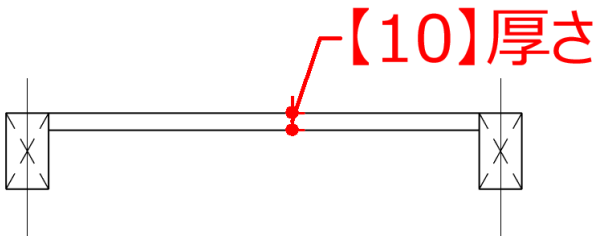
10	寸法情報	断面		厚さ	depth	Double	○		
11	配筋情報	主筋方向	端部	上端筋 径 1	D_main_bar1_end_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
12				上端筋 径 2	D_main_bar2_end_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
13				上端筋 ピッチ	pitch_main_end_top	Double	○		
14				下端筋 径 1	D_main_bar1_end_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
15				下端筋 径 2	D_main_bar2_end_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
16				下端筋 ピッチ	pitch_main_end_bottom	Double	○		
17			中央	上端筋 径 1	D_main_bar1_center_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
18				上端筋 径 2	D_main_bar2_center_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
19				上端筋 ピッチ	pitch_main_center_top	Double	○		
20				下端筋 径 1	D_main_bar1_center_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
21				下端筋 径 2	D_main_bar2_center_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
22				下端筋 ピッチ	pitch_main_center_bottom	Double	○		
23		配力筋方向	端部	上端筋 径 1	D_transverse_bar1_end_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
24				上端筋 径 2	D_transverse_bar2_end_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
25				上端筋 ピッチ	pitch_transverse_end_top	Double	○		
26				下端筋 径 1	D_transverse_bar1_end_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
27				下端筋 径 2	D_transverse_bar2_end_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
28				下端筋 ピッチ	pitch_transverse_end_bottom	Double	○		
29			中央	上端筋 径 1	D_transverse_bar1_center_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
30				上端筋 径 2	D_transverse_bar2_center_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
31				上端筋 ピッチ	pitch_transverse_center_top	Double	○		
32				下端筋 径 1	D_transverse_bar1_center_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する

33				下端筋 径 2	D_transverse_bar2_center_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
34				下端筋 ピッチ	pitch_transverse_center_bottom	Double	○		
35		配筋角度		主筋方向角度	angle_main_bar	Double		○	主筋方向の配筋角度を全体座標系で表す

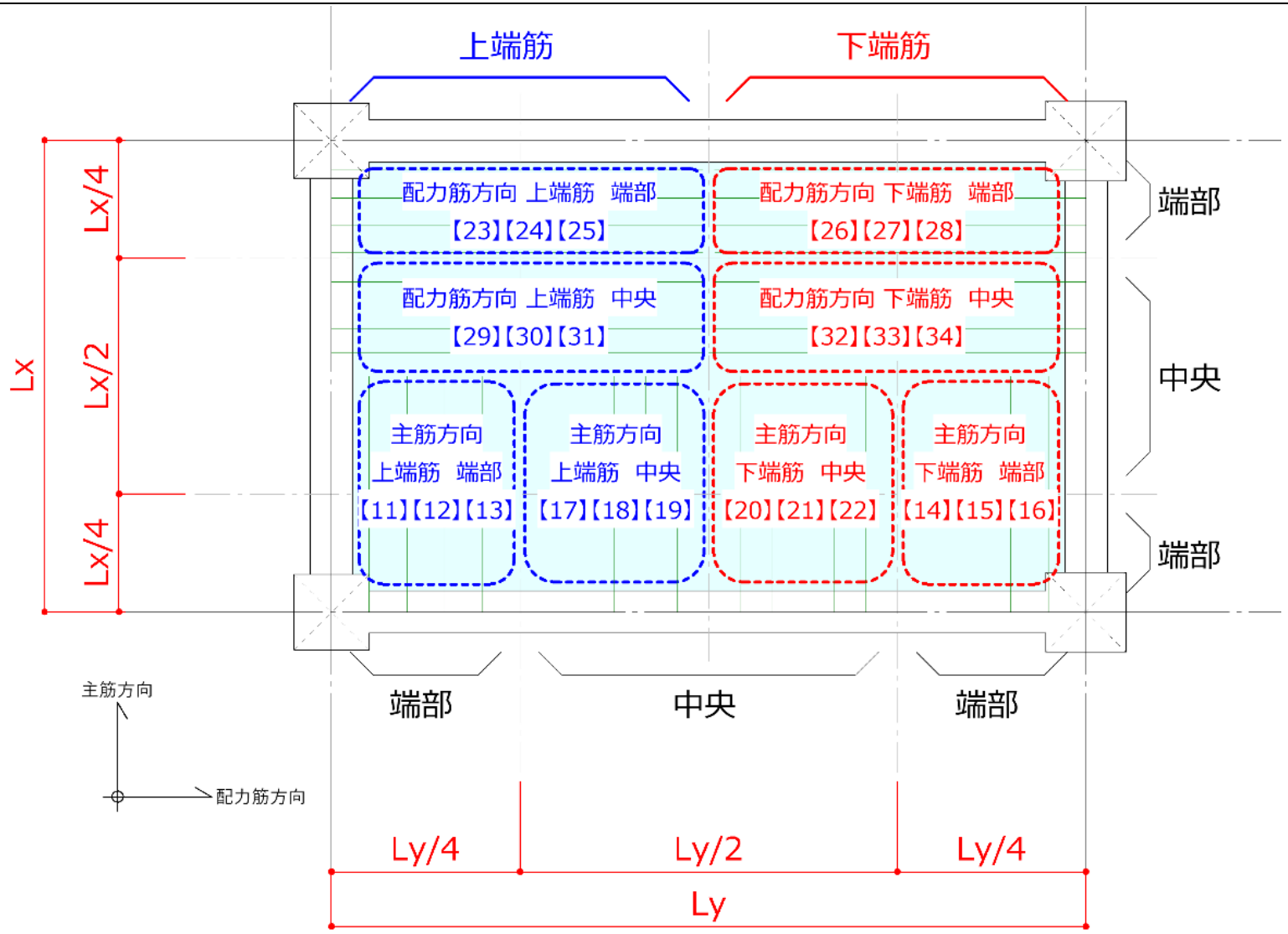
1-2. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	

符号		断面	

配筋


上端筋
下端筋
配力筋方向 上端筋 端部
【23】【24】【25】
配力筋方向 下端筋 端部
【26】【27】【28】
配力筋方向 上端筋 中央
【29】【30】【31】
配力筋方向 下端筋 中央
【32】【33】【34】
主筋方向
上端筋 端部
【11】【12】【13】
主筋方向
上端筋 中央
【17】【18】【19】
主筋方向
下端筋 中央
【20】【21】【22】
主筋方向
下端筋 端部
【14】【15】【16】
端部
中央
端部
Lx/4
Lx/2
Lx/4
Lx
主筋方向
配力筋方向
端部
中央
端部
Ly/4
Ly/2
Ly/4
Ly

2. RC 片持ちスラブ_標準

2-1. パラメーター覧

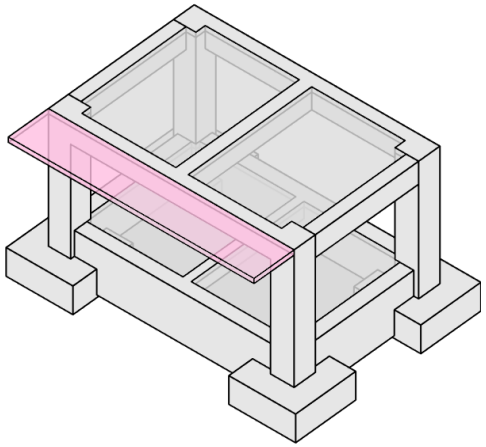
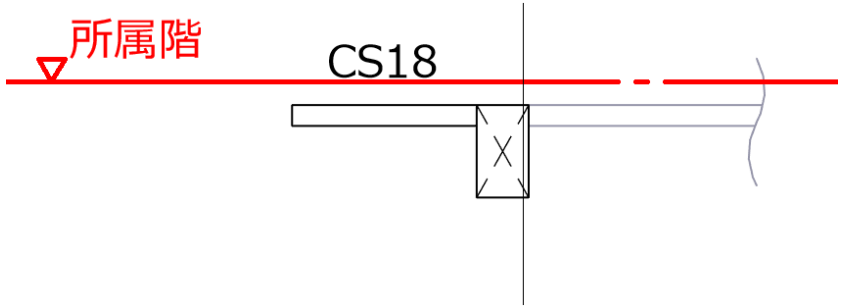
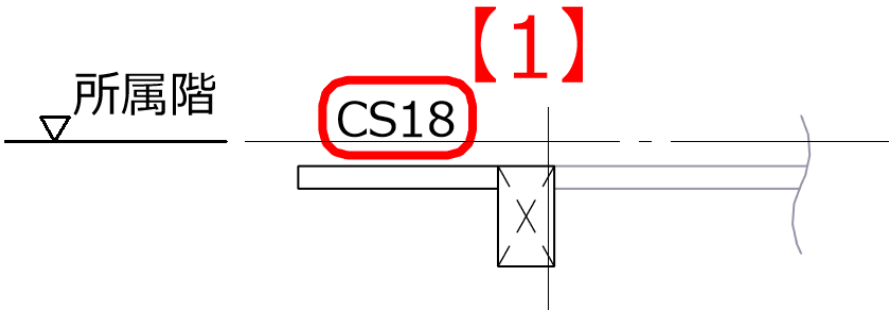
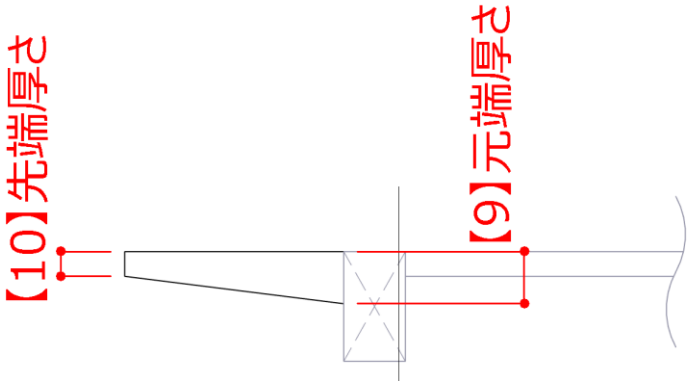
初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2	荷重情報			室用途	use	String		○	
3				仕上げ重量	weight	Double		○	N/m2
4				積載荷重（床用）	liveload_slab	Double		○	N/m2
5				積載荷重（小梁用）	liveload_beam	Double		○	N/m2
6				積載荷重（架構用）	liveload_frame	Double		○	N/m2
7				積載荷重（地震用）	liveload_seismic	Double		○	N/m2
8	材料情報	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
9	寸法情報	断面		元端厚さ	depth_base	Double	○		
10				先端厚さ	depth_tip	Double	○		
11	配筋情報	主筋方向	元端	上端筋 径 1	D_main_bar1_base_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
12				上端筋 径 2	D_main_bar2_base_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
13				上端筋 ピッチ	pitch_main_base_top	Double	○		
14				下端筋 径 1	D_main_bar1_base_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
15				下端筋 径 2	D_main_bar2_base_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10

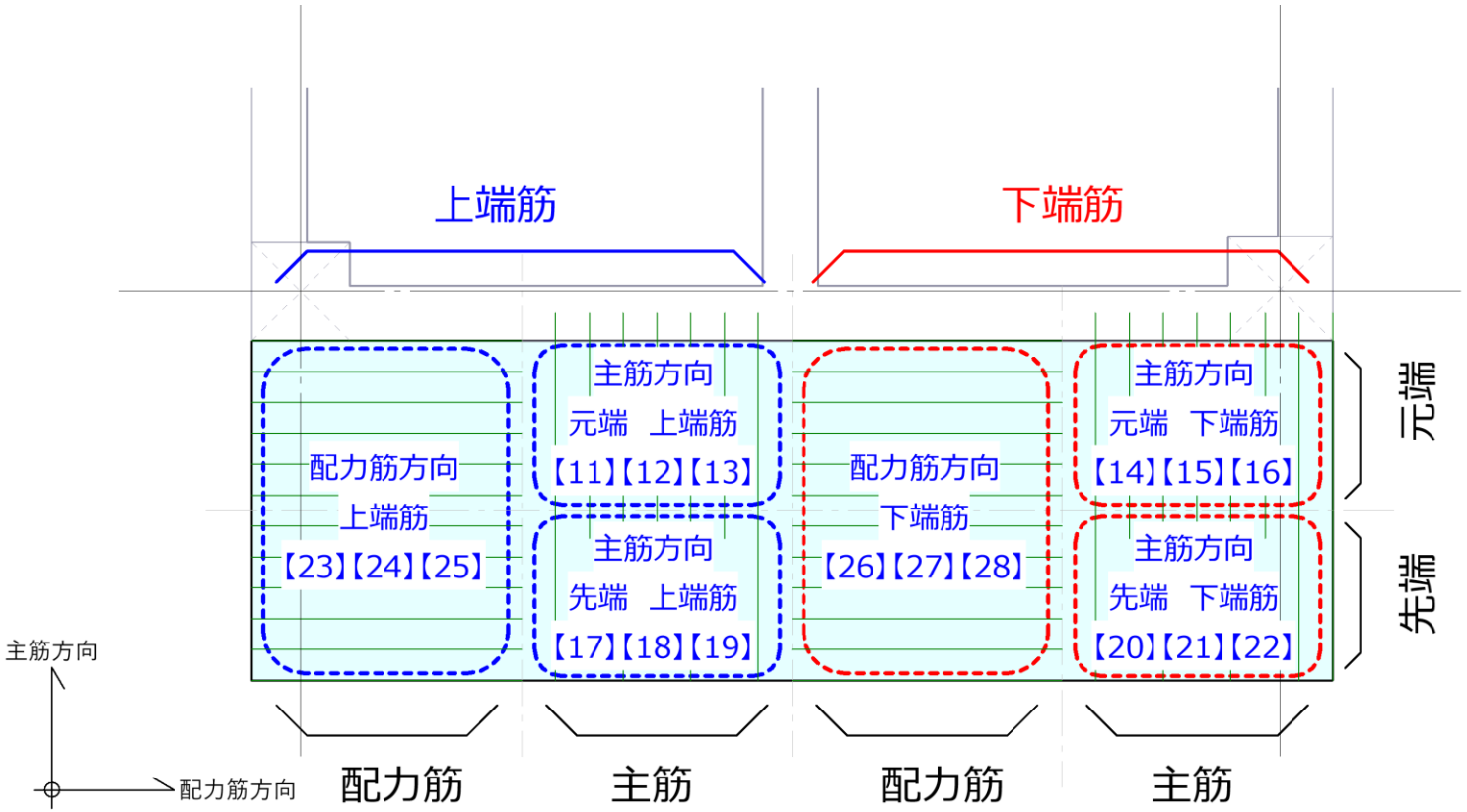
16				下端筋 ピッチ	pitch_main_base_bottom	Double	○		
17			先端	上端筋 径 1	D_main_bar1_tip_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
18				上端筋 径 2	D_main_bar2_tip_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
19				上端筋 ピッチ	pitch_main_tip_top	Double	○		
20				下端筋 径 1	D_main_bar1_tip_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
21				下端筋 径 2	D_main_bar2_tip_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
22				下端筋 ピッチ	pitch_main_tip_bottom	Double	○		
23		配力筋方向		上端筋 径 1	D_transverse_bar1_base_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
24				上端筋 径 2	D_transverse_bar2_base_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
25				上端筋 ピッチ	pitch_transverse_base_top	Double	○		
26				下端筋 径 1	D_transverse_bar1_base_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
27				下端筋 径 2	D_transverse_bar2_base_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
28				下端筋 ピッチ	pitch_transverse_base_bottom	Double	○		
29		配筋角度		主筋方向角度	angle_main_bar	Double		○	主筋方向の配筋角度を全体座標系で表す

2-2. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	
符号		断面	

配筋


上端筋
下端筋
配力筋方向
上端筋
【23】【24】【25】
主筋方向
元端　上端筋
【11】【12】【13】
主筋方向
先端　上端筋
【17】【18】【19】
配力筋方向
下端筋
【26】【27】【28】
主筋方向
元端　下端筋
【14】【15】【16】
主筋方向
先端　下端筋
【20】【21】【22】
元端
先端
主筋方向
配力筋方向
配力筋
主筋
配力筋
主筋

3. 基礎スラブ_標準

3-1. パラメーター覧

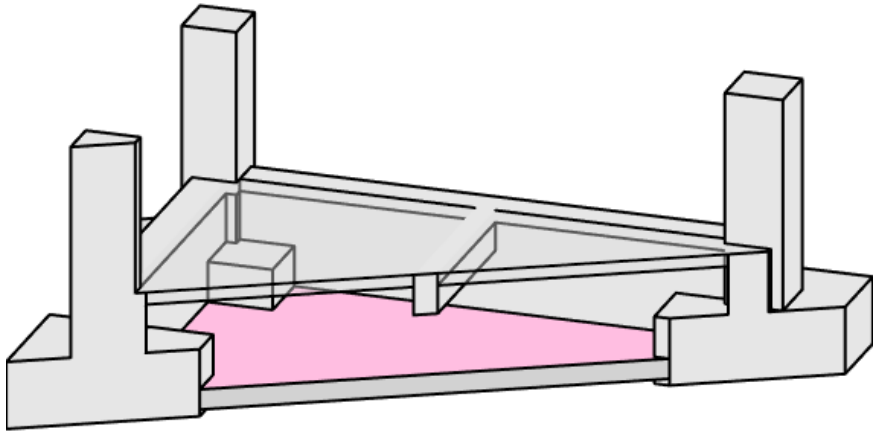
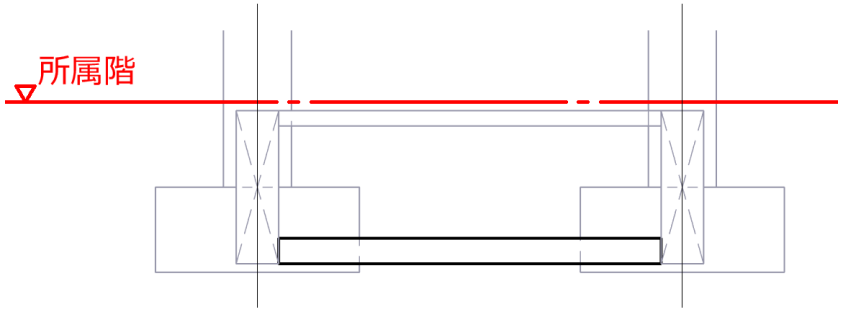
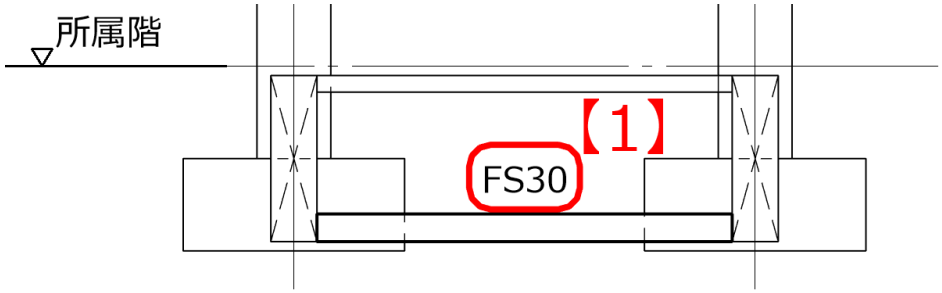
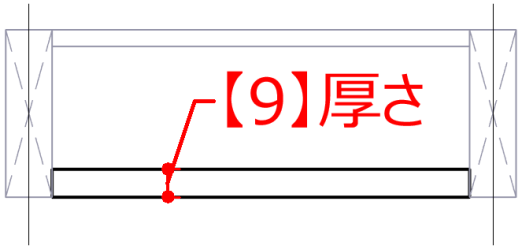
初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

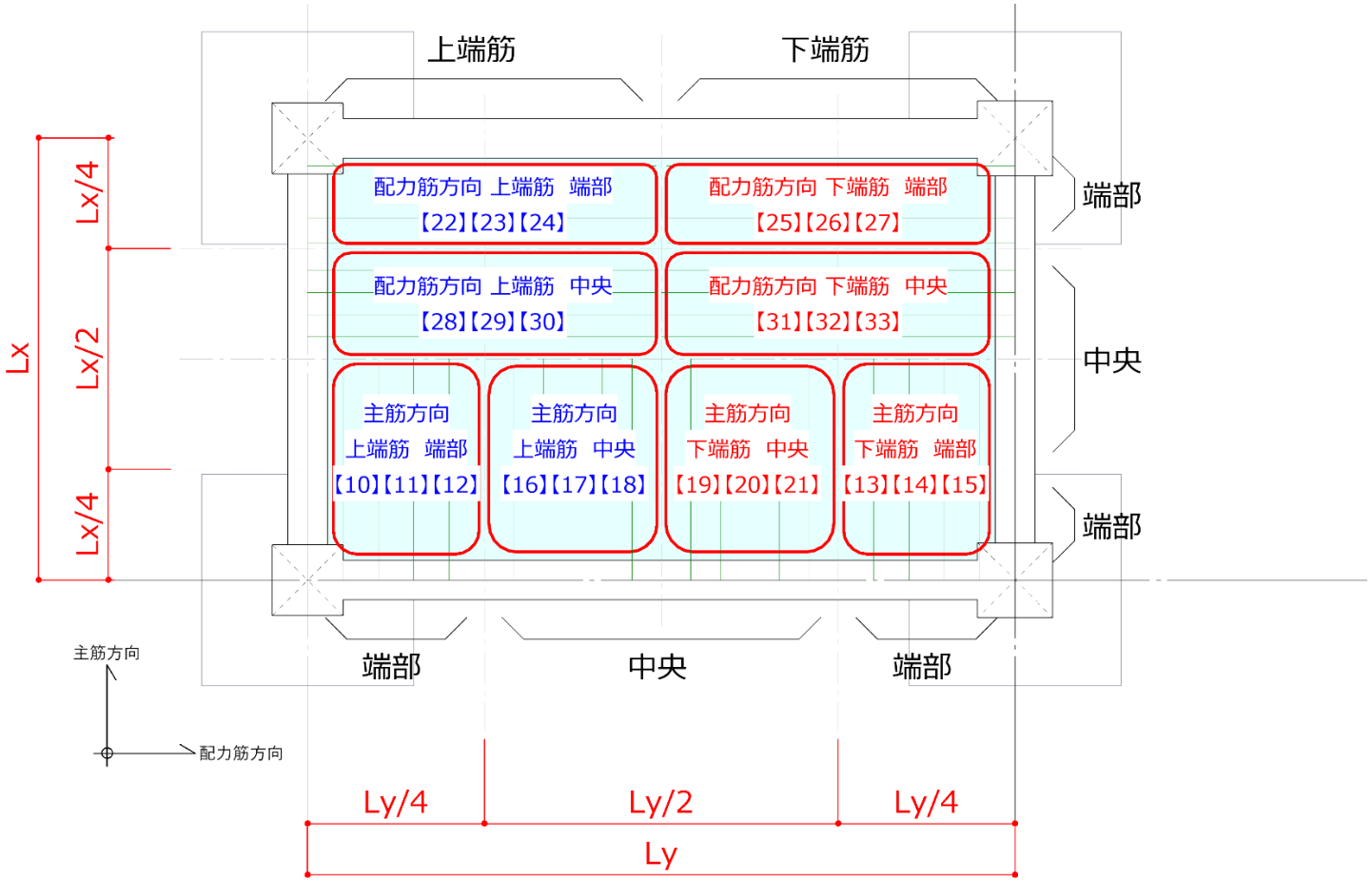
	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2	荷重情報			室用途	use	String		○	
3				仕上げ重量	weight	Double		○	N/m2
4				積載荷重（床用）	liveload_slab	Double		○	N/m2
5				積載荷重（小梁用）	liveload_beam	Double		○	N/m2
6				積載荷重（架構用）	liveload_frame	Double		○	N/m2
7				積載荷重（地震用）	liveload_seismic	Double		○	N/m2
8	材料情報	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
9	寸法情報	断面		厚さ	depth	Double	○		
10	配筋情報	主筋方向	端部	上端筋 径 1	D_main_bar1_end_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
11				上端筋 径 2	D_main_bar2_end_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
12				上端筋 ピッチ	pitch_main_end_top	Double	○		
13				下端筋 径 1	D_main_bar1_end_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
14				下端筋 径 2	D_main_bar2_end_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
15				下端筋 ピッチ	pitch_main_end_bottom	Double	○		
16			中央	上端筋 径 1	D_main_bar1_center_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する

17				上端筋 径 2	D_main_bar2_center_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
18				上端筋 ピッチ	pitch_main_center_top	Double	○		
19				下端筋 径 1	D_main_bar1_center_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
20				下端筋 径 2	D_main_bar2_center_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
21				下端筋 ピッチ	pitch_main_center_bottom	Double	○		
22		配力筋方向	端部	上端筋 径 1	D_transverse_bar1_end_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
23				上端筋 径 2	D_transverse_bar2_end_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
24				上端筋 ピッチ	pitch_transverse_end_top	Double	○		
25				下端筋 径 1	D_transverse_bar1_end_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
26				下端筋 径 2	D_transverse_bar2_end_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
27				下端筋 ピッチ	pitch_transverse_end_bottom	Double	○		
28			中央	上端筋 径 1	D_transverse_bar1_center_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
29				上端筋 径 2	D_transverse_bar2_center_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
30				上端筋 ピッチ	pitch_transverse_center_top	Double	○		
31				下端筋 径 1	D_transverse_bar1_center_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
32				下端筋 径 2	D_transverse_bar2_center_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
33				下端筋 ピッチ	pitch_transverse_center_bottom	Double	○		
34		配筋角度		主筋方向角度	angle_main_bar	Double		○	主筋方向の配筋角度を全体座標系で表す

3-2. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	
符号		断面	

配筋	

上端筋
下端筋
配力筋方向 上端筋 端部
【22】【23】【24】
配力筋方向 下端筋 端部
【25】【26】【27】
配力筋方向 上端筋 中央
【28】【29】【30】
配力筋方向 下端筋 中央
【31】【32】【33】
主筋方向
上端筋 端部
【10】【11】【12】
主筋方向
上端筋 中央
【16】【17】【18】
主筋方向
下端筋 中央
【19】【20】【21】
主筋方向
下端筋 端部
【13】【14】【15】
端部
中央
端部
Lx
Lx/4
Lx/2
Lx/4
主筋方向
配力筋方向
Ly/4
Ly/2
Ly/4
Ly

4. 基礎片持ちスラブ_標準

4-1. パラメーター覧

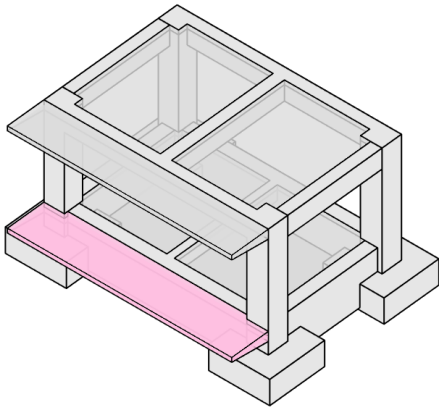
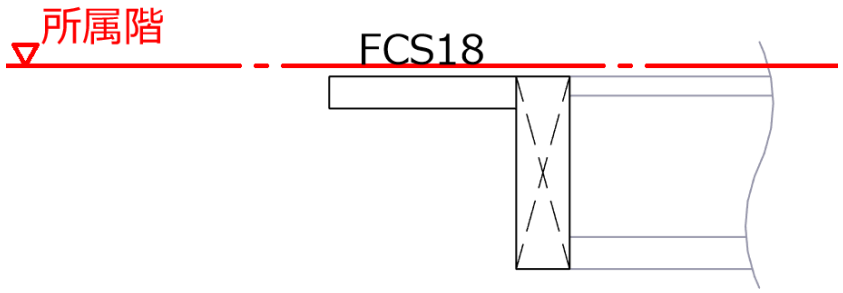
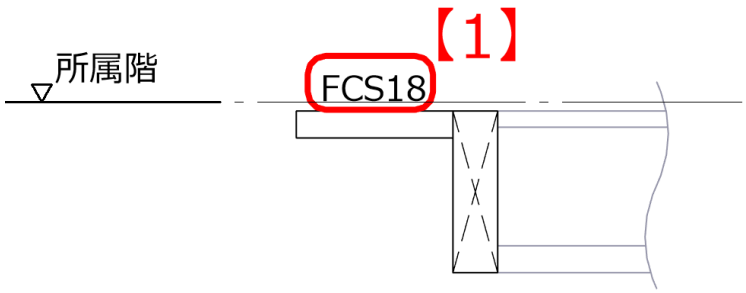
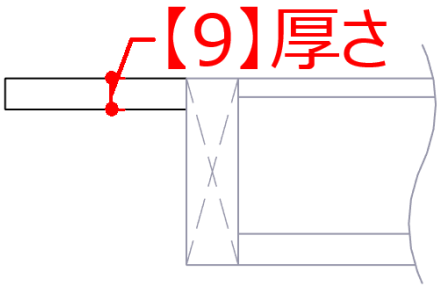
初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

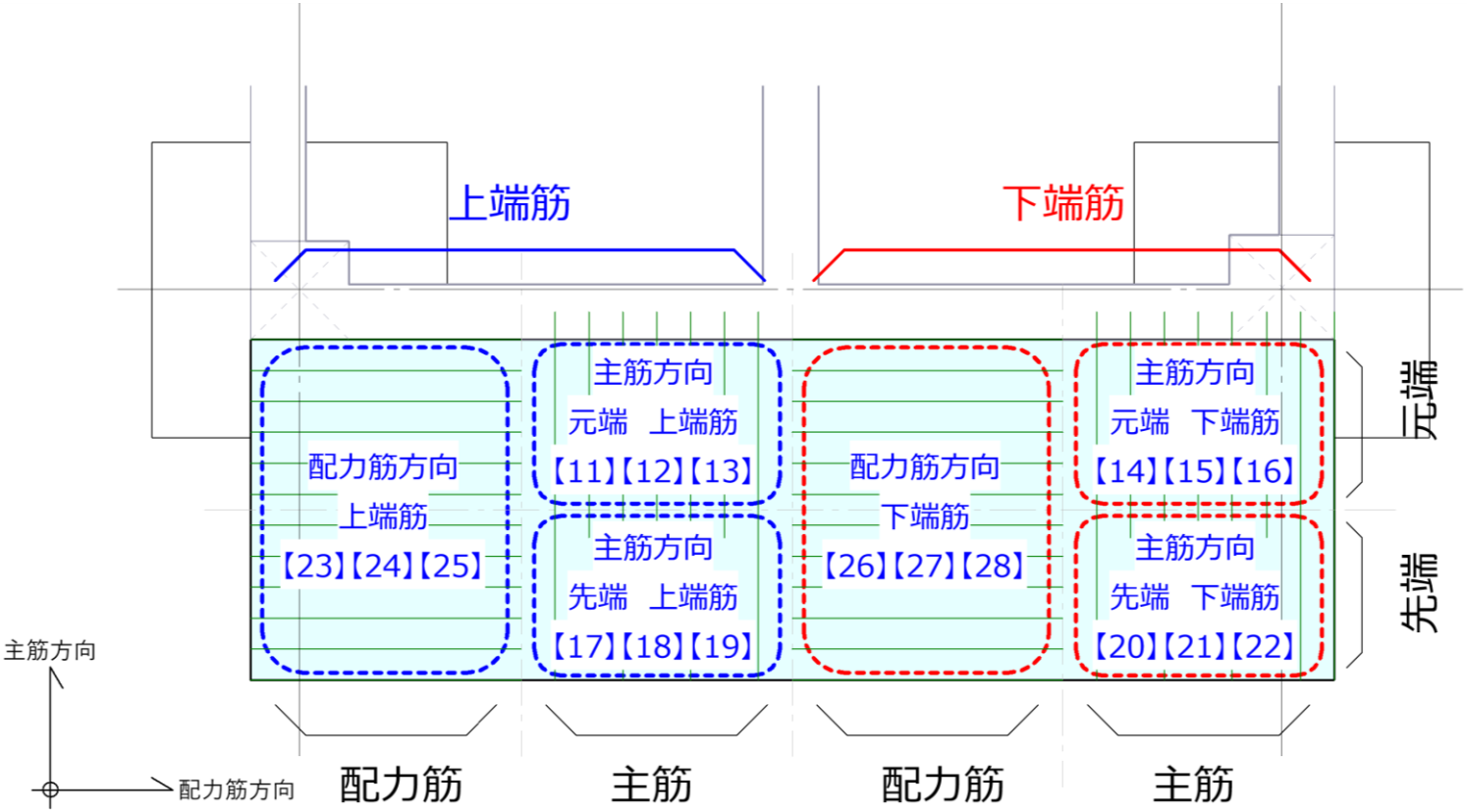
	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2	荷重情報			室用途	use	String		○	
3				仕上げ重量	weight	Double		○	N/m2
4				積載荷重（床用）	liveload_slab	Double		○	N/m2
5				積載荷重（小梁用）	liveload_beam	Double		○	N/m2
6				積載荷重（架構用）	liveload_frame	Double		○	N/m2
7				積載荷重（地震用）	liveload_seismic	Double		○	N/m2
8	材料情報	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
9	寸法情報	断面		厚さ	depth	Double	○		
10	配筋情報	主筋方向	元端	上端筋 径 1	D_main_bar1_base_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
11				上端筋 径 2	D_main_bar2_base_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
12				上端筋 ピッチ	pitch_main_base_top	Double	○		
13				下端筋 径 1	D_main_bar1_base_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
14				下端筋 径 2	D_main_bar2_base_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
15				下端筋 ピッチ	pitch_main_base_bottom	Double	○		
16			先端	上端筋 径 1	D_main_bar1_tip_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する

17				上端筋 径 2	D_main_bar2_tip_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
18				上端筋 ピッチ	pitch_main_tip_top	Double	○		
19				下端筋 径 1	D_main_bar1_tip_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
20				下端筋 径 2	D_main_bar2_tip_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
21				下端筋 ピッチ	pitch_main_tip_bottom	Double	○		
22		配力筋方向		上端筋 径 1	D_transverse_bar1_base_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
23				上端筋 径 2	D_transverse_bar2_base_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
24				上端筋 ピッチ	pitch_transverse_base_top	Double	○		
25				下端筋 径 1	D_transverse_bar1_base_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
26				下端筋 径 2	D_transverse_bar2_base_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
27				下端筋 ピッチ	pitch_transverse_base_bottom	Double	○		
28		配筋角度		主筋方向角度	angle_main_bar	Double		○	主筋方向の配筋角度を全体座標系で表す

4-2. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	
符号		断面	

配筋	

上端筋
下端筋
配力筋方向
上端筋
【23】【24】【25】
主筋方向
元端　上端筋
【11】【12】【13】
主筋方向
先端　上端筋
【17】【18】【19】
配力筋方向
下端筋
【26】【27】【28】
主筋方向
元端　下端筋
【14】【15】【16】
主筋方向
先端　下端筋
【20】【21】【22】
元端
先端
主筋方向
配力筋方向
配力筋
主筋
配力筋
主筋

VIII. 壁

1. RC 壁 1 断面_標準

1-1. パラメーター覧

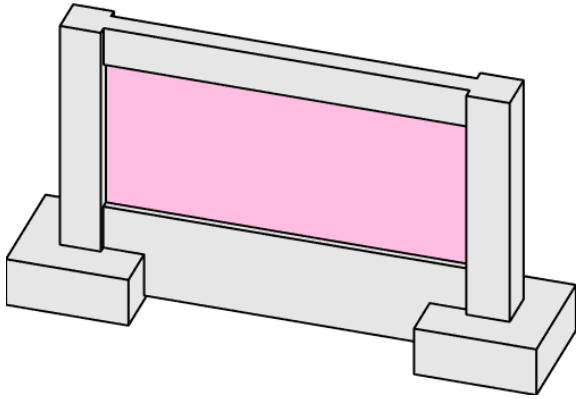
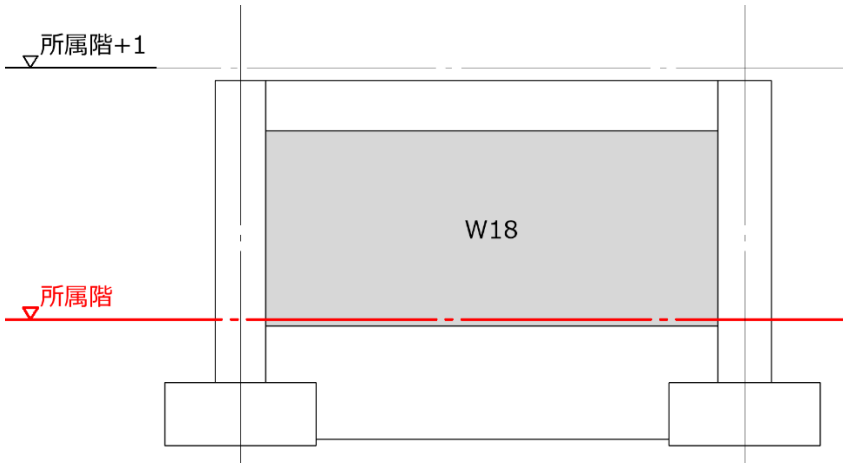
初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

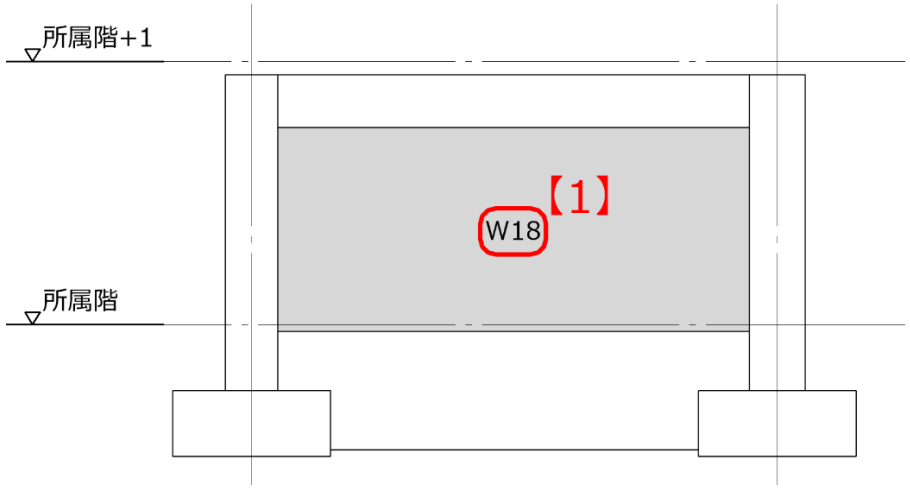
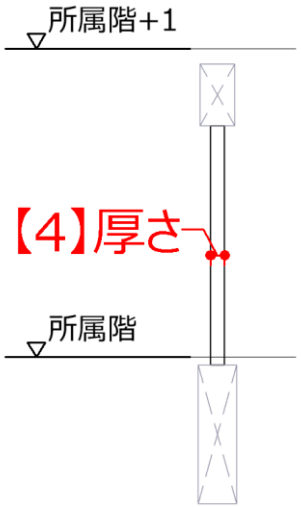
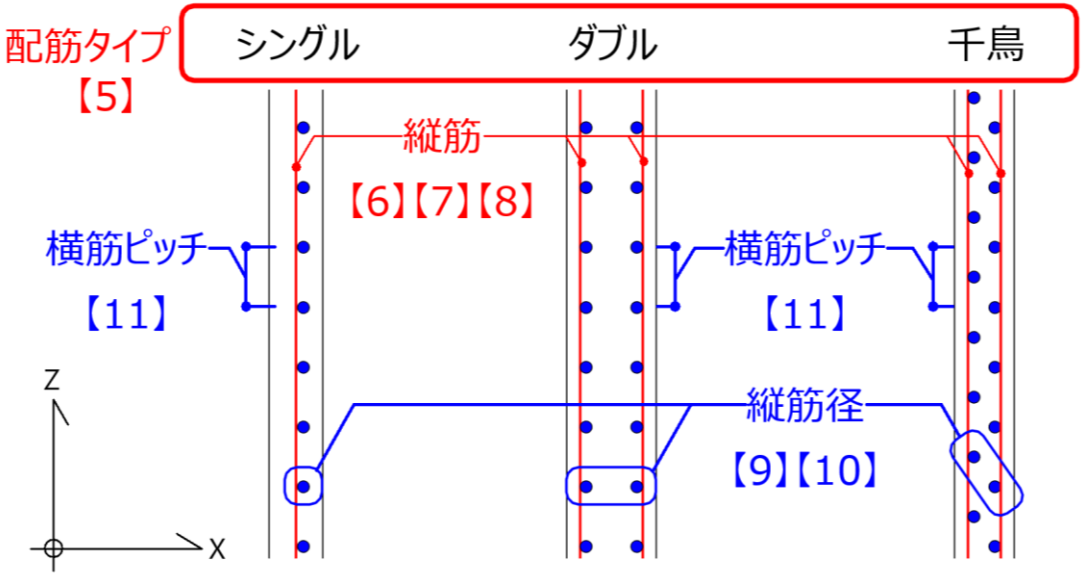
	分類		項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報		符号	name	String	○		
2			耐力区分	kind_wall	String	○		耐力区分を表し、以下のいずれか WALL_NORMAL（一般壁）、WALL_SHEAR（耐力壁）
3	材料情報	コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
4	寸法情報	断面	厚さ	t	Double	○		
5	配筋情報	配筋	配筋タイプ	bar_layout	String	○		配筋タイプを表し、以下のいずれか SINGLE（シングル）、DOUBLE（ダブル）、Alternate（千鳥）
6		縦筋	径 1	D_vertical_bar1	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
7			径 2	D_vertical_bar2	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10

8			ピッチ	pitch_vertical_bar	Double	○		
9		横筋	径 1	D_horizontal_bar1	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
10			径 2	D_horizontal_bar2	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
11			ピッチ	pitch_horizontal_bar	Double	○		
12		幅止筋	径	D_bar_spacing	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
13			ピッチ	pitch_bar_spacing	Double	○		

1-2. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

イメージ		所属階	

<table>
<tr>
<td>符号</td>
<td> 
</td>
<td>断面</td>
<td> 
</td>
</tr>
<tr>
<td>配筋</td>
<td colspan="3"> 
</td>
</tr>
</table>

2. RC 壁 3 断面_標準

2-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

	分類			項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報			符号	name	String	○		
2				耐力区分	kind_wall	String	○		耐力区分を表し、以下のいずれか WALL_NORMAL（一般壁）、WALL_SHEAR（耐力壁）
3				土圧壁か否か	isPress	Boolean	○		土圧壁の場合 True、土圧壁ではない場合 False とする
4				土に接するか否か（外側）	isSoil_outside	Boolean		○	土に接する場合 True、接しない場合 False とする
5				土に接するか否か（内側）	isSoil_inside	Boolean		○	土に接する場合 True、接しない場合 False とする
6	材料情報	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
7	寸法情報	断面	上部	厚さ	t_top	Double	○		
8				切り替え位置	switch_top	Double	○		上部断面の切り替え位置を表し、所属階の床レベルからのオフセットとする
9			中央	厚さ	t	Double	○		
10				切り替え位置	switch_center	Double	○		中央断面の切り替え位置を表し、所属階の床レベルからのオフセットとする
11			下部	厚さ	t_bottom	Double	○		

12	配筋情報	配筋タイプ		外側_最外縁の主筋方向	outside_outermost_main_direction	String	○		最外縁の鉄筋の方向を表し、以下のいずれか VERTICAL（鉛直）、HORIZONTAL（水平）
13				内側_最外縁の主筋方向	inside_outermost_main_direction	String	○		最外縁の鉄筋の方向を表し、以下のいずれか VERTICAL（鉛直）、HORIZONTAL（水平）
14				外側のタイプ	type_outside	String		○	外側がどちらの面であるかを表し、以下のいずれか TYPE_PLUS（正側）、TYPE_MINUS（負側）
15		縦筋	共通	上部_鉄筋切り替え位置	switch_top_bar	Double	○		上部鉄筋の切り替え位置を表し、所属階の床レベルからのオフセットとする
16				中央_鉄筋切り替え位置	switch_center_bar	Double	○		上部鉄筋の切り替え位置を表し、所属階の床レベルからのオフセットとする
17			外側	上部_径 1	D_vertical_bar1_outside_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
18				上部_径 2	D_vertical_bar2_outside_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
19				上部_ピッチ	pitch_vertical_bar_outside_top	Double	○		
20				上部_最内側ピッチ	innermost_pitch_vertical_bar_outside_top	Double	○		縦筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
21				上部_段数	layer_vertical_bar_outside_top	Integer	○		
22				中央_径 1	D_vertical_bar1_outside_center	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する

23				中央_径 2	D_vertical_bar2_outside_center	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
24				中央_ピッチ	pitch_vertical_bar_outside_center	Double	○		
25				中央_最内側ピッチ	innermost_pitch_vertical_bar_outside_center	Double	○		縦筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
26				中央_段数	layer_vertical_bar_outside_center	Integer	○		
27				下部_径 1	D_vertical_bar1_outside_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
28				下部_径 2	D_vertical_bar2_outside_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
29				下部_ピッチ	pitch_vertical_bar_outside_bottom	Double	○		
30				下部_最内側ピッチ	innermost_pitch_vertical_bar_outside_bottom	Double	○		縦筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
31				下部_段数	layer_vertical_bar_outside_bottom	Integer	○		
32			内側	上部_径 1	D_vertical_bar1_inside_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
33				上部_径 2	D_vertical_bar2_inside_top	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
34				上部_ピッチ	pitch_vertical_bar_inside_top	Double	○		
35				上部_最内側ピッチ	innermost_pitch_vertical_bar_inside_top	Double	○		縦筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
36				上部_段数	layer_vertical_bar_inside_top	Integer	○		
37				中央_径 1	D_vertical_bar1_inside_center	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する

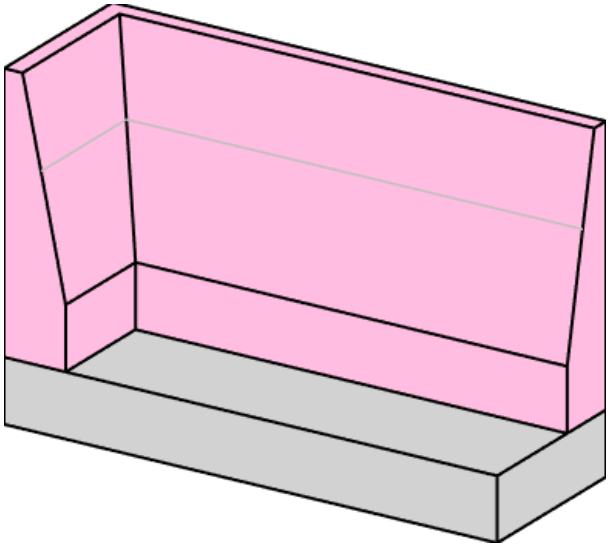
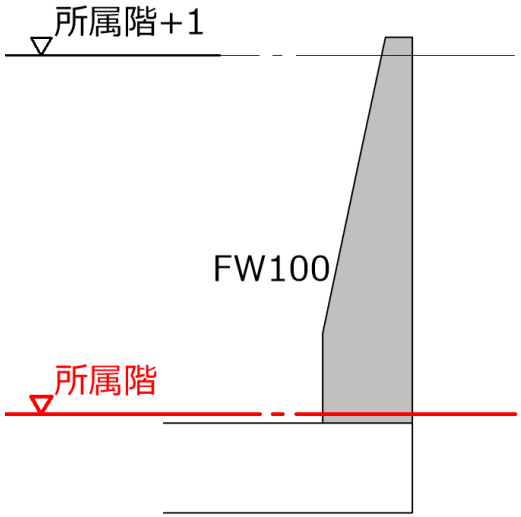
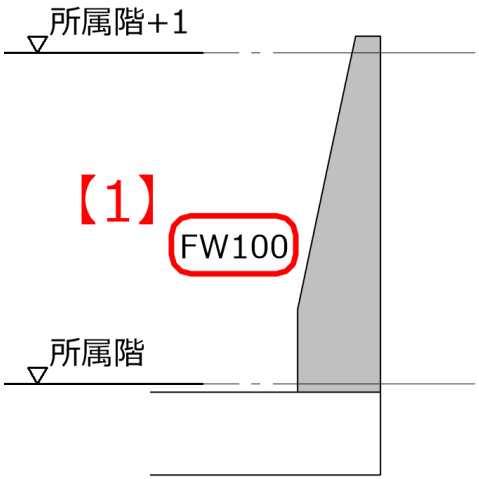
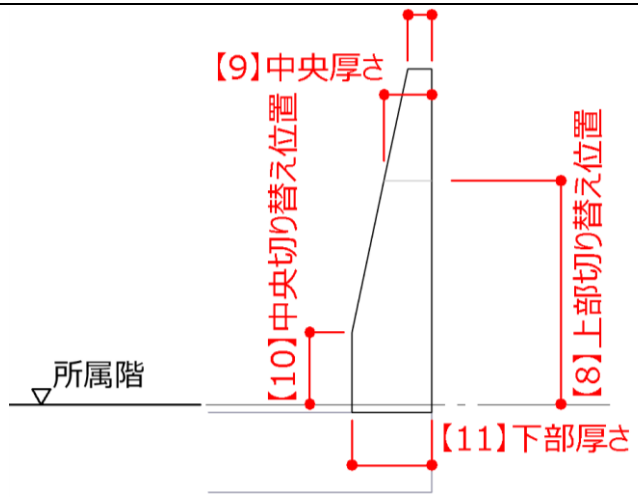
38				中央_径 2	D_vertical_bar2_inside_center	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
39				中央_ピッチ	pitch_vertical_bar_inside_center	Double	○		
40				中央_最内側ピッチ	innermost_pitch_vertical_bar_inside_center	Double	○		縦筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
41				中央_段数	layer_vertical_bar_inside_center	Integer	○		
42				下部_径 1	D_vertical_bar1_inside_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
43				下部_径 2	D_vertical_bar2_inside_bottom	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
44				下部_ピッチ	pitch_vertical_bar_inside_bottom	Double	○		
45				下部_最内側ピッチ	innermost_pitch_vertical_bar_inside_bottom	Double	○		
46				下部_段数	layer_vertical_bar_inside_bottom	Integer	○		
47		横筋	外側	始端_径 1	D_horizontal_bar1_outside_start	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
48				始端_径 2	D_horizontal_bar2_outside_start	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
49				始端_ピッチ	pitch_horizontal_bar_outside_start	Double	○		
50				始端_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_outside_start	Double	○		横筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
51				始端_段数	layer_horizontal_bar_outside_start	Integer	○		
52				中央_径 1	D_horizontal_bar1_outside_center	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
53				中央_径 2	D_horizontal_bar2_outside_center	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10

54				中央_ピッチ	pitch_horizontal_bar_outside_center	Double	○		
55				中央_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_outside_center	Double	○		横筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
56				中央_段数	layer_horizontal_bar_outside_center	Integer	○		
57				終端_径 1	D_horizontal_bar1_outside_end	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
58				終端_径 2	D_horizontal_bar2_outside_end	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
59				終端_ピッチ	pitch_horizontal_bar_outside_end	Double	○		
60				終端_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_outside_end	Double	○		横筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
61				終端_段数	layer_horizontal_bar_outside_end	Integer	○		
62			内側	始端_径 1	D_horizontal_bar1_inside_start	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
63				始端_径 2	D_horizontal_bar2_inside_start	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
64				始端_ピッチ	pitch_horizontal_bar_inside_start	Double	○		
65				始端_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_inside_start	Double	○		横筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
66				始端_段数	layer_horizontal_bar_inside_start	Integer	○		
67				中央_径 1	D_horizontal_bar1_inside_center	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
68				中央_径 2	D_horizontal_bar2_inside_center	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
69				中央_ピッチ	pitch_horizontal_bar_inside_center	Double	○		

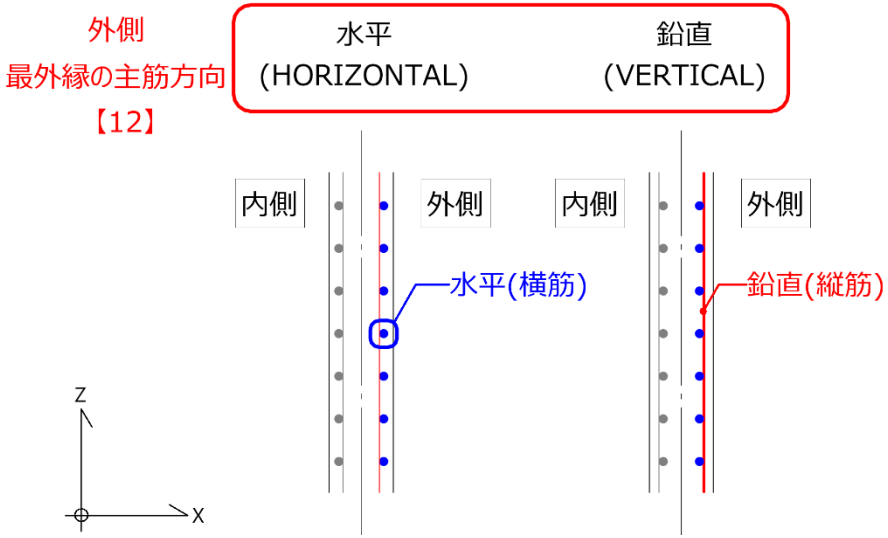
70				中央_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_inside_center	Double	○		横筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
71				中央_段数	layer_horizontal_bar_inside_center	Integer	○		
72				終端_径 1	D_horizontal_bar1_inside_end	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13 使用する径が 1 種類の場合は bar1 に記述する
73				終端_径 2	D_horizontal_bar2_inside_end	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
74				終端_ピッチ	pitch_horizontal_bar_inside_end	Double	○		
75				終端_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_inside_end	Double	○		横筋が複数段に配筋される場合で、最も内側の段の縦筋ピッチを表す
76				終端_段数	layer_horizontal_bar_inside_end	Integer	○		
77		幅止筋		径	D_bar_spacing	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D10
78				ピッチ	picch_bar_spacing	Double	○		

2-2. パラメータ解説

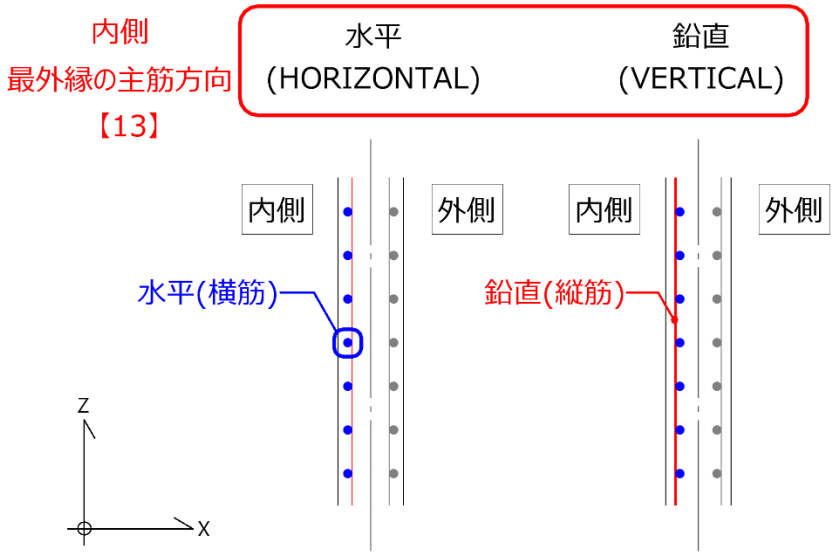
図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

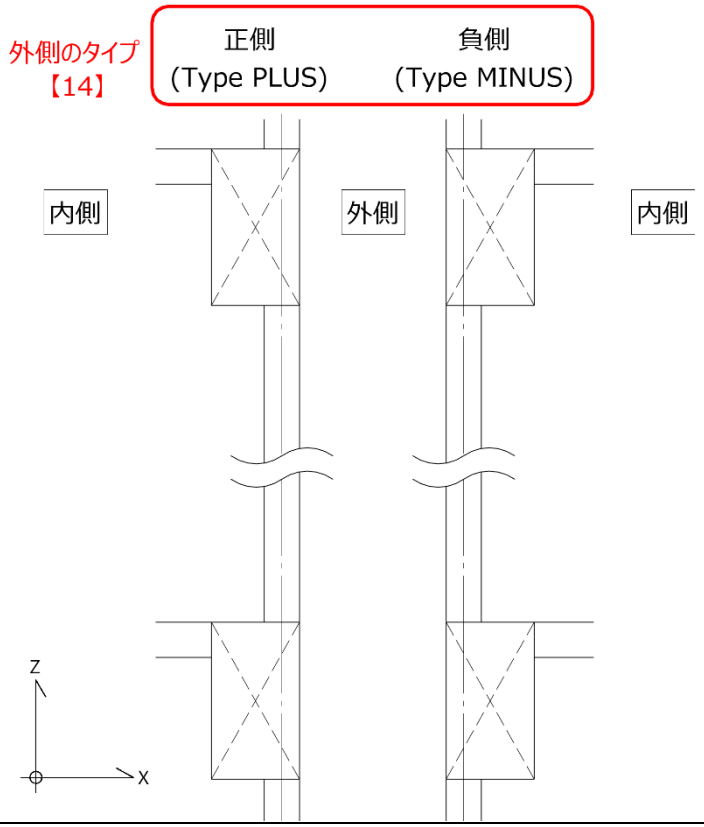
イメージ		所属階	
符号		断面	

外側 最外縁の主筋方向



内側 最外縁の主筋方向



外側のタイプ	 外側のタイプ 【14】 正側 (Type PLUS) 負側 (Type MINUS) 内側 外側 内側 Z X		

IX. 場所打ち杭

1. 場所打ち杭

1-1. パラメーター覧

初めの列に記載の番号は、後述する「パラメータ解説」内で示す番号を意味します。

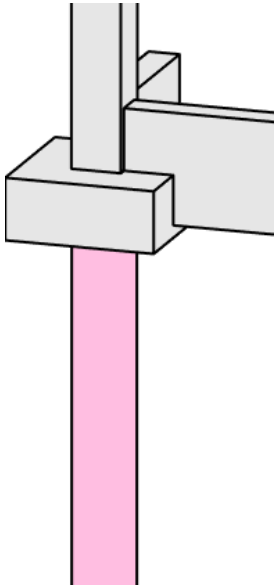
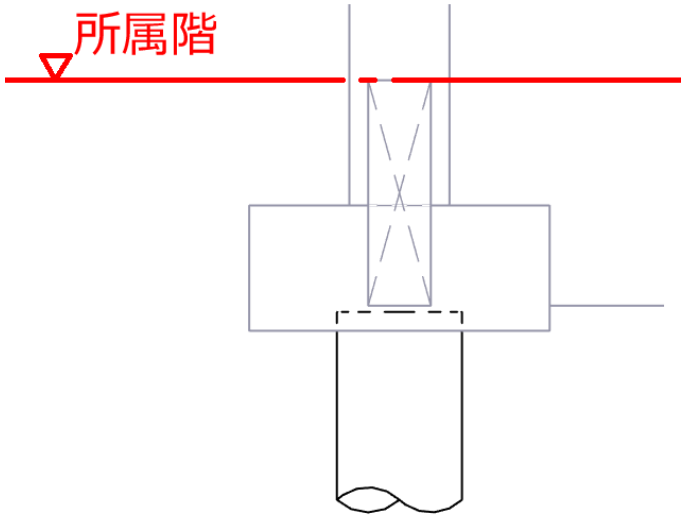
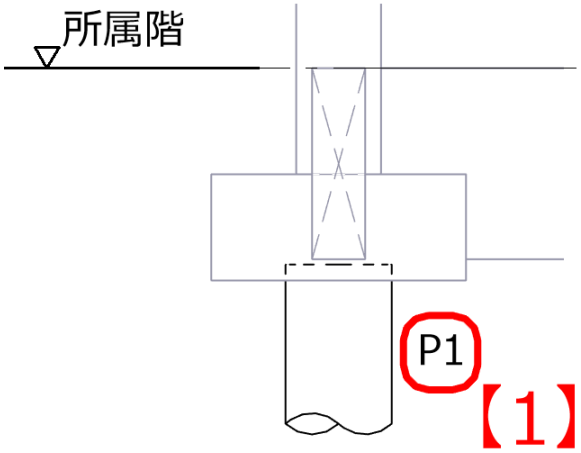
	分類		項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	備考
1	識別情報		符号	name	String	○		
2			工法名	construction_method	String	○		オールケーシング工法、拡底アースドリル工法など 一般名称
3	材料情報	コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○		種別（Fc、Lc など）も含む。入力例：Fc24
4		鋼材	鋼管材質	strength_pipe	String	○		杭頭鋼管巻きの場合のみ
5	寸法情報	長さ	全長	length_all	Double		○	
6		断面	拡頭径	D_extended_top	Double	○		ストレートの時は軸部径と同じ数値をいれること
7			軸部径	D_axial	Double	○		
8			拡底径	D_extended_foot	Double	○		ストレートの時は軸部径と同じ数値をいれること
9		拡頭部	長さ	length_top	Double		○	
10			切替長さ	length_extended_top_taper	Double	○		

11		拡底部		傾斜角度	angle_extended_foot_taper	Double	○		省略値 12 度、拡底径＝軸部径の時は無視し、拡底長さが 0 になる
12				立ち上がり長さ	length_extended_foot	Double	○		省略値 500、拡底径＝軸部径の時は無視する
13		鋼管		長さ	length_pipe	Double	○		杭頭鋼管巻きの場合のみ、杭頭から鋼管下端部までの長さ
14				厚さ	t_pipe	Double	○		杭頭鋼管巻きの場合のみ
15	配筋情報	ゾーン 1	主筋	径	D_main_zone1	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D29
16				総本数	N_main_zone1	Integer	○		
17				1 段目本数	N_main_circumference_1st_zone1	Integer	○		
18			帯筋	径	D_band_zone1	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
19				ピッチ	pitch_band_zone1	Double	○		
20			芯鉄筋	径	D_main_core_zone1	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D29
21				本数	N_main_core_zone1	Integer	○		
22		ゾーン 2	主筋	径	D_main_zone2	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D29
23				総本数	N_main_zone2	Integer	○		
24				1 段目本数	N_main_circumference_1st_zone2	Integer	○		
25			帯筋	径	D_band_zone2	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
26				ピッチ	pitch_band_zone2	Double	○		
27			接合情報	上部配筋切替レベル	length_bar_zone2	Double	○		上部の切り替え位置を表し、所属階からのオフセットとする
28				上部継手長さ	length_lap_bar_zone2	Double	○		
29		ゾーン 3	主筋	径	D_main_zone3	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D29
30				総本数	N_main_zone3	Integer	○		
31				1 段目本数	N_main_circumference_1st_zone3	Integer	○		
32			帯筋	径	D_band_zone3	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
33				ピッチ	pitch_band_zone3	Double	○		
34			接合情報	上部配筋切替レベル	length_bar_zone3	Double	○		上部の切り替え位置を表し、所属階からのオフセットとする
35				上部継手長さ	length_lap_bar_zone3	Double	○		
36		ゾーン 4	主筋	径	D_main_zone4	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D29
37				総本数	N_main_zone4	Integer	○		
38				1 段目本数	N_main_circumference_1st_zone4	Integer	○		
39			帯筋	径	D_band_zone4	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
40				ピッチ	pitch_band_zone4	Double	○		

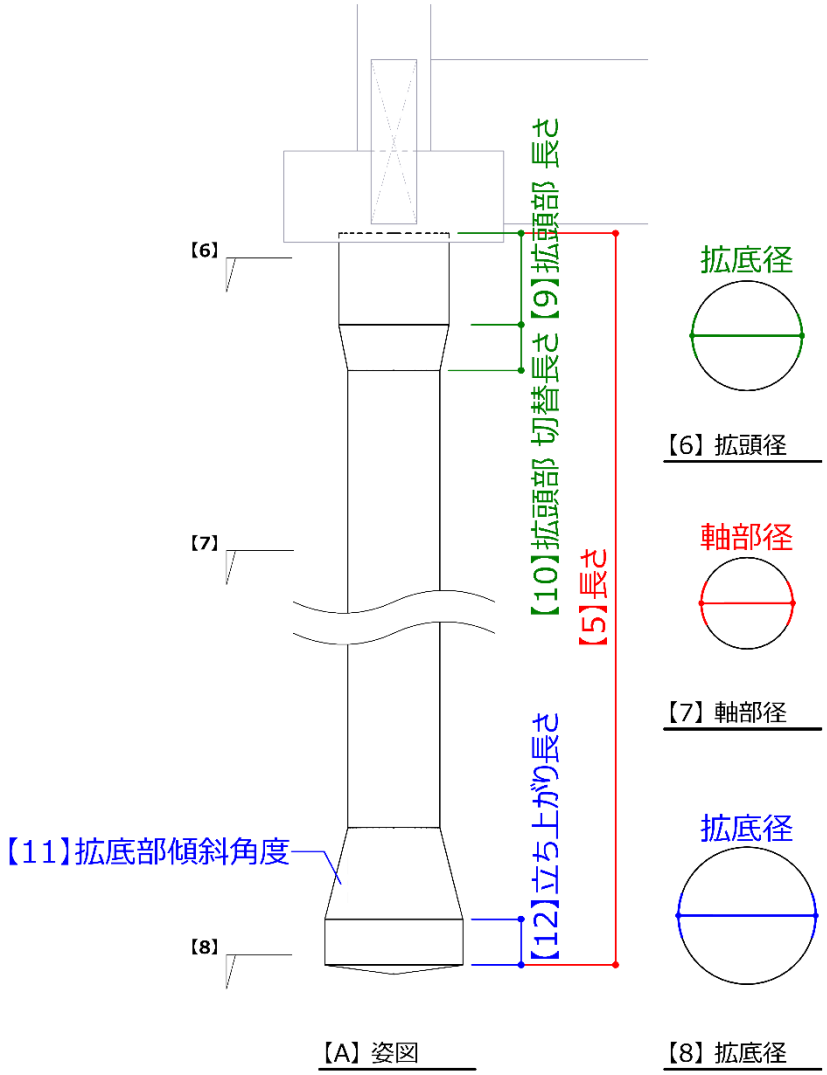
41			接合情報	上部配筋切替レベル	length_bar_zone4	Double	○		上部の切り替え位置を表し、所属階からのオフセットとする
42				上部継手長さ	length_lap_bar_zone4	Double	○		
43		ゾーン 5	主筋	径	D_main_zone5	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D29
44				総本数	N_main_zone5	Integer	○		
45				1 段目本数	N_main_circumference_1st_zone5	Integer	○		
46			帯筋	径	D_band_zone5	String	○		種類（D、U、S など）も含む。入力例：D13
47				ピッチ	pitch_band_zone5	Double	○		
48			接合情報	上部配筋切替レベル	length_bar_zone5	Double	○		上部の切り替え位置を表し、所属階からのオフセットとする
49				上部継手長さ	length_lap_bar_zone5	Double	○		
50	施工情報	杭偏芯	X	杭偏芯実績値_X	eccentricity_X	Double		○	
51		実績値	Y	杭偏芯実績値_Y	eccentricity_Y	Double		○	

1-2. パラメータ解説

図内に示す番号は、前述の「パラメータ一覧」初列に記載した番号を意味します。

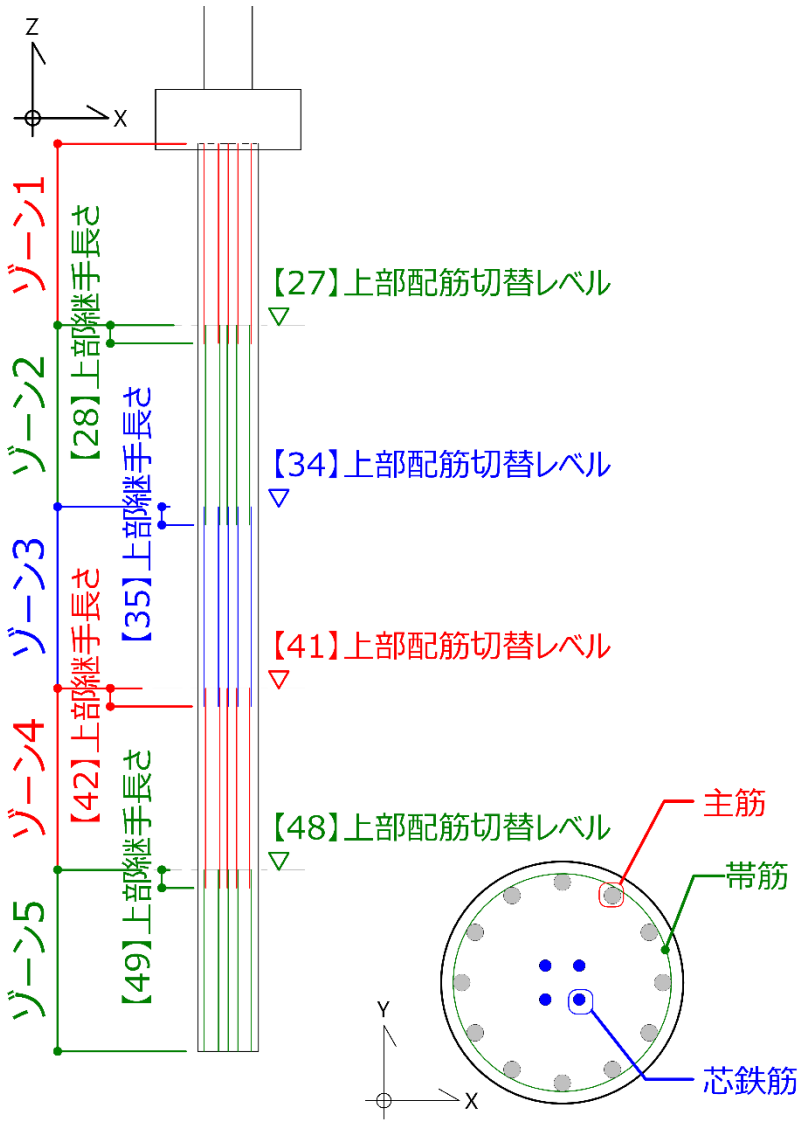
イメージ		所属階	
符号			

断面



【A】姿図

配筋



【B】姿図

【C】各ゾーン 配筋

X. 修正履歴

日付	バージョン	対象	改訂概要
2021/03/30	令和 2 年度版 BLCJ 構造標準		初版リリース
2021/10/29	令和 3 年度版 BLCJ 構造標準	材料情報	鉄筋を柱・梁・床・壁・基礎別に分割
		RC 柱	部分を廃する代わりに柱頭・柱脚毎にパラメータを整理 鉄筋材料として種類の記号を追加 配筋情報ー柱頭（柱脚）ー主筋の項目欄の主筋表記を削除 配筋情報ー柱頭（柱脚）－帯筋の名称欄を hoop に統一
		RC 梁	部分を廃する代わりに始端・中央・終端毎にパラメータを整理 鉄筋材料として種類の記号を追加
		S 柱	継手の考えを整理
		S 梁	部分を廃する代わりに始端・中央・終端毎にパラメータを整理 継手の考えを整理

		基礎	追加
		床	追加
		壁	追加
2022/03/31	令和 3 年度 BLCJ 構造標準 改訂 3 版	共通事項	追加
		共通配筋情報	幅止筋の径とピッチを追加
		材料情報	鉄筋を杭と杭以外に集約
		RC 柱	鉄筋の種類の記号を廃止し材料情報で記述するように変更 帯筋径、幅止筋径を共通配筋情報に変更 X 方向 1 段目芯位置、Y 方向 1 段目芯位置を追加
		RC 梁	鉄筋の種類の記号を廃止し材料情報で記述するように変更 RC 梁 2 断面_標準の端部表現を始端、終端に変更 RC 梁 1 断面_標準を廃止
		S 梁	S 梁 H 形鋼 2 断面_標準の端部表現を始端、終端に変更
		基礎	鉄筋の種類の記号を廃止し材料情報で記述するように変更

		床	鉄筋の種類の記号を廃止し材料情報で記述するように変更 太径、細径を項目名に合わせて径 1、径 2 に変更
		壁	鉄筋の種類の記号を廃止し材料情報で記述するように変更
2022/9/30	令和 4 年度 BLCJ 構造標準 改訂 4 版	共通	コンクリート強度・鉄筋径など記述例を備考に追加
2022/9/30	令和 4 年度 BLCJ 構造標準	RC 柱	RC 丸柱_標準の主筋 1 段目芯位置を各方向別から統一
	改訂 4 版	S 柱	S 柱角形鋼管_標準の鉄骨の向きを削除
		S 梁	ハンチ種類を形状に変更し RC 梁の表現と統一
			S 梁 H 形鋼 2 断面_標準の終端仕口条件、継手符号を追加
		床	荷重情報の単位を N/m2 に変更